

京都市内遺跡立会調査報告

平成19年度

2008年3月

京 都 市 文 化 市 民 局

ご あ い さ つ

今から1200年以上前の桓武天皇の治世に「この国、山河襟帯にして自然に城をなす」といわれ、三方をたおやかな峰々に囲まれた京都盆地の中央に、新しい国の首都が遷都され「平安京」と号されました。京都では、それ以後、わが国の政治・文化・経済・宗教などの中心舞台として様々な歴史が展開されてきました。また、市域内の周辺部においては、遷都以前の旧石器時代を含む、縄文時代、弥生時代、古墳時代などの遺跡も数多く、京都盆地が早くから拓かれ、多くの人々が脈々と生活を営んできたことを物語っております。

これら古代から近世まで時代ごとに積み重なった埋蔵文化財包蔵地（遺跡）が、市内では約800件に及び、それらは、わが国の歴史や文化を直接我々に教えてくれる国民共有の財産であります。

本市では、先人が残した貴重な埋蔵文化財を後世に伝える責務を果たすべく、「保存」と「開発」の調和を図りながら、埋蔵文化財の保存と保護に取り組んでおります。

この度、平成19年度に本市が文化庁の国庫補助を得て実施した埋蔵文化財調査成果をまとめた報告書を作成致しました。この報告書が京都の歴史と文化財への理解を深めるために、広く御活用いただければ幸いに存じます。

結びに、各調査の実施に当たり、御理解、御協力を賜りました市民の皆様と、御指導を賜りました関係機関の皆様へ深く御礼申し上げます。

平成20年3月

文化市民局長 山 岸 吉 和

例 言

- 1 本書は、京都市文化市民局が財団法人京都市埋蔵文化財研究所に委託して実施した文化庁国庫補助事業による平成19年度の京都市内遺跡立会調査報告である。
- 2 本書の編集はト田健司、吉本健吾が調整・作成・実務を担当した。
- 3 各報告については文末に執筆者を記した。
- 4 本書に使用した写真の撮影は、遺物は村井伸也・幸明綾子が担当し、遺構は現場担当者が行った。
- 5 本書で使用した土壌名は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修の『新版標準土色帖』に準じた。
- 6 個々の調査地での計測値は、宅地の場合は仮の「水準点」をBM±0mとし、道路の場合には現行道路路面を地表面(±0m)としている。Ⅱ-2の測量基準点のみ京都市遺跡発掘調査基準点を使用した。調査における測量基準点の設置は、宮原健吾が行った。本書中で使用した方位及び座標の数値は、世界測地系 平面直角座標系VIによる。また、標高はT.P.(東京湾平均海面高度)による。
- 7 調査一覧表では各時代の「時代」は省略しており、調査日については簡略に記しているものもある。遺跡名は平安宮・平安京跡については重複する遺跡は省略し、官衙・条坊を優先して明記し、官衙・条坊が複数にまたがるものは代表するものを掲載した。長岡京跡については、官衙・条坊を優先し、複数にまたがるものは代表するものを掲載した。
- 9 本書で使用した地図は京都市発行の都市計画基本図(縮尺1/2,500)を調整し、作成したものである。なお図版に使用した地図の縮尺は以下のとおりである。

図版1~13 1/8,000 図版14~26 1/10,000

本文目次

| | |
|-------------------------------|----|
| I 調査概要 | 1 |
| II 平安京跡 | 3 |
| 1 平安京左京北辺二坊八町 (07HL127) | 3 |
| 2 平安京左京一条二坊九町 (07HL71) | 5 |
| 3 平安京左京四条一坊四町 (06HL482) | 8 |
| 4 平安京左京五条一坊八町 (06HL543) | 10 |
| 5 平安京右京二条二坊二町 (07HR184) | 12 |
| 6 平安京右京二条二坊十五町 (07HR56) | 16 |
| 7 平安京右京八条二坊十町 (06HR494) | 18 |
| III その他の遺跡 | 20 |
| 1 法住寺殿跡・六波羅政庁跡・方広寺跡 (07RT214) | 20 |
| 2 上久世遺跡 (07MK9) | 23 |
| IV 主要な出土遺物 | 26 |
| 1 金箔巴文軒丸瓦 (07HL124) | 26 |
| 2 唐草文軒平瓦 (07HL126) | 27 |
| 3 弥生土器甕 (07UZ262) | 28 |
| 4 唐草文軒平瓦 (07KS230) | 29 |
| 調査一覧表 | 30 |
| 報告書抄録 | 68 |

図版目次

図版 1～26 調査位置図

- 図版 1 平安宮
- 図版 2 平安京左京北辺～三条 一・二坊
- 図版 3 平安京左京北辺～三条 三・四坊
- 図版 4 平安京左京 四～六条 一・二坊
- 図版 5 平安京左京 四～六条 三・四坊
- 図版 6 平安京左京 七～九条 一・二坊
- 図版 7 平安京左京 七～九条 三・四坊
- 図版 8 平安京右京北辺～三条 三・四坊
- 図版 9 平安京右京北辺～三条 一・二坊
- 図版 10 平安京右京 四～六条 三・四坊
- 図版 11 平安京右京 四～六条 一・二坊
- 図版 12 平安京右京 七～九条 三・四坊
- 図版 13 平安京右京 七～九条 一・二坊
- 図版 14 伏見城跡・桃山古墳群（永井久太郎古墳）・御香宮麁寺・桃陵遺跡
- 図版 15 伏見城跡・桃山古墳群（永井久太郎古墳）・中山遺跡
- 図版 16 草木町遺跡・太秦馬塚町遺跡・村ノ内町遺跡・上ノ段町遺跡・常盤東ノ町古墳群・森ヶ東瓦窯跡・和泉式部町遺跡・御所ノ内町遺跡・嵯峨野高田町遺跡・天塚古墳・長福寺境内
- 図版 17 北白川麁寺・吉田上大路町遺跡・吉田山遺跡・吉田神社境内・吉田二本松町遺跡・真如堂境内・白河街区跡・白河北殿跡・白河南殿跡・法勝寺跡・岡崎遺跡
- 図版 18 四条道場跡・寺町旧城・御土居跡・建仁寺境内・清水寺境内・六波羅政庁跡・方広寺跡・法住寺殿跡・法性寺跡
- 図版 19 長岡京跡・久我殿遺跡・久我東町遺跡
- 図版 20 1 御土居跡・寺町旧城・寺ノ内旧城・悲田院跡・上京遺跡・出雲寺跡・上御堂遺跡・相国寺旧境内・室町殿跡（花の御所）・公家町遺跡
2 大深町須恵器窯跡・大宮北山ノ前瓦窯跡 3 大徳寺旧境内
- 図版 21 1 鳥羽離宮跡・鳥羽遺跡・竹田城跡・下鳥羽遺跡 2 唐橋遺跡
3 石原城跡
- 図版 22 1 植物園北遺跡・御土居跡 2 史跡御土居・御土居跡・引接寺境内・上京遺跡・紫野斎院跡・世尊寺跡・北野遺跡・北野麁寺

- 図版23 1 法性寺跡・正覚寺跡・伏見稲荷大社境内・稲荷山命婦谷遺跡 2
上久世遺跡・中久世遺跡・大藪遺跡
- 図版24 1 一乗寺向畑町遺跡・向畑古墳・一乗寺松田町遺跡 2 中臣遺跡
3 宝幢寺境内・嵯峨遺跡 4 音戸山古墳群 5 仁和寺院家跡・
円宗寺跡・円乗寺跡 6 法成寺跡・御土居跡
- 図版25 1 御土居跡 2 日ノ岡堤谷須恵器窯跡 3 山科本願寺跡 4
山科本願寺南殿跡 5 深草遺跡 6 深草坊町遺跡 7 醍醐古墳
群 8 醍醐寺子院跡
- 図版26 1 向島城跡 2 長岡京跡・淀城跡 3 松尾十三塚古墳群 4
檉原遺跡 5 上里北ノ町遺跡 6 福西古墳群 7 安岡遺跡 8
鳥谷古墳群

図版27～38 写真

- 図版27 遺構 平安京左京一条二坊九町 (07HL71)
- 図版28 遺構 平安京左京四条一坊四町 (06HL482)
- 図版29 遺構 平安京左京五条一坊八町 (06HL543)
- 図版30 遺構 平安京右京二条二坊二町 (07HR184)
- 図版31 遺構 平安京右京二条二坊十五町 (07HR56)
- 図版32 遺構 1 法住寺殿跡・六波羅政庁跡・方広寺跡 (07RT214)
2 上久世遺跡 (07MK9)
- 図版33 遺構 上久世遺跡 (07MK9)
- 図版34 遺物 平安京右京二条二坊二町 (07HR184)
- 図版35 遺物 21 法住寺殿跡・六波羅政庁跡・方広寺跡 (07RT214)
24 上久世遺跡 (07MK9)
25 平安京左京二条三坊三町 (07HL124)
26～32 平安京左京四条二坊九町 (07HL126)
33 村ノ内町遺跡 (07UZ262)
34 白河北殿跡 (07KS230)

挿 図 目 次

| | |
|-----------------------------|----|
| 07HL127 | |
| 図1 調査位置図 | 3 |
| 図2 遺構位置図 | 3 |
| 図3 遺構平面・断面図 | 4 |
| 図4 踏面 | 4 |
| 07HL71 | |
| 図5 調査位置図 | 5 |
| 図6 遺構位置図 | 5 |
| 図7 遺構平面図 | 6 |
| 図8 遺構断面図 | 7 |
| 06HL482 | |
| 図9 調査位置図 | 8 |
| 図10 遺構位置図 | 8 |
| 図11 遺構断面図 | 9 |
| 図12 土器実測図 | 9 |
| 06HL543 | |
| 図13 調査位置図 | 10 |
| 図14 遺構位置図 | 10 |
| 図15 緑釉陶器実測図 | 10 |
| 図16 遺構断面図 | 11 |
| 07HR184 | |
| 図17 調査位置図 | 12 |
| 図18 遺構位置図 | 12 |
| 図19 遺構平面図 | 13 |
| 図20 A地点柱状断面及びA-A'溝断面図 | 13 |
| 図21 出土土器・瓦実測及び拓影図 | 14 |
| 図22 出土瓦実測図 | 15 |
| 07HR56 | |
| 図23 調査位置図 | 16 |
| 図24 遺構位置図 | 16 |
| 図25 遺構断面図 | 17 |
| 図26 出土土器実測図 | 17 |

06HR494

| | |
|--------------------|----|
| 図27 調査位置図 | 18 |
| 図28 遺構位置図 | 18 |
| 図29 No.1 地点柱状断面図 | 19 |
| 図30 1997年立会調査柱状断面図 | 19 |

07RT214

| | |
|-------------------------------|----|
| 図31 調査位置図 | 20 |
| 図32 遺構位置図 | 20 |
| 図33 菊丸瓦実測及び拓影図 | 20 |
| 図34 石垣平面・断面及び見通し図 | 21 |
| 図35 2000年立会調査検出の石垣平面・断面及び見通し図 | 22 |

07MK 9

| | |
|-------------------------|----|
| 図36 調査位置図 | 23 |
| 図37 遺構位置図 | 23 |
| 図38 No.1・2地点遺構断面図 | 24 |
| 図39 No.3地点遺構平面図 | 24 |
| 図40 出土土器実測図 | 24 |
| 図41 上久世遺跡発掘調査検出竪穴住居跡位置図 | 25 |

07HL124

| | |
|--------------------|----|
| 図42 調査位置図 | 26 |
| 図43 遺構位置図 | 26 |
| 図44 金箔巴文軒丸瓦実測及び拓影図 | 26 |

07HL126

| | |
|-----------------|----|
| 図45 調査位置図 | 27 |
| 図46 遺構位置図 | 27 |
| 図47 遺構断面図 | 27 |
| 図48 出土遺物実測及び拓影図 | 27 |

07UZ262

| | |
|---------------|----|
| 図49 調査位置図 | 28 |
| 図50 遺物出土地点断面図 | 28 |
| 図51 遺構位置図 | 28 |
| 図52 弥生土器実測図 | 28 |

07KS230

| | |
|----------------|----|
| 図53 調査位置図 | 29 |
| 図54 軒平瓦実測及び拓影図 | 29 |

| | |
|-----------------------------------|----|
| 図55 No.1 地点柱状断面図 | 29 |
| 図56 No.1 地点及び1992年発掘調査遺構位置図 | 29 |

表 目 次

| | |
|-----------------|---|
| 表1 立会調査件数 | 1 |
|-----------------|---|

I 調査概要

本報告は京都市文化市民局が(財)京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した、文化庁国庫補助事業に伴う平成19年度の京都市内遺跡立会調査概要報告書である。本書では平成19年1月4日から3月30日までの平成18年度分と、同年4月2日から12月28日までの平成19年度分を合わせて報告する。調査件数は452件であり、平成18年度分が140件、平成19年度分が312件である。京都市内を便宜的に地区分けした調査件数は下表のとおりである(表1)

表1 立会調査件数

| 地区 | 18年度1~3月 | 19年度4~12月 | 小計 | 地区 | 18年度1~3月 | 19年度4~12月 | 小計 |
|-----------|----------|-----------|-----|-------------|----------|-----------|-----|
| 平安宮(HQ) | 19 | 41 | 60 | 洛東地区(RT) | 11 | 29 | 40 |
| 平安京左京(HL) | 39 | 94 | 133 | 鳥羽地区(TB) | 6 | 13 | 19 |
| 平安京右京(HR) | 20 | 38 | 58 | 伏見・醍醐地区(FD) | 8 | 20 | 28 |
| 洛北地区(RH) | 14 | 26 | 40 | 長岡京地区(NG) | 2 | 7 | 9 |
| 太秦地区(UZ) | 11 | 12 | 23 | 南桂川地区(MK) | 1 | 18 | 19 |
| 北白川地区(KS) | 8 | 14 | 22 | 京北地区(UK) | 1 | 0 | 1 |
| | | | | 合 計 | 140 | 312 | 452 |

京都市と京北町の合併に伴い昨年3月に『京都市遺跡地図台帳』の改編が行われ、それに伴い旧京北町の範囲を新たに京北地区(UK)として設定した。昨年は調査がなく報告できなかったが、本年1件調査があり、京北地区を掲載した。以下各地区の概要を述べる。

平安宮(HQ) 宮域では、今回は概要報告を行うような成果は得られなかった。

平安京左京(HL) 左京域では、北辺二坊八町(07HL127)、一条二坊九町(07HL71)、四条一坊四町(06HL482)、と五条一坊八町(06HL543)の4件の概要を報告する。また主要な出土遺物として二条三坊三町(07HL124)で採集した金箔巴文軒丸瓦と四条二坊九町(07HL126)で出土した唐草文軒平瓦を報告する。他に平安時代の遺構は三条二坊三町(06HL514)他8箇所で見出している。五条三坊七町(07HL197)では、前期の遺物を含む落込を見出している。

平安京右京(HR) 右京域では、二条二坊二町(07HR184)、二条二坊十五町(07HR56)と八条二坊十町(06HR494)の概要を報告する。他に平安時代の遺構は四条二坊三町(06HR509)他8箇所で見出している。一条三坊四町(07HR330)と六条三坊十二町(07HR176)では、前期の遺物を含む落込と包含層を見出している。

洛北地区(RH) 史跡御土居、御土居跡、引接寺境内、紫野斎院跡、世尊寺跡、上京遺跡、寺ノ内旧城、出雲寺跡、上御雲遺跡、悲田院跡、相国寺旧境内、室町殿跡(花の御所)、公家町遺跡、寺町旧城、大徳寺旧境内、植物園北遺跡、大深町須恵器窯跡、大宮北山ノ前瓦窯跡、北野遺跡、北野鹿寺跡の20箇所の遺跡で調査を行った。公家町遺跡(07RH171)では平安時代から鎌倉時代の包含層を見出している。悲田院跡・上京遺跡・寺ノ内旧城(06RH546)では近代以降の小川の

旧流路の護岸の石垣を検出した。

太秦地区 (UZ) 草木町遺跡、太秦馬塚町遺跡、常盤東ノ町古墳群、村ノ内町遺跡、上ノ段町遺跡、森ヶ東瓦窯跡、和泉式部町遺跡、御所ノ内町遺跡、嵯峨野高田町遺跡、長福寺境内、天塚古墳、宝幢寺境内、嵯峨遺跡、音戸山古墳群、円乗寺跡、円宗寺跡、仁和寺院家跡の17箇所の遺跡で調査を行った。主要な出土遺物として村ノ内町遺跡 (07UZ262) で出土した弥生土器を報告する。他には上ノ段町遺跡 (07UZ306) で飛鳥時代の包含層を検出している。草木町遺跡 (07UZ188) では平安時代の包含層、鎌倉時代の土坑を検出している。宝幢寺境内・嵯峨遺跡 (06UZ505) では宝幢寺境内の推定地の西端で時期不明であるが落込を検出している。

北白川地区 (KS) 一乗寺向畑町遺跡、向畑古墳、一乗寺松田町遺跡、北白川麿寺跡、吉田上大路町遺跡、吉田二本松町遺跡、吉田山遺跡、吉田神社境内、真如堂境内、法勝寺跡、白河北殿跡、白河南殿跡、白河街区跡、岡崎遺跡、法成寺跡、御土居跡の16箇所の遺跡で調査を行った。主要な出土遺物として白河北殿跡 (07KS230) で出土した偏向唐草文軒平瓦を報告する。白河街区跡 (06KS493) では鎌倉時代の包含層を検出している。

洛東地区 (RT) 御土居跡、四条道場跡、寺町旧域、建仁寺境内、清水寺境内、六波羅政庁跡、法住寺殿跡、方広寺跡、法性寺跡、中臣遺跡、日ノ岡堤谷須恵器窯跡、山科本願寺跡、山科本願寺南殿跡の13箇所の遺跡で調査を行った。法住寺殿跡・六波羅政庁跡・方広寺跡 (07RT214) では近世以降の石垣を検出したので報告する。六波羅政庁跡 (07RT210) では鎌倉時代前期の包含層を検出した。建仁寺境内 (07RT224) では室町時代の包含層を検出した。

鳥羽地区 (TB) 久我殿遺跡、久我東町遺跡、鳥羽離宮跡、鳥羽遺跡、竹田城跡、下鳥羽遺跡、唐橋遺跡、石原城跡、深草遺跡の9箇所の遺跡で調査を行った。今回は概要報告を行うような成果は得られなかったが、鳥羽離宮跡・鳥羽遺跡・竹田城跡 (07TB315) では平安時代後期の湿地状堆積を検出した。

伏見・醍醐地区 (FD) 伏見城跡、御香宮廃寺、桃陵遺跡、桃山古墳群 (永井久太郎古墳)、中山遺跡、正覚寺跡、伏見稲荷大社境内、稲荷山命婦谷遺跡、深草坊町遺跡、醍醐古墳群、醍醐寺子院跡、向島城跡の12箇所の遺跡で調査を行った。深草坊町遺跡 (07FD60) では古墳時代後期の包含層を検出した。

長岡京地区 (NG) 長岡京跡、淀城跡の2箇所の遺跡で調査を行った。左京九条三坊十二町・淀城跡 (06NG468) では隅櫓の石組の階段を検出した。

南桂川地区 (MK) 松尾十三塚古墳群、檜原遺跡、上里北ノ町遺跡、上久世遺跡、中久世遺跡、大藪遺跡、福西古墳群、安岡遺跡の8箇所の遺跡で調査を行った。上久世遺跡 (07MK9) では古墳時代の竪穴住居跡を検出したので報告する。

京北地区 (UK) 鳥谷古墳群で調査を行ったが、概要報告を行うような成果はえられなかった。

(吉本健吾)

註1 『京都市遺跡地図台帳【第8版】』京都市文化市民局 2007年

Ⅱ 平安京跡

1 平安京左京北辺二坊八町 (07HL127)

調査経過 (図1)

本調査は、上京区一条通小川東入西之口町のマンション新築工事に伴う調査である。この地は、平安京条坊復元では、一条大路と西洞院大路の交差する部分にあたる。表記の条坊の左京北辺二坊八町は『延喜式』や『拾芥抄』では、この町には縫殿寮の厨町である「縫殿町」が存在したと記されている。

八町域での発掘調査例は1件あり、平安時代の遺構として、井戸と土坑群を検出している。立会調査は7件ある。

調査は2007年6月19日と20日の二日行い、平安時代の路面の堆積層を検出した。

敷地面積は約178㎡である。

遺構 (図2～4)

調査地の基本層序は、BM-0.9mまでが現代攪乱層で、以下遺構の堆積層となる。堆積層はBM-1.02mまで確認している。

遺構の検出地点は、調査地のほぼ中央にあたり、推定的一条大路と西洞院大路の交差点部分にあたる。

路面の堆積層は3層を検出し、BM-0.89mで検出した上層の路面は、その殆どが現代攪乱によって削平を受け、断面に幅約1m、厚さ0.1mで残っているのを確認したのみである。礫を多量

に含む砂泥層で形成されていた。中層の路面は、BM-0.99mで南北幅約1.8m、東西幅約0.8mに渡って石敷を検出した。厚さは約0.05mを測り、砂泥層に0.03m～0.1m大の石が極めて多量に、また、固く敷かれていた。中層の路面を一部掘り下げるとBM-1.04mで細砂層の下層の路面を検出した。

上層の路面からは平安時代後期(12世紀)の土師器、灰釉陶器が出土しているが、中・下層の路面からは遺物の確認はできなかった。

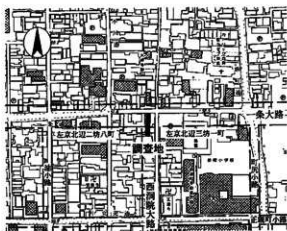


図1 調査位置図 (1:5,000)

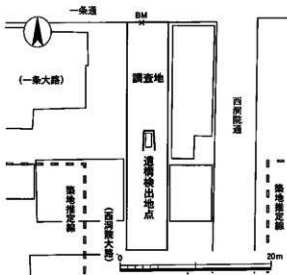


図2 遺構位置図 (1:500)

まとめ

今回検出した石敷の路面は、平安京の条坊復原から考えて一条大路と西洞院大路の交差点の路面であると考えられる。左京城での平安時代の一条大路路面の検出例は少なく、今後この付近での調査例の増加による、路面の検出に期待したい。

(卜田健司)

- 註1 「延喜式 中篇」『改訂増補 國史大系』吉川弘文館 1978年
- 註2 「禁秘抄考註・拾芥抄」付図 東京圖『改訂増補 故実叢書』22巻 明治図書出版株式会社 1993年
- 註3 本弥八郎「平安京左京北辺二坊」『昭和62年度京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1991年

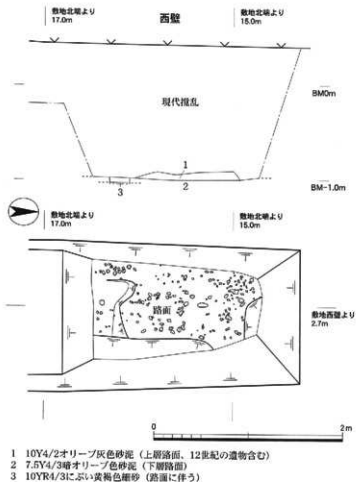


図3 遺構平面・断面図(1:40)



図4 路面(西から)

2 平安京左京一条二坊九町 (07HL71)

調査経過 (図5)

上京区油小路通上長者町下る龜屋町125-2の住宅新築事に伴う遺跡の確認調査である。条坊復元では左京一条二坊九町の北側の土御門大路に位置する。この九町は左近衛府の厨町・左近衛町が存在したと『拾芥抄』にある。また、『中井家「洛中絵図」寛永後～万治前』の地図では、水野日向守藩邸にあっている。

左京一条二坊九町の調査は、発掘調査例はなく、試掘調査及び立会調査が15件あるが目立った成果はない。

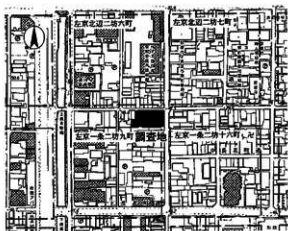


図5 調査位置図 (1:5,000)

調査は2007年5月28日から7月17日まで行った。調査の結果、土御門大路に直接関連する遺構は検出できなかったが、調査地北西で石室と考えられる石組遺構を検出した。

調査面積は約503m²である。

遺構・遺物 (図版27、図6～8)

石室と考えられる石組は調査地の北西部で検出した。石組は石室の南壁と北壁にあたる部分を2箇所検出した。南の石組1は標高46.68mから標高44.45mで東西幅約2.5mに渡ってほぼ垂直に7段を確認した。西端は北面している面が北西に約40度の傾きを持っている。この地点で隅を形成していると考えられる。石は、最大が0.4m×1.0m、最小が0.2m×0.4mを測る。

北側の石組2は断面が確認できたのみであるが南面している。検出時には削平を受け、工事掘削壁面の断面観察で標高45.76mから標高44.30mでほぼ垂直に5段分(1石は欠)ある。石組の北側には幅約0.3mの灰黄褐色砂礫の裏込を持つ。

石室の東端と底部は工事掘削範囲外のため確認できていない。また西端も既に削平を受けていて確認できていない。石室の規模は南北幅3.7mを確認できたのみである。

石室の内部も削平を受け、石組2の東壁断面観察で堆積層を確認した。埋土は4層に分層でき上2層は石組の上部が破壊された後に堆積している。下2層からは平安時代前期の土師器皿・杯・杯蓋・高杯が出土している。

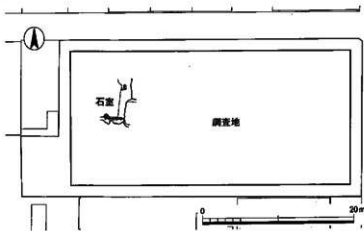


図6 遺構位置図 (1:500)

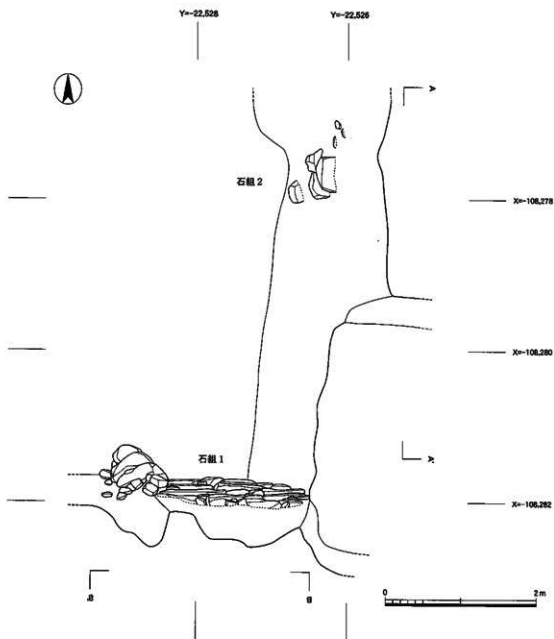


図7 遺構平面図(1:50)

まとめ

今回検出した石室と考えられる石組遺構は、石室内の埋土から平安時代前期の遺物が出土しているが、石の積み方などを考えると江戸時代の遺構であると考えられる。平安時代前期の遺物を含む埋土は石室廃棄後に客土として持ち込まれたものではないかと考えられる。

石室は南北幅3.7m、東西幅2.5m以上、高さ2.3m以上と比較的大きな規模のものであると考えられる。最近の調査では2003年から2004年の平安京左京三条四坊十町の調査で、内法が東西3.5m、南北8.4mの石室を検出している。調査地のある油小路通、東堀川通、上長者町通、下長者町通に囲まれた一画は、江戸時代前半に水野日向守藩邸があったとされる場所である。ただ石室が水野日向守藩邸に関連する施設であることを断定することはできないが、可能性も考えられ

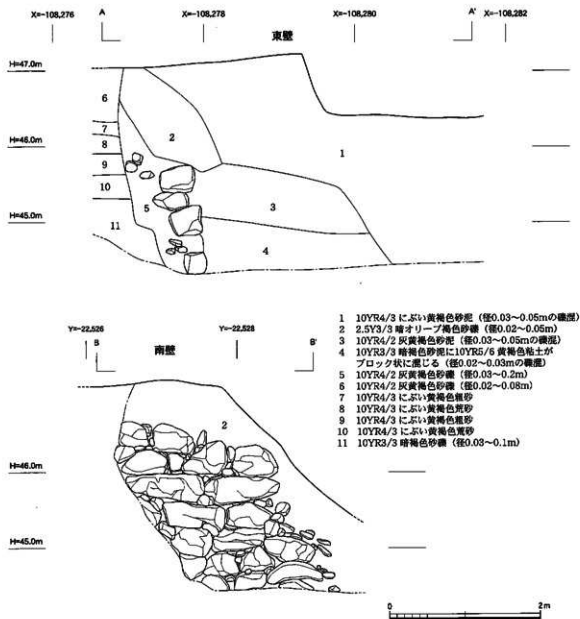


図8 遺構断面図 (1:50)

るので、今後のこの近辺の調査に期待したい。

(ト田健司)

註1 「禁秘抄考註・拾芥抄」付図 東京圖『改訂増補 故実叢書』22巻 明治図書出版株式会社 1993年

註2 『中井家「洛中絵図」寛永後~万治前』臨川書店 1984年

註3 上村和直・小椋山一良『平安京左京三条四坊十町跡』(財)京都市埋蔵文化財研究所 2004年

3 平安京左京四條一坊四町 (06HL482)

調査経過 (図9)

中央区壬生御所ノ内町27番1他2筆の共同住宅建築工事に伴う調査である。調査地の北側は平安京左京四條一坊四町の南東隅に推定され、平安時代後期には権中納言源国信の邸宅があったとされる。また調査地の大半は四條大路にあっている。

この左京四條一坊四町の調査は、調査地西側で1983年に発掘調査が行われ、平安時代前期の井戸、平安時代後期の四條大路北側溝を検出している。また四町内の北側では2005年の立会調査(05HL167)で平安時代後期から鎌倉時代の池跡と洲浜を検出している。

調査は、2007年2月8日から2月13日まで行い、水路の護岸と考えられる木組みの遺構を検出した。

遺構・遺物 (図版28、図10~12)

調査地の基本層序は、地表下-1.23mまでは現代盛土層、-1.23mから-1.45mまでが平安時代後期から鎌倉時代の遺物包含層、-1.45m以下が暗緑灰色泥土層となる。工事掘削深が-1.9mまでで地山は確認できなかった。木組みの遺構はこの暗緑灰色泥土層で検出した。

水路の護岸と考えられる木組みの遺構は、調査地北東隅の工事掘削の東壁で、杭4本と

横板2枚を南北方向に幅約1.4m、深さ0.4mに渡って確認した。まず前面に幅縦0.1m、横1.2m以上(途中工事用のH鋼に分断されている)と幅縦0.1m、横0.45m以上の横板を上下に2枚検出した。横板を外すと奥から長さ0.4m以上、直径0.09mから0.12mの杭を4本検出した。杭は2本づつが密着し、列を構成していた。H鋼の北側に関しては横板の1枚のみを確認しただけで、下段の横板及びその奥の杭の確認は出来なかった。

木組みの遺構を含む暗緑灰色泥土層からは少量ながら平安時代後期の土師器(1)が出土している。

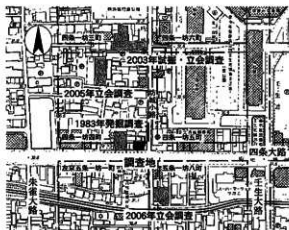


図9 調査位置図 (1:5,000)



図10 遺構位置図 (1:250)

なお調査地西側での発掘調査^{N1}で検出された四
 条大路北側溝の延長の検出が期待されたが、立
 会調査時には推定部分の掘削は既に完了して
 おり、北側溝の確認は出来なかった。

まとめ

今回検出した木組みの遺構は水路の護岸では
 ないかと考えられる。検出した地点が四条大路
 北築地推定ライン上にあたり、築地を縦断す
 る形で南北方向に遺構を検出しているところから、
 四町内の邸宅から四条大路北側溝に排出する暗
 渠の可能性を考えることが出来る。次節で報告
 する左京五条一坊八町で検出した溝状遺構^{N2}は宅
 地内の検出であるが築地に近く、それと直交する
 ような状況で検出しており、

護岸施設は検出できなかったが、今回と同様に邸
 宅から路の側溝に排出する暗渠溝と考えられる。

調査地の位置する左京四条一坊四町の付近は近年
 の立会調査では北側で平安時代後期から鎌倉時代
 の池跡と洲浜(05HL167)、平安時代中期の園池
 (03HL237)。南側で東西方向の溝状遺構(06HL543)
 を検出しており、また83年の発掘調査^{N1}でも
 四条大路北側溝と水に関連する遺構を多数検出
 している。この付近から三条通にかけての四
 条一坊の一带は湿地状堆積が比較的多く検出さ
 れている。当調査地の堆積土も水分を多く含
 んでおり、護岸施設の杭及び横板が残存してい
 たと考えられる。今後この付近での調査で木
 製品の出土が期待される。

(吉本健吾)

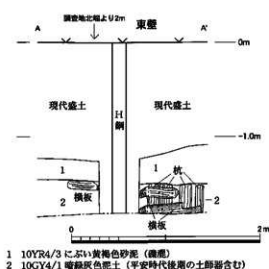


図11 遺構断面図 (1:40)



図12 土器実測図 (1:4)

- 註1 家崎孝治「左京四条一坊」『昭和58年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1985年
- 註2 堀内寛昭「平安京左京四条一坊四町」『京都市内遺跡立会調査報告 平成17年度』(財)京都市埋蔵文化財研究所 2006年
- 註3 本年度立会調査。次節に報告。
- 註4 馬瀬智光・堀大輔「Ⅲ-1平安京左京四条一坊三町跡」『京都市内遺跡試掘調査概報 平成15年度』京都市埋蔵文化財センター 2004年

4 平安京左京五条一坊八町 (06HL543)

調査経過 (図13)

中央区壬生賀陽御所町64番1、64番15、64番14、64番25の共同住宅建築工事に伴う調査である。調査地の中央から東側は平安京左京五条一坊八町の北西部に推定され、また調査地の西側は坊城小路にあっている。前章で報告したように調査地の北西付近では平安時代後期の暗渠排水路の護岸と考えられる木組みの遺構や四条大路北側溝を検出しており、遺構検出が期待された。

調査は2007年3月23日から28日まで行い、平安時代前期の遺物を含む東西方向と考えられる溝状遺構を3箇所に渡って検出した。

遺構・遺物 (図版29、図14~16)

調査地の基本層序は地表下-0.6mまで現代盛土、-0.6m以下が明黄褐色砂礫の地山となる。溝状遺構はこの地山を切って成立している。まずA-B間で南層を検出し、C-D間で東西方向の溝状の堆積層を検出し、D-E間で北層を検出した。A-B間の南層とD-E間の北層が東西に約3m離れているが、平行と仮定して測ると溝の幅は約3m前後となる。深さは最も高低差のあるところで0.73mを測る。埋土は3層に分層でき、上層が灰黄褐色砂泥層、中層が灰黄褐色微砂層、下層が褐色粘土層となる。上層からは平安時代前期の土師器皿、須恵器や、黒色土器甕、緑釉陶器碗(2)、平瓦が出土しているが、須恵器と緑釉陶器を除く土師器、黒色土器及び平瓦は摩滅が著しい。緑釉陶器碗(2)はケズリだし高台の痕投窯産である。中層及び下層からは遺物の確認はできなかった。

まとめ

今回の調査で検出した溝状遺構は、D-E間の層をみるように緩やかな傾斜を持つ部分もあり、池の一部と推定することもでき、明確に溝と断定しがたいが、検出した地点が坊城小路東築地ライン際であることから、築地に直交する溝の可能性が高い。

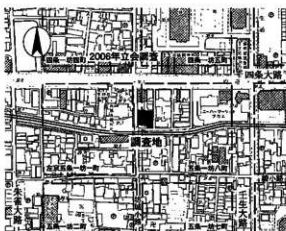


図13 調査位置図 (1 : 5,000)

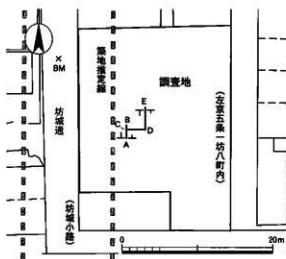


図14 遺構位置図 (1 : 500)

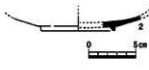


図15 緑釉陶器実測図 (1 : 4)

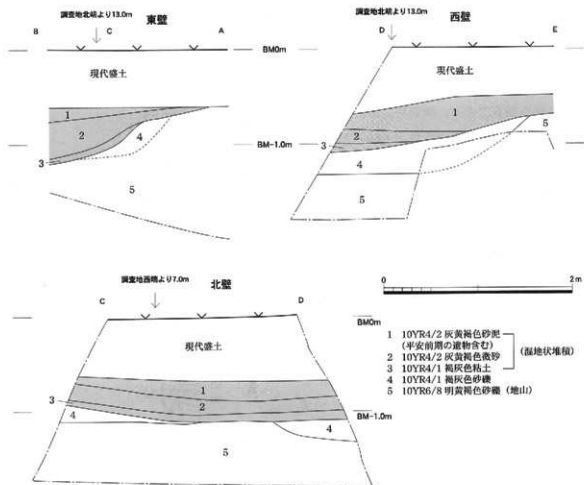


図16 遺構断面図 (1:40)

また『清竊眼抄』に「永万二年丙戌二月十一日乙酉。天晴。戊戌。四條南坊城東四條西焼亡。」とあり、左京五条一坊八町は1166年に焼亡したとの文献があるが、今回の調査では平安時代後期の火災に伴う遺構は検出できなかった。近辺の今後の調査に期待したい。

(吉本健吾)

註1 本年度立会調査。前節に報告。

註2 家崎孝治「左京四条一坊」『昭和58年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1985年

註3 「清竊眼抄」『新校 群書類従 第五巻』名著普及会 1978年

5 平安京右京二条二坊二町 (07HR184)

調査経過 (図17)

中央区西ノ京南両町34番1の一部の住宅建築工事に伴う調査である。調査地の西端が平安京右京二条二坊二町に推定され、一町とともに左馬寮の厨町である左馬町にあたる。また調査地の大半は西大宮大路にあっている。二町内では調査地の南西に位置する1981年の発掘調査で平安時代中期の柵列、平安時代後期の井戸を検出している。調査地の北側では1982年の試掘調査(82HR81)で西大宮大路に沿って流れる平安時代から鎌倉時代の遺物を含む河川を検出しており、遺構検出が期待された。

調査は2007年7月25日と26日で行い、平安時代末期から室町時代の東西方向の溝とこの溝内に瓦組の暗渠遺構を検出した。

遺構 (図版30、図18~20)

調査地の基本層序はBM+0.21mから+0.02mまでが現代盛土層、+0.02mから-0.08mまでが黒褐色泥砂層、-0.08m~-0.17mまでが黒褐色泥土層、-0.17m以下が黒褐色砂礫層となる。東西方向の溝はこの層を切って成立している。また溝の西端では、このレベルでオリブ灰色粘土の地山を確認している。

溝は幅0.3m~0.5m、深さ0.11m~0.16mを測り、調査地北壁から1.8m~2.5mの地点で西壁から1.6mの地点から始まり調査地東端まで約13m続いているのを確認した。北側の肩部分は西端から約0.8mしか確認できていないが、直径0.1m~0.2m大の石を肩に並べて護岸を行っている。しかし南側には石による護岸はなく素掘りのままである。溝の埋土からは平安時代末期から室町時代の土師器皿、須恵器鉢、丸・平瓦が出土している。

この溝の西端から約1mに渡って、丸瓦を2枚合わせ円筒形にした東西方向の瓦組暗渠を検出している。溝の南肩に添うようにして西から東へ流れるように勾配を付け三組並んでいる。しか



図17 調査位置図 (1:5,000)



図18 遺構位置図 (1:500)

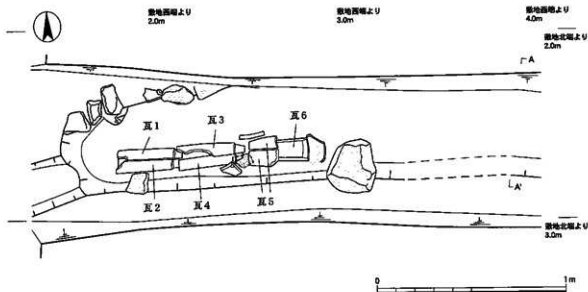


図19 遺構平面図 (1:20)

し西側と中央の二組は広端面を西に向け玉縁と広端面を組み合わせ接合しているが、東側の一組のみ広端面を東に向け、中央の組と玉縁同士で接しているだけで組み合わせされていない。それでは安定が悪いので石と平瓦を使って固定していたようである。この東側の瓦の広端面の下には平たい石が敷かれており、広端面から排出される水を受ける石のようにも考えられ、そうだとすればここが出口となる。出口であるがゆえに組み合わせを無視して広端面を口しているのかもしれない。暗渠の内部からは平安時代末期から鎌倉時代の土師器皿が出土しているが、溝の埋土から平安時代末期から室町時代の遺物が出土しているので、時期の特定はできなかった。

暗渠の東側には水の行く道を塞ぐように0.3m大の石がある。これが暗渠に伴うものか、偶然置かれたものかは不明である。

また東西方向の溝の西端にはこの溝に流れ込む幅0.25m、深さ0.05mの小規模な東西溝を0.4mに渡って検出している。この溝の流れ込む位置がちょうど瓦組暗渠の西端にもあっており、暗渠に流し込む溝の可能性も考えられる。

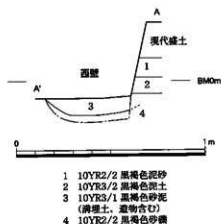
遺物 (図版34、図21・22)

遺物は、すべて東西方向の溝の埋土と瓦組暗渠のものである。土器類と瓦類である。

土師器皿(3)は瓦組暗渠の西側の組の瓦内から出土した平安時代末期から鎌倉時代のものである。

土師器皿(4~7)は東西方向の溝の埋土から出土した平安時代末期から鎌倉時代のものである。(8)のみ溝の埋土から出土した室町時代のものである。

須恵器鉢(9)も東西方向の溝の埋土から出土した平



- 1 10YR2/2 黒褐色深砂
- 2 10YR3/2 黒褐色埋土
- 3 10YR3/1 黒褐色砂泥 (溝埋土、遺物含む)
- 4 10YR2/2 黒褐色砂泥

図20 A地点柱状断面及びA-A'溝断面図 (1:20)

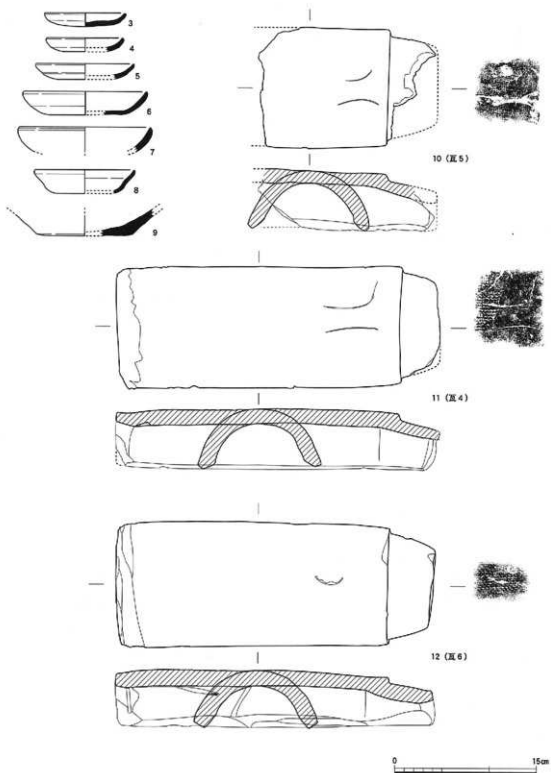


図21 出土土器・瓦実測及び拓影図（1：4）

安時代末期から鎌倉時代のものである。内面に二次焼成を受けている。

丸瓦（10～15）はすべて瓦組暗渠に使用された平安時代末期から鎌倉時代のものである。暗渠の西側が（13）と（14）、中央が（11）と（15）、東側が（10）と（12）の組み合わせになっている。（10～12）には凸面玉縁側にヘラ記号がみられる。

まとめ(図19)

今回検出した東西方向の溝及び瓦組暗渠は、検出した地点が西大宮大路西築地推定ライン上にあたり、築地を横断する形で東西方向に遺構を検出しているところから、二町内の邸宅から西大宮大路に排出する水路の可能性を考えることができる。

ただ排水施設の割りに丸瓦同士の接合を縦向きにしたり(西側と中央)、玉縁同士を接合するなど、漏水に配慮していない。

調査地の北側の試掘調査^{註2}で検出された河川は、そのまますすく南下すれば、当調査地にあたる。今回の調査ではこの河川を確認することはできなかったが、同じように築地を横断する河川(SD3)から引き込む溝(SD1・2)を検出している。さらなる今後の調査に期待したい。

(吉本健吾)

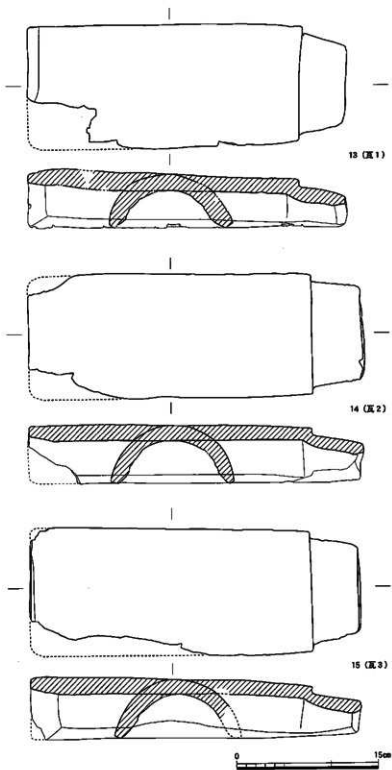


図22 出土瓦実測図(1:4)

- 註1 平方幸雄「右京二条二坊(1)」『平安京跡発掘調査概報 昭和56年度』京都市文化観光局 1982年
 註2 家崎孝治「右京二条二坊(HR81)」『京都市内遺跡試掘立会調査概報 昭和57年度』京都市文化観光局 1983年

6 平安京右京二条二坊十五町 (07HR56)

調査経過 (図23)

中京区西ノ京中御門東町40-2、40-3、40-4、40-5の一部における共同住宅に伴う立会調査である。調査地の全体が平安京右京二条二坊十五町の西端中央に推定され、大將軍社領にあたる。十五町内では中央のやや北よりで2000年に発掘調査が行われ平安時代前期の井戸、土坑などを検出している。

調査は2007年5月14日から21日まで行い平安時代の遺物を含む東西方向の溝を検出した。

遺構 (図版31、図24・25)

調査地の基本層序は、調査地の東側No1地点でBM+0.69mから+0.23mまでが現代盛土層、+0.23m以下褐色粘土の地山となる。東西方向の溝はこの地山を切って成立している。

溝はNo1地点と西へ約12.5m離れたNo2地点の断面で検出した。また中間のNo3地点では南側のみを確認している。溝の規模はNo1地点では幅2.7m、深さ0.45mを測り、No2地点では幅1.1m、深さ0.25mを測る。No2地点で幅が狭く、深さが浅くなっているのは上部が削られたため

だと考えられる。底部はNo1地点がBM-0.21mで、No2地点がBM-0.53mで西へ向って下っており、道祖大路東側溝への排水路と考えられる。埋土はNo1地点では2層に分層することができ、上層からは平安時代の須恵器甕・鉢、平瓦、下層からは平安時代前期から後期の土師器皿・甕、須恵器甕・壺、丸・平瓦が出土している。No2地点では平安時代前期から中期にかけての土師器皿、須恵器甕、緑釉陶器皿、灰釉陶器短頸壺、丸・平瓦が出土している。No3地点では平安時代の土師器、須恵器甕、緑釉陶器碗、黒色土器が出土している。

また南西付近のNo4地点ではBM-0.34mで地山を切って幅0.33m、深さ0.35mの土坑を1基検出している。埋土には土師器の微片が確認できるのみであった。

遺物 (図26)

遺物は、東西方向の溝を検出した3箇所の地点の溝の埋土から出土している。ここではNo2地点の遺物を報告する。

(16・17) は平安時代中期の土師器皿である。



図23 調査位置図 (1:5,000)



図24 遺構位置図 (1:500)

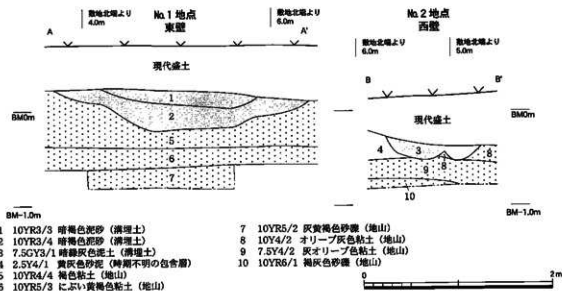


図25 遺構断面図 (1:40)

(18) は土師器甕の口縁部から肩部にかけての破片である。

(19) は緑軸陶器皿の底部の破片である。

(20) は灰軸陶器短頸壺の口縁部から肩部にかけての破片である。

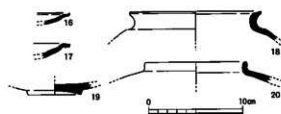


図26 出土土器実測図 (1:4)

まとめ

今回検出した東西方向の溝は、一町内の南北中央を区画する推定ラインの北側約3mの位置を東西に流れていることになる。これは小径の北側溝とも考えられる。今後のこの近辺の調査に期待したい。

(吉本健吾)

註1 平田泰「平安京右京二条二坊(2)」『平成12年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 2003年

7 平安京右京八条二坊十町 (06HR494)

調査経過 (図27)

下京区七条御所ノ内北町97における共同住宅建築工事に伴う調査である。調査地の北西部が平安京右京八条二坊十町の南東角に位置し、平安時代後期には参議修理大夫藤原忠能の邸宅の一部及び所領と推定されている。また調査地の南半は八条坊門小路、東側は西堀川小路に位置している。調査地の北隣接地では1983年に試掘調査(83HR9)を行い、平安時代中期の西堀川小路西側溝と推定される南北溝を検出している。また1997年には調査地の西隣接地で立会調査(97HR108)を行い室町時代や平安時代の包含層を検出している。



図27 調査位置図 (1:5,000)

調査は2007年2月20日から27日まで行い、平安時代前期の遺物を含む溝の埋土と考えられる堆積層を検出した。

遺構 (図28~30)

調査地の基本層序は地表下-0.5mまで現代盛土層、-0.5mから-0.6mまでが黒色砂泥層、-0.6mから-0.8mまでがオリーブ黒色砂泥層、-0.8mから-1.0mまでが灰色砂礫層、-1.0mから-1.17mまでが黄灰色微砂層である。-1.17mから-2.15mは黄灰色泥土の湿地状堆積となり、-2.15m以下は褐色砂礫の地山となる。

遺構は-0.6mから-1.17mの3層で、溝の堆積層と思われる。上

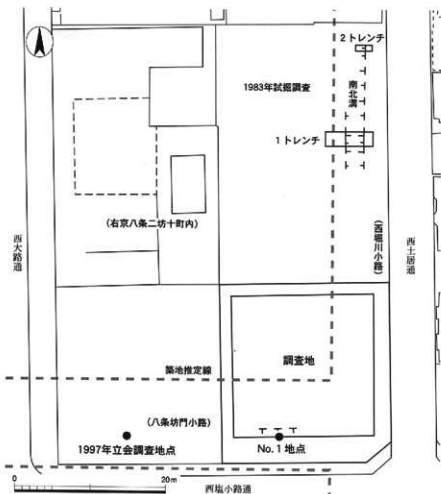


図28 遺構位置図 (1:500)

層の砂泥層からは平安時代前期の須恵器壺が出土している。この層は調査地の南側の工事掘削壁面に沿って東西方向に約5m程続いているのが確認でき、東西方向の溝状遺構と考えられる。

また北隣で1983年に試掘調査^{N1}(83HR9)で検出した西堀川小路西側溝に推定される南北溝の南延長部分が、今回の調査地にあたるはずであったが、立会調査時には既に推定部分の掘削は終了しており検出はできなかった。

まとめ

今回検出した東西方向の溝の埋土と考えられる堆積層は、検出地点が推定の八条坊門小路南築地付近に位置し、同小路の南側溝に当たると考えられる。

1997年の西隣接地での立会調査^{N2}(97HR108)でも、今回のNo.1地点から西へ約20mの地点で、地表下-0.7mから-1.2mで黒褐色泥土層3層と灰色微砂層を検出している。今回検出した間層の砂礫層はみられないが、上層に平安時代の遺物を含む泥土層があり、最下層が微砂層であり、今回検出した堆積と類似しており、八条坊門小路南側溝として更に西に続いていることが確認できると考えられる。北隣接地でも1983年の試掘調査^{N1}(83HR9)で西堀川小路西側溝を検出しているなど、この付近では条坊関連の遺構の残存状態が良く、今後の調査に期待したい。



図29 No.1地点柱状断面図(1:40)

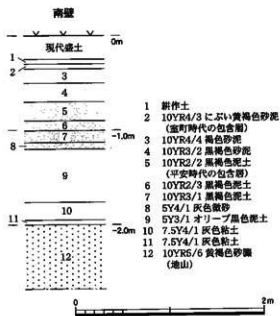


図30 1997年立会調査柱状断面図(1:40)

(吉本健吾)

註1 調査一覧表『京都市内遺跡試掘立会調査概報 昭和58年度』京都市文化観光局 1984年

註2 調査一覧表『京都市内遺跡立会調査概報 平成9年度』京都市文化市民局 1998年

Ⅲ その他の遺跡

1 法住寺殿跡・六波羅政庁跡・方広寺跡 (07RT214)

調査経過 (図31)

東山区茶屋町527の京都国立博物館の日本館の耐震性能診断のための調査に伴う立会調査である。当地は平安時代の法住寺殿跡、鎌倉時代の六波羅政庁跡に位置し、また桃山時代の方広寺跡に隣接する。京都国立博物館内の発掘調査では1998年の新館建替え計画による調査で方広寺の南門跡、東西方向の石垣などを検出している。また、立会調査でも2000年の日本館の北側の仮設収蔵庫及び仮設事務所の建築工事の立会調査(00RT391)で南北方向の石垣を検出している。

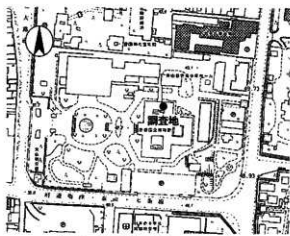


図31 調査位置図 (1:5,000)

調査は2007年8月27日と28日に行い、南北方向の石垣を検出した。

遺構・遺物 (図版32・35、図32~34)

耐震性能診断のための調査の掘削は3箇所で行われ、石垣を検出したのは日本館建物内の北側の床下の調査である。基本層序は標高42.02mから41.54mまでが近代盛土層。おそらく日本館建設時の整地層と考えられる。記録によると1891年(明治24年)に日本館建設に伴う地均し工事が行われている。この層は石垣より西では



図32 遺構位置図 (1:500)

傾斜を持ち約0.3m程下っていく。標高41.54mから41.42mはにぶい黄褐色砂泥層となる。41.42m以下が石垣及び裏込の層となる。石垣西側は標高40.78mまでにぶい黄褐色砂泥層となる。この層からは江戸時代末期の白磁碗、菊丸瓦(21)、土製品人形が出土している。40.78m以下はにぶい黄褐色粘土となる。なお、裏込の東側(標高41.42m)で明黄褐色粘土の地山を検出している。

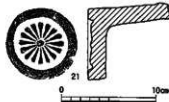


図33 菊丸瓦実測及び拓影図 (1:4)

石垣は、幅0.4m以上、高さ0.67m以上で2段を検出した。石は西向きに面を持ち南北方向である。上部の石は幅0.4m以上、高さ

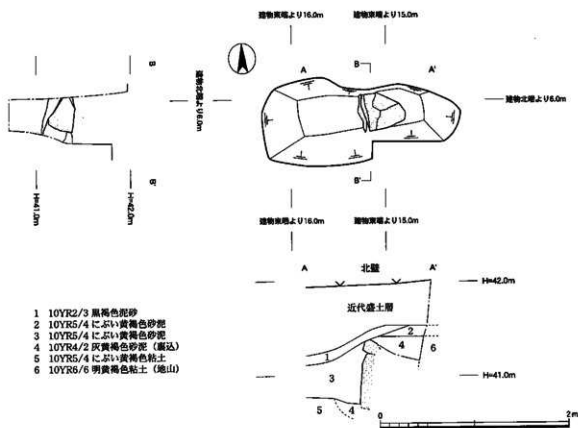


図34 石垣平面・断面及び見通し図 (1 : 40)

0.3m、奥行き0.42m以上を測り、下部の石は幅0.4m以上、高さ0.55m以上を測る。裏込は上部の石の部分で石の面から0.6mの幅を持つ。あまり栗石は含まれておらず、瓦片が2点出土した。1点は方広寺の時期のものと思われるが、もう1点は時期の特定には至らなかった。

まとめ (図35)

今回検出した南北方向の石垣の延長にあたる北へ約20mの地点で、2000年に立会調査 (00RT 391) を行い、西向きに面を持つ南北方向の石垣を約4mに渡って検出している。この時の石垣は1段のみを確認し、この石垣から約1m離れた地点で石垣と平行に置かれた丸太を検出している。この石垣と丸太の間を溝として利用していた可能性がある。また裏込には焼けて赤変した花崗岩などが見られる。しかしこの石垣も明確な時期の特定はできていないが、おそらく今回検出した石垣の延長ではないかと考えられる。この付近は東から西へ下っていく傾斜のある地形であり、石垣はその地形を段状に整地するためのものであると考えられる。

1798年 (寛政十年) に方広寺が落雷により焼失し、1870年 (明治3年) に明治政府によってこの地に恭明宮が建設されている。今回検出した石垣が、方広寺に関連するものか、恭明宮に関連する遺構かは明確にすることはできなかった。今後の調査に期待したい。

(吉本健吾)

註1 田中利津子・近藤知子・大立目一「六波羅政庁跡」『平成10年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)

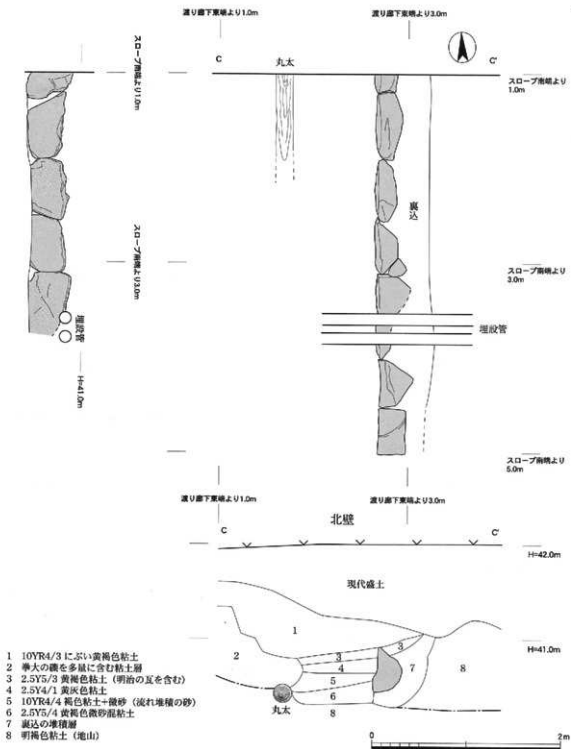


図35 2000年立会調査検出の石垣平面・断面及び見通し図 (1:40)

京都市埋蔵文化財研究所 2000年

註2 調査一覧表『京都市内遺跡立会調査概報 平成13年度』京都市文化市民局 2002年

註3 『京都国立博物館百年史』京都国立博物館 1997年

2 上久世遺跡 (07MK9)

調査経過 (図36)

南区久世上久世町337番地で行われた共同住宅建築事に伴う立会調査である。調査地は上久世遺跡の東部分にあたる。調査地の西隣では1994年に発掘調査を行い弥生時代中期から古墳時代の竪穴住居跡を検出している。

調査は2007年9月10日と12日に行い、古墳時代の竪穴住居跡2基と時期不明のピット群を検出した。

遺構 (図版33、図37～39)

基本層序は、BM-0.8mまでが現代盛土層、-1.0mまでが耕作土、以下は黄褐色砂泥の地山となる。竪穴住居跡はこの地山層上面で検出した。

竪穴住居跡はいずれも調査地南壁で検出した。南西隅 (No 1 地点) の竪穴住居跡は、BM-1.0mで東側の一部のみを確認し幅0.75m以上、深さ0.26mを測る。壁溝は幅0.15m、深さ0.09mある。また南東隅 (No 2 地点) の竪穴住居跡は、BM-0.97mで幅1.97m、深さ0.26mを測り、東西で壁溝を確認している。共に床用入土にあたるものはみられない。No 1 地点の竪穴住居跡の埋土からは布留式併行期の土器が出土している。No 2 地点の竪穴住居跡の埋土からは6世紀前半の遺物が出土している。

ピット群は、調査地南側 No 3 地点のBM-0.97mで黄褐色砂泥の地山上で検出した。直径0.11m～0.18m、深さ0.05m～0.1mのピット5基が、直径約2m程度の半円状に約1mの間隔で並んでいる。その状況から床面まで削平を受けた竪穴住居の柱穴と考えられる。ピットの埋土からは1基 (Pit 3) で庄内式併行期の土器、2基 (Pit 4・5) で時期不明の土器が出土している。



図36 調査位置図 (1 : 5,000)

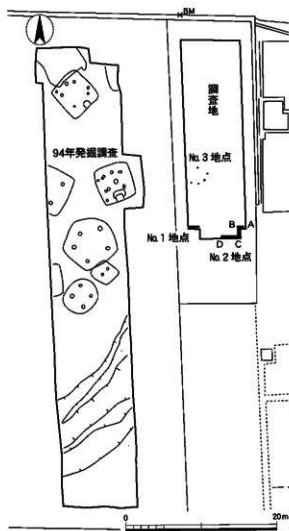


図37 遺構位置図 (1 : 500)

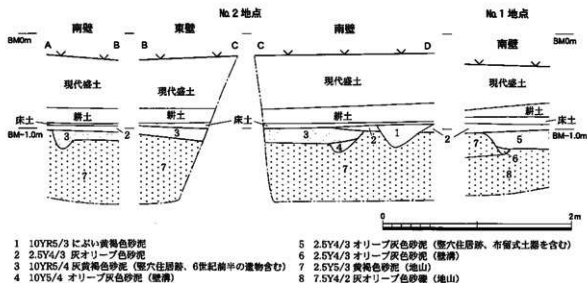


図38 No. 1・2地点遺構断面図 (1:40)

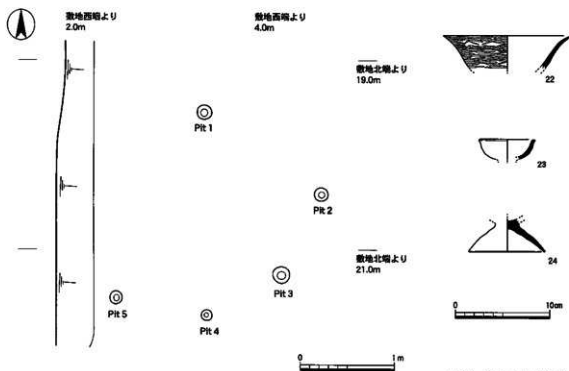


図39 No. 3地点遺構平面図 (1:40)

図40 出土土器実測図 (1:4)

遺物 (図版35、図40)

遺物は、竪穴住居跡・ピット群から出土しているが、いずれも小片である。No. 1地点の竪穴住居跡からは布留式併行期の甕・高坏 (22)・器台 (23・24) が出土している。いずれも摩滅が著しく、(22)のみ口縁部外面に横方向のヘラミガキが確認できた。No. 2地点の竪穴住居跡からは6世紀前半の土師器甕、須恵器蓋が出土している。他には小片であるがピット (Pit 3) から庄内式併行期の甕が出土している。

竪穴住居跡一覧

| 番号 | 名称 | 時代 | 調査 | 番号 | 名称 | 時代 | 調査 |
|----|--------|------|----|----|--------|------|-----|
| 1 | 区1号住居跡 | 弥生時代 | 註2 | 11 | SB26 | 弥生時代 | 註1 |
| 2 | 区2号住居跡 | 弥生時代 | 註2 | 12 | SB40 | 弥生時代 | 註1 |
| 3 | 区1号住居跡 | 古墳時代 | 註2 | 13 | SB27 | 古墳時代 | 註1 |
| 4 | 区2号住居跡 | 古墳時代 | 註2 | 14 | SB28 | 古墳時代 | 註1 |
| 5 | 区3号住居跡 | 古墳時代 | 註2 | 15 | SB65 | 古墳時代 | 註1 |
| 6 | 1号住居跡 | 弥生時代 | 註3 | 16 | SB60 | 古墳時代 | 註1 |
| 7 | 3号住居跡 | 古墳時代 | 註3 | 17 | SB90 | 古墳時代 | 註1 |
| 8 | 4号住居跡 | 古墳時代 | 註3 | 18 | SB115 | 古墳時代 | 註1 |
| 9 | 5号住居跡 | 古墳時代 | 註3 | 19 | No.1地点 | 古墳時代 | 本報告 |
| 10 | 6号住居跡 | 古墳時代 | 註3 | 20 | No.2地点 | 古墳時代 | 本報告 |

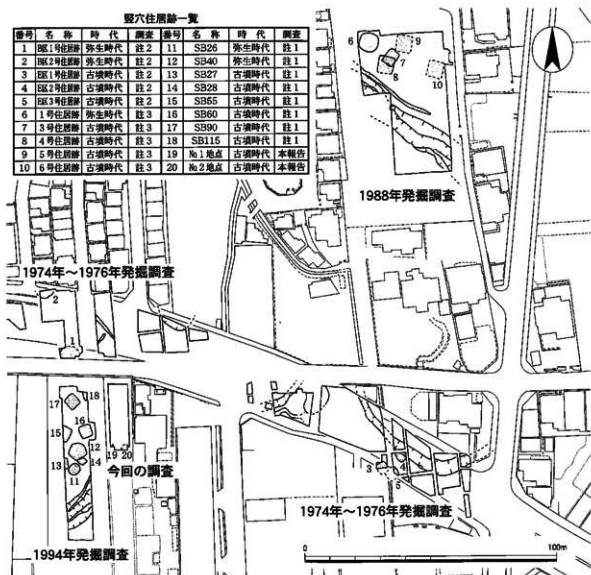


図41 上久世遺跡発掘調査検出竪穴住居跡位置図 (1:1,500)

まとめ (図41)

今回の調査地の南側では、古墳時代の竪穴住居跡2基とピット群を検出した。しかし、北側では遺構の検出はできなかった。旧地形が北へ高くなり、遺構が削られてしまった可能性が考えられる。

上久世遺跡では1974年から1976年の道路建設に伴う発掘調査^{註2}で弥生時代2基、古墳時代3基の竪穴住居跡を検出したのに始まり、1988年の発掘調査^{註3}と1994年の発掘調査で竪穴住居跡を検出しており、今回の調査で20基の竪穴住居跡を検出したことになる。 (吉本健吾)

註1 上村和直・出口勲「上久世遺跡」『平成5年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1996年

註2 六勝寺研究会『上久世遺跡発掘調査報告 1976年3月』京都市建設局 1976年

註3 吉崎伸「上久世遺跡」『昭和62年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1991年

IV 主要な出土遺物

1 金箔巴文軒丸瓦 (07HL124)

平安京左京二条三坊三町 (図版35、図42~44)

中京区釜座通竹屋町下る亀屋町330、334-1、334-3で行われた共同住宅建築工事に伴う立会調査で、金箔巴文軒丸瓦を採集したので報告する。

金箔巴文軒丸瓦は調査地の北西部付近の現代盛土層を削平した地表下-1.3mの面で採集した。この面の下層は-1.73mまで近世の棧瓦を含む層を確認している。しかし、この地点より約3m南東地点の断面観察では-0.8mと-1.05mで江戸時代前期、-1.4mで室町時代後期の包含層を検出しており、採集した瓦は、江戸時代前期の包含層に含まれていたものが、近現代の削平で盛土層に混入した可能性が考えられる。

金箔巴文軒丸瓦 (25) は、瓦当の4分1が残るのみで、復元直径は15cmと考えられる。金箔は瓦当凸面に貼られ、一部下塗りの赤漆が確認できる。瓦当文様は右巻きの巴に珠文を密に配し、金箔を強調するためか周縁を2.4cmと幅広くしている。

調査地は平安京左京二条三坊三町の北西部にあたり、金箔瓦が使用された桃山時代の聚楽第跡からは南東方向に約750m程はなれた地点に位置している。この付近での金箔瓦の出土例はあまりなく、聚楽第の関連施設の広がりを考える上で重要な資料となるだろう。

(吉本健吾)

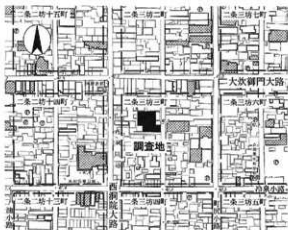


図42 調査位置図 (1 : 5,000)



図43 遺構位置図 (1 : 500)

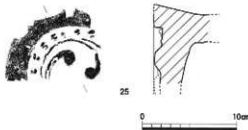


図44 金箔巴文軒丸瓦実測及び拓影図 (1 : 4)

2 唐草文軒平瓦 (07HL126)

平安京左京四条二坊九町 (図版35、図45~48)

中京区三条通油小路下る三条油小路町172番2で行われた共同住宅建築工事に伴う立会調査で、唐草文軒平瓦を検出したので報告する。

調査地の基本層序は地表下-0.6mまで現代盛土層、-0.6mから-0.92mまでは近世層、-0.92mから-1.17mまでが平安時代末期から鎌倉時代の包含層、-1.17mから-1.4mは平安時代の包含層、この包含層を切って幅1.0m、深さ0.36mの平安時代後期の土坑を検出した。そして-1.76m以下が灰オリーブ色粗砂の地山となる。

報告する唐草文軒平瓦 (32) は平安時代後期の土坑から出土したものである。他に土師器 (26~31) が多量に出土している。

軒平瓦 (32) は瓦当部の右端のみの破片である。瓦当面に布目混の残る折り曲げ式技法のものである。瓦当面を除く部分に煤が付着し焦げ跡がみられる。調査地の左京四条二坊九町の東

部には左中将源雅通の邸宅があり、天養元年 (1144年) 3月22日に火災で焼失したとある。土師器には2次焼成の痕跡はみられず、この軒平瓦を邸宅火災と結びつけるのは早計であるが、同時期の軒平瓦である。

(吉本健吾)

註1 『新訂増補 國史大系 第九卷 本朝世紀』吉川弘文館 1999年

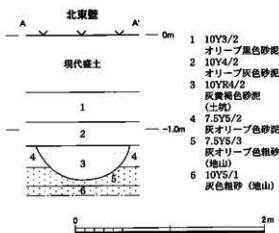


図47 遺構断面図 (1:40)



図45 調査位置図 (1:5,000)

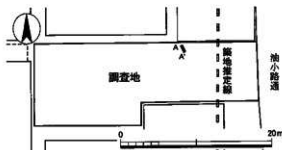


図46 遺構位置図 (1:500)



図48 出土遺物実測及び拓影図 (1:4)

3 弥生土器甕 (07UZ262)

村ノ内町遺跡 (図版35、図53~56)

右京区常盤出口町14・26・41で行われた児童福祉施設建築工事に伴う立会調査で、弥生時代中期の土器を検出したので報告する。

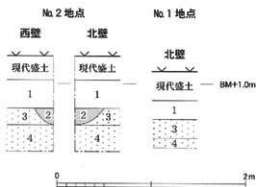
調査地は西側3分の2程が東側道路面より約1m高くなっており、基本層序はNo1地点でBM+1.13mから+0.83mまで現代盛土層、+0.83mから+0.63mまでが包含層、+0.63m以下がにぶい黄褐色砂泥の地山となる。また調査地北西隅のNo2地点では包含層下で東西幅0.3m以上、南北幅0.2m以上、深さ0.17mの北西に下る落込を検出している。この埋土から小片であるが庄内式併行期の波状文が施された壺の破片が出土している。

報告する甕(33)はNo1地点の包含層から出土したものである。他には凹線文と幅の広い突帯に刻目を施した壺の頸部も出土している。

弥生土器甕(33)は、口縁部から胴部にかけての破片で、口縁は外反している。胴部は外面を細かいハケメで調整し、文様として胴部最大径付近に刺突文を巡らせている。内面は下方から上方に向けて縦方向にヘラケズリしている。復元口径は15.4cmを測る。(吉本健吾)



図49 調査位置図 (1:5,000)



- 1 10YR3/2 黒褐色砂泥 (包含層)
- 2 10YR2/1 黒色砂泥 (庄内式併行土器を含む落込)
- 3 10YR5/3 にぶい黄褐色砂泥 (地山)
- 4 10YR5/3 にぶい黄褐色砂泥 (地山)

図50 遺物出土地点断面図 (1:40)

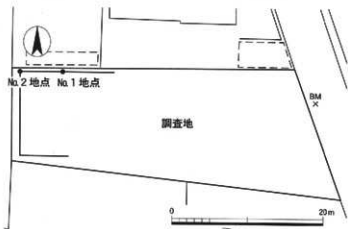


図51 構構位置図 (1:500)

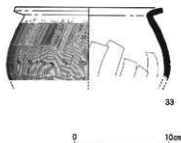


図52 弥生土器実測図 (1:4)

4 唐草文軒平瓦 (07KS230)

白河北殿跡 (図版35、図49~52)

左京区東丸太町16-7他で行われた共同住宅建築工事に伴う立会調査で、唐草文軒平瓦を検出したので報告する。

調査地の基本層序は地表下-0.6mまで現代盛土層、-0.6mから-0.95mまでが平安時代後期の包含層、-0.95m以下がにぶい黄褐色細砂の地山となる。

報告する唐草文軒平瓦 (34) は平安時代後期の包含層から出土したものである。他の出土した遺物はすべて瓦で、瓦当の残存しない軒丸瓦と平瓦である。平瓦にはヘラ記号のあるものもある。

軒平瓦 (34) は、瓦当部が左端部を失っているが全体の3分の2程度残存している。瓦当面には小さな范傷が横方向に多数みられる。平瓦部には凸面に「×」と考えられるヘラ記号の一部が確認できる。

今回の調査地の東約30mの地点で1992年に発掘調査が行われ、平安時代後期から室町時代にかけての池跡を検出している。今回の調査で軒平瓦を検出したことは池の西側に何らかの瓦葺の施設があったことを想起させる。

(吉本健吾)

註1 吉崎伸「白河街区跡」『平成4年度 京都市埋蔵文化財調査概要』(財)京都市埋蔵文化財研究所 1995年

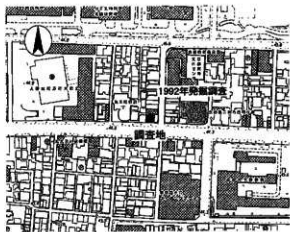


図53 調査位置図 (1:5,000)



図54 軒平瓦実測及び拓影図 (1:4)

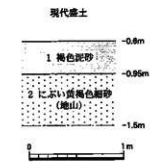


図55 No.1地点柱状断面図 (1:40)

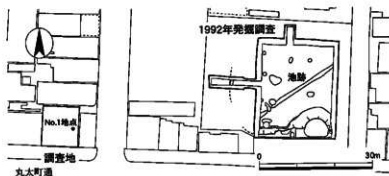


図56 No.1地点及び1992年発掘調査遺構位置図 (1:1,000)

調査一覧表

2007年 1～3月期 (平成18年度)

平安宮 (HQ)

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|---------|----------------------------------|----------------|--|--------|--------|----|
| 大蔵倉 | 上・千本通一条下る西中筋町19-61 | 1/30 | -0.3mまで現代盛土。 | 06K814 | HQ 473 | 1 |
| 大蔵倉 | 上・淨福寺通一条下る東西後屋町 656-36、656-37 | 1/11 | -0.35mまで現代盛土。 | 06K503 | HQ 448 | 1 |
| 大蔵倉 | 上・仁和寺街道東入西宮仲町457-1の一部 | 2/26 | -0.07mまで現代盛土。 | 06K668 | HQ 500 | 1 |
| 大蔵倉 | 上・新御馬場横町515、516 | 3/20 | -0.15mまで現代盛土。 | 06K700 | HQ 535 | 1 |
| 大蔵倉 | 上・淨福寺通一条下る東西後屋町661-5 | 3/30 | -0.5mまで現代盛土。 | 06K737 | HQ 555 | 1 |
| 大蔵倉 | 上・淨福寺通一条下る東西後屋町661-7 | 3/30 | -0.3mまで現代盛土。 | 06K738 | HQ 556 | 1 |
| 大蔵倉 | 上・淨福寺通一条下る東西後屋町661-8 | 3/30 | -0.3mまで現代盛土。 | 06K739 | HQ 557 | 1 |
| 大蔵倉 | 上・淨福寺通一条下る東西後屋町661-9 | 3/30 | -0.3mまで現代盛土。 | 06K740 | HQ 558 | 1 |
| 菫松原 | 上・六軒町下長者町下る七番町358 | 1/24 | -0.44m、近世以降の包含層。 | 06K569 | HQ 465 | 1 |
| 菫松原 | 上・七本松通下立上る七番町地先 | 2/26、3/13 | -0.6m以下、黄褐色砂泥の地山。 | 06K553 | HQ 499 | 1 |
| 菫松原・掃部寮 | 上・七本松通水上る三番町地先 六軒町通水上る利生町地先 | 1/9～2/13 | -0.67mまで現代盛土。 | 06K543 | HQ 444 | 1 |
| 左近衛内 | 上・和泉町通上長者町西入和町439-26 | 1/15 | -0.45mまで現代盛土。 | 06K610 | HQ 461 | 1 |
| 内 | 上・下長者町通浄福寺西入新御幸町 51-1の一部 | 1/22 | -0.25mまで現代盛土。 | 06K623 | HQ 468 | 1 |
| 豊楽院 | 中・東楽廻中町53-11 | 1/22 | -0.25mまで現代盛土。 | 06K582 | HQ 457 | 1 |
| 豊楽院 | 中・東楽廻中町47-2 3番 | 3/16 | -0.55m、江戸の包含層 (土製品泥面子)。 | 06K521 | HQ 525 | 1 |
| 豊楽院 | 中・東楽廻中町47-2 1番 | 3/16 | -0.2mまで現代盛土。 | 06K519 | HQ 524 | 1 |
| 豊楽院 | 中・東楽廻南町8番13 | 3/19 | -0.35mまで現代盛土。 | 06K608 | HQ 529 | 1 |
| 朝堂院 | 上・主税町821番地2 | 2/16・19・ 26 | No 1 : -0.2m、江戸末期の包含層。 -0.75m、時期不明の包含層 (丸・平瓦)。 No 2 : -0.23m、近世以降の包含層。 | 06K673 | HQ 489 | 1 |
| 朝堂院 | 上・主税町→東楽町地先 | 3/19～8/30 | -0.87m以下、褐色砂泥の地山。 | 06K490 | HQ 530 | 1 |

平安京京 (HL)

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|---------|-------------------------------|---|--|--------|--------|------------|
| 北辺二坊 四町 | 上・桐屋町、堀川下之町、 福大明神町、北舟橋町 地内 | 06/8/22～ 07/12/20 | -0.67m、江戸前期の包含層 (土師器皿、施輪陶器皿)。 | 05H420 | HL 230 | 2・ 20-1 |
| 北辺二坊 六町 | 上・東横橋町、西山崎町、中・矢継町 | 06/8/1～ 07/12/20 | -3.0mまで現代盛土。 | 05H447 | HL 203 | 2 |
| 北辺三坊 八町 | 上・京都御苑3 | 06/11/6～ 9・13・ 16・27～ 30、12/4～ 8・14・ 18～20・ 22・25、 07/7/31 | No 1 : -0.15m、江戸後期以降の包含層。No 3 ; -0.10m、江戸後期以降の包含層。-0.45m、江戸 後期の包含層。No 4 : -0.53m・-0.6m、江戸 後期以降の包含層 2。No 5 : -0.42m・-0.62m、 江戸後期以降の包含層 2。No 6 : -0.3m、江戸 後期の包含層 (土師器皿)。No 7 : -0.3m、江戸 後期以降の包含層。No 8 : -0.28m・-0.48m・ -0.63m、江戸後期以降の包含層 3。No 9 ; -0.66m、時期不明の踏面。No 11 : -0.3m、江戸 末期の包含層 (土師器ツボツボ)。 No 12 : -0.1m、江戸末期の包含層。 No 13 : -0.1m、江戸末期の包含層。 | 06H459 | HL 369 | 3・ 20-1 |
| 一条二坊 八町 | 上・奈良物町 地内 | 1/11・15、 7/25 | -0.6m、時期不明の踏込 (土師器)。 -0.7m、時期不明の包含層 (土師器)。 | 06H514 | HL 449 | 2 |
| 一条二坊 九町 | 上・東堀川通上長者町下る二丁目 19番1 | 06/12/6、 07/1/11 | -0.9m以下、ふい黄色砂泥の地山。 | 06H303 | HL 411 | 2 |
| 一条二坊 九町 | 上・東堀川通上長者町下る二丁目 19番4他 | 06/12/6～ 07/1/11 | -0.7m、近世以降の包含層。-1.3m以下、褐色 砂泥の地山。 | 06H298 | HL 412 | 2 |

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|---------|----------------------------------|-------------------------|--|--------|--------|----|
| 一条三坊 六町 | 上・室町通下立上る助解由小路町164-1、168 | 3/16・19・23・26・28 | No 1 ; -0.71m・-1.12m、近世以降の包含層。 No 2 ; -1.69m~-1.8mで褐色砂礫の地山を切つて室町の土坑(土師器皿、須恵器壺・蓋、灰陶筒形埴輪、剣頭文軒平瓦) 2、時期不明の落込(土師器、須恵器)。 | 06H589 | HL 526 | 3 |
| 一条四坊 十町 | 上・京都御苑1番地(京都御所)、2番地(大宮仙洞御所) | 2/21、3/1・8 | -0.55mまで現代盛土。 | 06H664 | HL 406 | 3 |
| 二条三坊 一町 | 上・西院院通丸太町上る角川町380番地2、380番地5の1 | 1/29~2/26 | -2.55m、鎌倉の包含層(土師器皿、須恵器)。 | 06H347 | HL 469 | 3 |
| 二条三坊十六町 | 上・京都御苑3番地 | 3/22・23・26~29、4/9・11 | No 1 ; -0.3m、近世以降の包含層。No 4 ; -0.7mで近世以降の包含層を切つて桃瓦の瓦葺。 No 6 ; 開院宮の池から外へ排水する溝の北側護岸の石風の断面を検出。 | 06H666 | HL 538 | 3 |
| 二条四坊 一町 | 上・三本木町 他 | 1/23 | -0.27mまで現代盛土。 | 06H548 | HL 463 | 3 |
| 二条四坊 三町 | 中・高倉通河川上る堀廻町710、711、712 | 3/19・23 | -0.79m・-1.32m~-1.4m、近世の包含層 3。 | 06H665 | HL 531 | 3 |
| 二条四坊 七町 | 中・丸太町通御馬場西入殿屋町65番、御町通竹屋町上る橋町77番1 | 3/15・19 | -0.13m、近世の包含層、-1.02m、室町の包含層(土師器皿)。 | 06H556 | HL 523 | 3 |
| 三条一坊十二町 | 中・西ノ京地ノ内町23-12 | 06/12/21~07/1/10 | -1.26m、江戸末期の湿地状堆積。 | 06H539 | HL 439 | 2 |
| 三条二坊 三町 | 中・東門通池下る大文字町248番地 | 3/6・9・12 | No 1 ; -1.1m、平安後期の湿地状堆積(土師器皿、須恵器蓋)。 -1.6m以下、黄褐色砂礫の地山。No 2 ; -0.1m~-1.17m、時期不明の包含層(土師器) 2。 | 06H635 | HL 514 | 2 |
| 三条三坊 七町 | 中・御池通室町西入西横町181 | 2/19、3/6・9 | -1.95m、中世~近世の湿地状堆積(土師器皿、瓦質土器、輸入白磁、平瓦、漆器埴輪)。 -2.7m以下、暗緑灰色粘土の地山。 | 06H561 | HL 490 | 3 |
| 三条四坊 二町 | 中・東院院通押小路下る船廻町412番地 | 06/12/20・25、07/1/15 | No 1 ; -1.12mで褐灰色粘土の湿地状堆積。 No 2 ; -2.0mで時期不明の焼土を含む暗褐色砂泥を抽出。 | 05H551 | HL 432 | 3 |
| 三条四坊十五町 | 中・御幸町通御池上る龜屋町379番1 | 3/27 | -1.0m、近世以降の包含層。 | 06H400 | HL 550 | 3 |
| 四条一坊 四町 | 中・壬生御所ノ内町27番1 他2筆 | 2/8・13 | 南北方向の水路の護岸を抽出。本文8ページ。 | 06H523 | HL 482 | 4 |
| 四条一坊 十町 | 中・壬生馬場町43-6、43-7、43-8、43-9、43-10 | 3/1 | -0.2mまで現代盛土。 | 06H512 | HL 513 | 4 |
| 四条三坊 八町 | 中・六角通室町西入五蔵町123 他 | 3/8・12・14・26、4/9 | -1.2m、室町の包含層(土師器皿、須恵器埴輪)。 -1.55mで灰黄褐色砂礫の地山を切つて室町の土坑(土師器皿、瓦器羽釜、埴輪器蓋)。 | 06H388 | HL 516 | 5 |
| 四条三坊十二町 | 中・島丸通四條上る寺町688 | 3/20~5/8 | No 2 ; -1.0m~-1.4m、近世以降の包含層 2。 No 3 ; -1.3m、平安後期の落込(土師器皿)。 No 4 ; -2.3m以下、褐色細砂の地山。 | 06H723 | HL 534 | 5 |
| 四条四坊 七町 | 中・六角通倉倉東入堀之上町129 | 3/22~30 | -0.8mまで現代盛土。 | 06H709 | HL 539 | 5 |
| 五条一坊 八町 | 中・壬生賀藤御所町64番1、64番15、64番14、64番25 | 3/23・26~28 | 平安前期の溝状堆積を抽出。本文10ページ。 | 06H667 | HL 543 | 4 |
| 五条一坊十四町 | 下・弘光寺通大宮西入坊門町833-1、833-6 | 06/12/21・25~27、07/01/11 | No 1 ; -0.46m、桃山~江戸末期の南北溝(土師器皿、焙灰、肥前染付磁器・色絵磁器、施釉陶器京焼・美濃・唐津、焼塩釜)。No 2 ; -1.18m以下、褐色細砂の地山。No 3 ; -1.0m、時期不明の包含層(土師器皿、瓦)。 -1.52m、室町中期の包含層(土師器皿)。 No 4 ; -1.1m、江戸前期の包含層(土師器皿、唐津焼、肥前磁器、瓦質土器羽釜)。 -1.47m以下、オリブ褐色砂泥の地山。 | 06H254 | HL 438 | 4 |
| 五条二坊十六町 | 下・西院院通四條下る妙伝寺町699 他 | 2/5・7・13・26 | -1.75m、江戸末期の包含層(施釉陶器、青磁伊万里焼、無釉陶器、平瓦)。 | 06H468 | HL 478 | 4 |
| 五条四坊 七町 | 下・籠小路通御馬場西入鏡材木町190-5、190-6 | 3/26 | 巡回時、工事終了。 | 06H719 | HL 547 | 5 |
| 六条二坊十一町 | 下・油小路五条下る中金仏町204-8、213-27 | 1/29・30、2/5 | -2.9mまで現代盛土。 | 06H502 | HL 472 | 4 |
| 六条三坊 九町 | 下・諏訪町通松原下る弁財天町325 | 3/12 | -0.4m、近世以降の包含層、-0.5m、暗褐色砂礫の肥盛状堆積。 | 06H633 | HL 521 | 5 |

| 道 路 名 | 所 在 地 | 調 査 日 | 調 査 概 要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|--------------------|----------------------------------|--------------------------|---|------------------|------------------|--------|
| 六条四坊 二町 | 下・東洞院道五条上る藤草町590番6 | 2/27、3/2 | No 1 : -2.0m、平安後期の包含層 (土師器皿、平瓦)。No 2 : -2.15m以下、褐色砂礫の地山。 | 06H580 | HL 507 | 5 |
| 六条四坊 九町 | 下・富小路通伏原下る本上神明町452番 | 2/21・26、 3/2 | No 1 : -1.0m、近世の包含層。-1.3m、室町中期の包含層 (土師器皿)。No 2 : -0.9m、江戸前期の包含層 (土師器皿、瀬戸灰地陶器皿)。-1.5m、平安末期～鎌倉初期の包含層 (土師器皿、須恵器甕)。 | 06H452 | HL 495 | 5 |
| 六条四坊 九町 | 下・富小路通松原下る本上神明町458番-2、460番 | 3/27・29、 30、4/2・ 4 | No 1 : -1.07m、江戸前期の包含層 (土師器皿、白磁筒、施胎陶器)。-1.4m、時期不明の包含層 (土師器)。No 2 : -2.0m、室町の包含層 (土師器皿、須恵器甕、焼締陶器甕)。-2.5m以下、灰オリーブ色砂礫の地山。 | 06H594 | HL 551 | 5 |
| 六条四坊十六町 七条一坊 一町 | 下・寺町通松原下る藤松町720番地 下・西新屋敷下之町26 | 2/7 2/6・8 | -2.73m、暗褐色細砂の肥溜状地塊。 -0.7mまで現代盛土。 | 05H644 06H545 | HL 480 HL 479 | 5 6 |
| 八条四坊 二町 | 下・東洞院道七条下る二丁目東堀小路町563-1、685 | 06/10/5~ 07/1/15 | -0.8m、時期不明の包含層 (土師器)。-1.6m、暗緑灰色粘土の凝地状地塊。 | 06H272 | HL 316 | 7 |
| 九条四坊 九町 | 南・東九条西岩本町~東九条南岩本町 | 06/12/4~ 07/2/19 | -1.8mまで現代盛土。 | 05H481 | HL 406 | 7 |
| 九条四坊 五町 | 南・東九条東西町~東九条宇賀辺町地先 | 2/15・16・ 19・26 | -0.52m、時期不明の包含層 (土師器)。 | 06H629 | HL 486 | 7 |
| 九条四坊 五町 | 南・東九条西町~東九条東御堂町地先 | 06/10/26~ 07/12/20 | No 16 : -0.43m、時期不明の包含層 (土師器)。No 20 : -0.12m以下、褐色細砂の地山。No 22 : -1.3m以下、黄褐色砂礫の地山。No 30 : -0.96m、時期不明の薄土 (土師器)。No 31 : -0.48m、近代の包含層。-1.0m以下、にぶい黄褐色肥砂の地山。 | 05H620 | HL 351 | 7 |
| 九条四坊十二町 | 南・東九条南岩本町~東九条東辻町地内 | 06/12/11~ 07/4/17 | -0.56m、時期不明の包含層 (土師器)。 | 06H480 | HL 419 | 7 |

平安京右京 (HR)

| 道 路 名 | 所 在 地 | 調 査 日 | 調 査 概 要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|---------|----------------------------------|----------------------------|---|--------|--------|----|
| 一条四坊十三町 | 右・花園伊町38、38-16、38-17、33-12、33-18 | 2/21・26・ 28 | EM-0.5mまで現代盛土。 | 05H330 | HR 497 | 8 |
| 二条二坊 九町 | 中・西大路通西側、丸太町通~太子道地内 | 06/11/6~ 07/6/5 | No 2 : -0.3m以下、褐色粘土の地山。No 8 : -1.04m以下、灰白色砂礫の地山。 | 06H387 | HR 370 | 9 |
| 三条三坊十五町 | 右、中・御池通北側、葛野大路通~西小路通 | 06/11/20~ 07/3/28 | -1.34mまで現代盛土。 | 06H449 | HR 390 | 8 |
| 四条二坊 三町 | 中・壬生東洞田町11-1 | 3/1・2・ 9 | No 1 : -0.2m、平安の包含層 (土師器、須恵器、施胎陶器、丸瓦)。No 2 : -0.3m、平安の包含層 (丸瓦)。-0.43m以下、黄褐色粘土の地山。 | 06H675 | HR 509 | 11 |
| 四条二坊十四町 | 右・西院西陣和院町19 | 1/22~24 | No 1 : -0.4m、平安の包含層 (土師器、施胎陶器、平瓦)。-0.56m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。No 2 : -0.48m、時期不明の包含層 (土師器、須恵器甕、丸瓦)。 | 06H576 | HR 459 | 11 |
| 五条二坊 一町 | 中・壬生仙念町9番地の一部、9-20の一部 | 2/13・19 | -1.03mまで現代盛土。 | 06H045 | HR 484 | 11 |
| 五条三坊十一町 | 右・西院九田町36番地 | 1/24・29 | -1.36m、時期不明の包含層 (土師器、須恵器甕)。-1.46m以下、褐色砂礫の地山。 | 06H531 | HR 466 | 10 |
| 五条四坊十四町 | 右・西院東貝川町62番 | 1/19・22・ 24 | -0.7m、時期不明の包含層 (土師器)。-1.3m以下、褐色砂泥の地山。 | 06H367 | HR 455 | 10 |
| 六条二坊 四町 | 下・西七条東御前田町33-2、35-2、35-4他 | 2/26、 3/1・8・ 9・13・14 | No 1 : -0.55m、平安の包含層 (土師器、須恵器、施胎陶器)。No 2 : -0.2m以下、褐色粘土の地山。No 4 : -0.41m・-0.73m、時期不明の包含層 (土師器) 2。 | 06H526 | HR 501 | 11 |
| 六条三坊十五町 | 右・西院久保田町6番1 他3軒 | 1/9、 3/1・7、 7/11 | No 1 : -1.9m、室町末期の包含層 (施胎陶器天目鉢)。-2.35m、時期不明の包含層 (土師器重)。No 2 : -2.0m、室町の包含層 (土師器皿、須恵器)。-2.2m、黄褐色粘土の地山。 | 06H029 | HR 445 | 10 |

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|---------|--|----------------------------|---|--------|--------|----|
| 六条四坊 四町 | 右・西院六反田町14番地 | 2/19・26 | -1.0m. 室町の掘地状堆積 (土師器皿、瓦質土器大鉢)。 | 06H183 | HR 491 | 10 |
| 七条四坊十三町 | 右・西京極北裏町～西京極東向河原町地内 | 06/6/27～ 07/5/10 | No 2 : -1.7m以下、暗褐色砂礫の地山。 No 6 : -0.63mで暗褐色砂礫の地山を切って時期不明の露出。 | 06H040 | HR 124 | 12 |
| 八条一坊十五町 | 下・梅小路東中町 他地内 | 2/9～ 3/28 | No 1 : -0.7m. 褐色灰色砂礫の掘地状堆積。 No 3 : -2.7m以下、黄褐色砂礫の地山。 | 06H513 | HR 483 | 13 |
| 八条二坊 九町 | 下・西七条南衣田町71番地 | 2/5・5・ 8・9・13・ 19・20 | No 1 : -1.4m. 暗褐色灰色粘土の掘地状堆積。 No 2 : -2.8m. 暗オリーブ灰色粘土の掘地状堆積。 -3.5m. 暗オリーブ灰色砂礫を抽出。掘地状堆積の底部と考えられる。 | 06H537 | HR 477 | 13 |
| 八条二坊 十町 | 下・七条御所ノ内北町97 | 2/20～27 | 平安前期の掘地状堆積を抽出。本報告18ページ。 | 06H591 | HR 494 | 13 |
| 八条二坊十二町 | 下・七条御所ノ内本町89-2、89-3 | 2/19 | BM+0.3m～+0.15mまで現代盛土。 | 06H538 | HR 492 | 13 |
| 八条二坊十六町 | 下・西七条南月読町102 | 2/16 | -0.25m. 現代盛土。 | 06H651 | HR 488 | 13 |
| 八条四坊 二町 | 右・西京極中沢町9番2、58番2 | 3/27 | -0.91m以下、オリーブ褐色細砂の地山。 | 06H549 | HR 552 | 12 |
| 八条四坊十五町 | 右・西京極芝ノ下町14番の一部、 45番、46番、101番、105番の一部 | 1/29 | 巡回時、工事終了。 | 06H627 | HR 470 | 12 |
| 九条二坊十二町 | 南・唐橋西平塚町45-4 | 3/20 | 巡回時、工事終了。 | 06H586 | HR 537 | 13 |

洛北地区 (RH)

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|-------------------------|----------------------------------|-------------------------------|---|--------|--------|------|
| 植物園北遺跡 | 左・下鴨南茶ノ水町14番 | 1/22 | -0.3m. 耕作土。 | 06S579 | RH 460 | 22-1 |
| 出雲寺跡・ 御土屋跡・ 寺町旧城 | 北、上・寺町通、鞍馬口道～今出川通 他地内 | 06/9/11～ 07/6/5 | No 6 : -0.45m. 時期不明の包含層 (土師器)。 -0.57m以下、褐色砂泥の地山。 No 10 : -0.7m. 近世の包含層。 | 06S174 | RH 267 | 20-1 |
| 出雲寺跡・ 上御堂遺跡 | 上・上御堂横通寺町西入上御堂馬場町 376番2、376番9 | 2/2 | -0.3mまで現代盛土。 | 06S587 | RH 475 | 20-1 |
| 相国寺旧境内・ 上御堂遺跡 | 上・相国寺門前町709 | 3/16・19・ 22 | -0.15m. 時期不明の包含層 (土師器)。 | 06S710 | RH 527 | 20-1 |
| 意田院跡・ 上京遺跡・ 寺ノ内旧城 | 上・南舟橋町 | 06/8/21～ 23・25. 07/1/25 | -1.6mまで現代盛土。 | 06S026 | RH 227 | 20-1 |
| 意田院跡・ 上京遺跡・ 寺ノ内旧城 | 上・下清羅口町132番地 他 | 3/23・27・ 29、4/4・ 5、8/1 | -0.7m. 近代以降の石垣。小川の旧流路の護岸。 | 06S420 | RH 546 | 20-1 |
| 上京遺跡・ 寺ノ内旧城 | 上・東西町381番地 | 2/7 | -0.5mまで現代盛土。 | 06S640 | RH 481 | 20-1 |
| 上京遺跡 | 上・元智願寺通大宮東入寺町 505番地 | 3/6・12～ 15・19 | -0.75m. 近世の包含層。-1.4m以下、暗褐色砂礫の地山。 | 06S517 | RH 512 | 20-1 |
| 上京遺跡 | 上・武者小路通新町西入常盤井四子町 506-3 | 06/12/26・ 27、07/1/9 | -0.4m. 江戸末期の焼土層。 | 06S532 | RH 442 | 20-1 |
| 上京遺跡 | 上・殿屋町通一条上上晴明町827-3番地 | 3/27～4/5 | -0.96m. 褐色砂礫の掘地状堆積。 | 06S669 | RH 563 | 20-1 |
| 上京遺跡 | 上・紋屋町～多門町 地内 | 06/11/8・ 9・17. 07/1/25 | No 1 : -0.7mで暗褐色砂泥を抽出。 No 2 : -2.6m. 暗褐色砂礫の掘地状堆積。 -3.1m以下、褐色砂泥の地山。 | 05K491 | RH 374 | 22-2 |
| 上京遺跡・ 世尊寺跡 | 上・紋屋町 地内 | 2/13・19・ 21 | -1.6mまで現代盛土。 | 06S558 | RH 485 | 22-2 |
| 上京遺跡・ 世尊寺跡 | 上・大宮通五辻西入五辻町67 | 1/9・10・ 15・18・19 | -0.4mまで現代盛土。 | 06S595 | RH 446 | 22-2 |
| 北野遺跡・ 北野鹿寺 | 北・北野東紅梅町 6 | 2/27 | -1.38mまで現代盛土。 | 06S655 | RH 504 | 22-2 |

太秦地区 (UZ)

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|-----------------|--------------------------------|------------------------------------|--|--------|--------|------|
| 常盤家/町古廻り・村ノ内町遺跡 | 右・常盤家ノ町16 | 1/24 | -0.4mまで現代盛土。 | 06S597 | UZ 467 | 16 |
| 常盤家/町古廻り・村ノ内町遺跡 | 右・常盤家ノ町16-46、16-53 | 3/7 | -0.25mでオリブ黒色砂泥を抽出。 遺構、遺物は抽出できず。 | 06S705 | UZ 515 | 16 |
| 森ヶ東瓦葺跡・和泉式部町遺跡 | 右・太秦森ヶ東町4-21 | 3/26 | -0.1mでいぶい黄褐色砂泥を抽出。 遺構、遺物は抽出できず。 | 06S745 | UZ 549 | 16 |
| 太秦馬塚町遺跡 | 右・太秦馬塚町 地先 | 06/12/21~ 07/2/13 | No 1 : -0.45m以下、黄褐色粘土の地山。 No 2 : -0.42m、時期不明の包含層 (土師器)。 | 06S567 | UZ 441 | 16 |
| 長福寺境内 | 右・梅津中村町36-15及び37-1 | 3/16・20・ 22 | -0.7mで黄褐色砂泥を抽出。 遺構、遺物は抽出できず。 | 04S544 | UZ 528 | 16 |
| 天聖古墳 | 右・太秦松本町13番11、20番18、43番2 | 1/29 | -0.3mまで現代盛土。 | 06S557 | UZ 471 | 16 |
| 宝徳寺境内・嵯峨遺跡 | 右・嵯峨北堀町 地先 | 06/12/4~ 07/2/5 | -0.22m以下、明褐色粘土の地山。 | 06S504 | UZ 408 | 24-3 |
| 宝徳寺境内・嵯峨遺跡 | 右・嵯峨北堀町 地内 | 2/27、 3/7~28、 4/2~24、 5/8 | No 1 : -0.53m、近世の包含層。 No 2 : -0.49m、時期不明の層込。-0.57mで浅黄色粘土の地山を切って時期不明の層込。 No 6 : -0.42m以下、黄褐色粘土の地山。 No 8 : -0.55mで室町の包含層 (土師器皿、平瓦)。 | 06S611 | UZ 505 | 24-3 |
| 音戸山古墳群 | 右・太秦三尾町1-214、1-231、1-357、1-360 | 2/26・27 | -0.63m以下、いぶい黄色粘土の地山。 -2.2m、近代以降の雑地状堆積。 | 06S647 | UZ 502 | 24-4 |
| 音戸山古墳群 | 右・太秦中山町 | 06/12/21~ 07/6/28 | -0.8m以下、明褐色砂泥の地山。 | 01S507 | UZ 440 | 24-4 |
| 円乗寺跡・円宗寺跡 | 右・御霊壱町19 他 (京都市立御霊小学校) | 2/2 | BM+0.25m~-0.25mまで現代盛土。 | 06S606 | UZ 476 | 24-5 |

北白川地区 (KS)

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|------------------|-----------------------|----------------------------|--|--------|--------|------|
| 真知堂境内 | 左・浄土寺真知町82 | 2/1・5・ 13・19・ 26 | No 3 : -0.19m、江戸以降の雑地石垣の裏込。 No 4 : -0.27m、近世以降の包含層。 No 5 : -0.24m以下、明褐色砂泥の地山。 | 06S649 | KS 474 | 17 |
| 岡崎遺跡・法勝寺跡 | 左・岡崎南御所町44-9 | 1/18 | -0.27mまで現代盛土。 | 06R602 | KS 463 | 17 |
| 岡崎遺跡・法勝寺跡 | 左・岡崎天王町31-5 | 3/22 | -1.17mまで現代盛土。 | 06R716 | KS 540 | 17 |
| 岡崎遺跡・法勝寺跡 | 左・岡崎天王町76-5、76-6、76-7 | 3/26・27 | BM+0.95m、時期不明の包含層 (土師器、丸皿)。 | 06R603 | KS 548 | 17 |
| 白河南院跡 | 左・吉永町273-9 | 3/13・14 | BM+0.35m~-0mまで現代盛土。 | 06R714 | KS 522 | 17 |
| 白河街区跡 | 左・藍龍院山王町23番地 | 2/19、 3/19・22・ 26・28 | No 1 : -0.8m、観音の包含層 (土師器皿、須恵器、瓦製品)。 -1.37m以下、オリブ灰色粘土の地山。 No 2 : -0.4m、近世以降の包含層。 No 3 : -0.5m、室町の包含層 (土師器皿、須恵器、焼締陶器類)。 -1.0m、時期不明の層込 (土師器)。 -1.4m以下、いぶい黄褐色粘土の地山。 | 06S547 | KS 493 | 17 |
| 一乗寺向畑町遺跡・向畑古墳隣接地 | 左・白川通西側、北山通~北大路通 地内 | 06/12/18~ 07/6/25 | No 3 : -0.47m、時期不明の包含層。 No 12 : -0.75m以下、オリブ灰色微砂の地山。 No 17 : -1.04m、時期不明の土坑。 No 20 : -1.4m、時期不明の包含層 (土師器)。 | 06S402 | KS 424 | 24-1 |
| 法成寺跡・御土居跡 | 上・九軒町他 地内 | 3/20~ 4/26 | -0.45m、オリブ灰色砂泥の粗粒状堆積。 | 06S403 | KS 536 | 24-6 |

洛東地区 (RT)

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|--------|----------------------|---------|----------------------------------|--------|--------|------|
| 清水寺境内 | 東・清水一丁目294番地内 | 2/27 | -0.5m以下、浅黄色砂泥の地山。 | 06S678 | RT 503 | 18 |
| 六波羅政庁跡 | 東・五条橋東五丁目459番地 | 2/28 | -0.6m、近世以降の包含層。 | 06S616 | RT 508 | 18 |
| 六波羅政庁跡 | 東・茶屋町527 | 3/19・27 | -0.9mまで現代盛土。 | 06S727 | RT 532 | 18 |
| 中匠遺跡 | 山・東野舞台町97-62の一部(9号地) | 1/15 | BM+0.55m~-+0.15mまで現代盛土。 | 06N578 | RT 452 | 24-2 |
| 中匠遺跡 | 山・東野舞台町97-62の一部(7号地) | 1/22 | -0.25mまで現代盛土。 | 06N612 | RT 462 | 24-2 |
| 中匠遺跡 | 山・東野舞台町97-61の一部 | 3/12 | -0.6mまで現代盛土。 | 06N672 | RT 519 | 24-2 |
| 中匠遺跡 | 山・栗野野塚塚5番地の1 | 3/19 | BM-0.6mまで現代盛土。 | 06N708 | RT 533 | 24-2 |
| 中匠遺跡 | 山・東野舞台町97-63の一部 | 3/30 | -0.55mで暗褐色砂泥を抽出。 遺構、遺物は抽出できず。 | 06N744 | RT 559 | 24-2 |
| 日ノ岡堤谷 | 山・日ノ岡堤谷町74-26 | 2/15 | 巡回時、工事終了。 | 06S658 | RT 487 | 25-2 |
| 須惠寺跡 | 山・西野広見町32番2号 | 3/9 | -0.3mまで現代盛土。 | 06S693 | RT 518 | 25-3 |
| 山科本願寺跡 | 山・西野伊勢町26番6 | 2/27 | -0.3m、近世の包含層。 | 06S016 | RT 506 | 25-4 |

鳥羽地区 (TB)

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|-------------------------|-------------------------|------|-------------------------|--------|--------|------|
| 鳥羽藤宮跡 | 伏・竹田西福ノ井町24番地 | 3/1 | -0.3mまで現代盛土。 | 06T600 | TB 510 | 21-1 |
| 鳥羽藤宮跡 | 伏・竹田西福ノ井町9番地の一部 | 3/12 | -1.05m、暗オリーブ色砂泥の盛地状地積。 | 06T704 | TB 520 | 21-1 |
| 鳥羽藤宮跡 | 伏・竹田西福ノ井町36番地、37番地、39番地 | 3/29 | -0.14mまで現代盛土。 | 06T742 | TB 554 | 21-1 |
| 鳥羽藤宮跡・ 鳥羽遺跡・ 竹田城跡 | 伏・竹田中内畑町24 | 1/11 | -1.45m、暗オリーブ灰色粘土の盛地状地積。 | 06T550 | TB 450 | 21-1 |
| 下鳥羽遺跡 | 伏・竹田松林町28番、29番 | 3/8 | -1.0mまで現代盛土。 | 06S689 | TB 517 | 21-1 |
| 所橋遺跡 | 南・所橋堂ノ前町13-4 | 3/23 | -2.0mまで現代盛土。 | 06S382 | TB 544 | 21-2 |

伏見・醍醐地区 (FD)

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|-----------------------------|-------------------------------|-----------------------------|---|--------|--------|-------|
| 伏見城跡・ 桃院遺跡 | 伏・豊後橋町 | 1/19 | BM+1.95m~-+1.25mまで現代盛土。 | 06P533 | FD 456 | 14 |
| 伏見城跡 | 伏・銀座町四丁目292番、293番 | 3/22 | -0.5m、近世以降の包含層。 | 06P661 | FD 541 | 14 |
| 伏見城跡 | 伏・下板橋町630、630-8、630-7の 各一部 | 1/9 | -0.3mまで現代盛土。 | 06P559 | FD 447 | 14 |
| 伏見城跡・ 桃山古墳群(永 井久太郎古墳) | 伏・桃山島神58番地の3 | 1/22・29 | BM+0.1m以下、明黄褐色砂泥の地山。 | 06F455 | FD 461 | 14 |
| 伏見城跡・ 桃山古墳群(永 井久太郎古墳) | 伏・桃山町永井久太郎~桃山町正東 地内 | 1/18~ 5/15 | -0.32m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。 | 06F390 | FD 454 | 14-15 |
| 伏見城跡 | 伏・深草大亀谷六林町125番地 六林公園 | 1/23 | -1.5m以下、にぶい黄色砂泥の地山。 | 06P621 | FD 464 | 15 |
| 伏見福貴大社 境内・都賀山 命婦谷遺跡 | 伏・深草坂ノ内町68番地 | 2/22・27・ 28、3/1・ 9・22 | №3;-0.2m以下、にぶい黄褐色砂泥の地山。 №6;-0.02m以下、明黄褐色砂泥の地山。 | 06S361 | FD 498 | 23-1 |
| 醍醐寺子院跡 | 伏見区醍醐中山町25番5、25番15、 25番16 | 06/12/20~ 07/8/2 | -0.6m以下、明褐色砂泥の地山。 | 05S448 | FD 435 | 25-8 |

長岡京地区 (NG)

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|---------------|------------------|---------|--------------|---------|--------|------|
| 左京五条跡坊石町 | 伏・羽東跡古川町168-2, 3 | 3/23 | -0.8mまで現代盛土。 | 06NG465 | NG 545 | 19 |
| 左京九条三坊十二町・渡橋跡 | 伏・渡本町167 | 1/25・29 | 両端の石組の崩壊を検出。 | 06NG057 | NG 468 | 26-2 |

南・桂地区 (MK)

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|----------|---------------|------|------------------------|--------|--------|------|
| 松尾十三塚古墳群 | 西・松葉道上ノ町18-18 | 3/22 | BM+0.33m~-0.01mまで現代盛土。 | 06S628 | MK 542 | 26-3 |

京北地区 (UK)

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|-------|---------------|-------|-----------------------|--------|--------|------|
| 鳥谷古墳群 | 右・京北下中町鳥谷6番地3 | 3/2・8 | BM+1.35m以下、明黄褐色粘土の埴山。 | 06S625 | UK 511 | 26-6 |

II 2007年 4~12月期(平成19年度)

平安宮(HQ)

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|------------------|---|------------------------------|---|------------------|------------------|--------|
| 大 塚 省 | 上・浄福寺遺一条下る東西後堀町661-10 | 5/22 | -0.45mまで現代盛土。 | 06K755 | HQ 064 | 1 |
| 大 塚 省 | 上・浄福寺遺一条下る東西後堀町661-12 | 5/23 | -0.3mまで現代盛土。 | 06K756 | HQ 065 | 1 |
| 大 塚 省 | 上・浄福寺遺一条下る東西後堀町661-13 | 5/22 | -0.3mまで現代盛土。 | 06K757 | HQ 066 | 1 |
| 大 塚 省 | 上・浄福寺遺一条下る東西後堀町661-14 | 5/22 | -0.2mまで現代盛土。 | 06K758 | HQ 067 | 1 |
| 大 塚 省 | 上・浄福寺遺中立亮下る丸丸町180、 180-2、180-4 | 5/21・22・ 23・24 | BM-0.93mで暗褐色砂を抽出。 遺構、遺物は抽出できず。 | 06K720 | HQ 062 | 1 |
| 大 塚 省 | 上・浄福寺遺一条下る東西後堀町656-43 | 6/19 | -0.55mまで現代盛土。 | 07K047 | HQ 122 | 1 |
| 大 塚 省 | 上・浄福寺遺一条下る東西後堀町656-42 | 6/19 | -0.8mまで現代盛土。 | 07K141 | HQ 121 | 1 |
| 大 塚 省 | 上・浄福寺遺一条下る東西後堀町656-44 | 6/19 | -0.7mまで現代盛土。 | 07K142 | HQ 120 | 1 |
| 大 塚 省 | 上・上長者町遺浄福寺東入高台院町541 | 7/13 | -0.2mまで現代盛土。 | 07K104 | HQ 169 | 1 |
| 大 塚 省 | 上・仁和寺街道千本東入西宮仲町467-5 | 8/30 | -0.2mまで現代盛土。 | 07K214 | HQ 220 | 1 |
| 大 塚 省 | 上・仁和寺街道千本東入西宮仲町467-4 | 8/30 | -0.1mまで現代盛土。 | 07K215 | HQ 221 | 1 |
| 大 塚 省 | 上・浄福寺遺一条下る東西後堀町656 の一部 | 9/5 | -0.3mで黒褐色泥砂を抽出。 遺構、遺物は抽出できず。 | 07K243 | HQ 238 | 1 |
| 主 殿 塚 園 審 察 | 上・南門通一条下る今新在家町20番地 上・御前通下立亮上る三町目東入三助町 281-32(2号地) | 6/19 8/24 | -0.55m、近世の包含層。 -0.2mまで現代盛土。 | 07K105 07K180 | HQ 123 HQ 211 | 1 1 |
| 園 審 察 | 上・御前通下立亮上る三町目東入三助町 281-27(1号地) | 8/24 | -0.2mまで現代盛土。 | 07K179 | HQ 212 | 1 |
| 妻 松 原 | 上・六軒町通出水上る七番町 地先 | 4/20~27 | -0.63m以下、灰オリーブ色砂泥の地山。 | 07K036 | HQ 022 | 1 |
| 妻 松 原 | 上・下長者町通六軒町西入利生町 294番地114・115 | 9/18 | -0.25mまで現代盛土。 | 07K226 | HQ 243 | 1 |
| 宮松原・掃部家 内 塚 察 | 上・三番町~長門町 地内 上・上長者町通千本西入百万通町93-4 | 6/28~8/10 6/29 | -1.35mまで現代盛土。 -0.18mで褐色泥砂を抽出。 遺構、遺物は抽出できず。 | 06K746 07K129 | HQ 152 HQ 155 | 1 1 |
| 磯 殿 塚 | 上・埴高町68 | 7/26 | -0.52m以下、褐色粘土の地山。 | 07K155 | HQ 186 | 1 |
| 磯 御 曹 司 | 上・出水通智恵光院西入田村前町206 | 10/22 | -0.2mまで現代盛土。 | 07K335 | HQ 274 | 1 |
| 磯 御 曹 司 | 上・出水通日暮西入金馬場町166番 | 10/31 | -0.6mで黒褐色泥砂を抽出。 遺構、遺物は抽出できず。 | 07K329 | HQ 285 | 1 |
| 磯 御 曹 司 | 上・智恵光院通下長者町下る天祥丸町 地先 | 11/2 | 巡回時、工事終了。 | 07K385 | HQ 287 | 1 |
| 左 兵 衛 府 | 上・日暮通下立亮上る天祥町597 | 12/6・7 | -0.2m、近世の包含層(造輪陶器丹波鉢)。 | 07K382 | HQ 327 | 1 |
| 左 馬 寮 | 中・西ノ京左馬寮町7-16 | 6/19 | -0.23mまで現代盛土。 | 06K662 | HQ 130 | 1 |
| 左 馬 寮 | 中・西ノ京左馬寮町11番24 | 10/16 | -0.3mまで現代盛土。 | 07K312 | HQ 285 | 1 |
| 典 葉 寮 | 中・西ノ京車坂町2 | 10/2・3 | -0.3mまで現代盛土。 | 07K219 | HQ 256 | 1 |
| 典 葉 寮 | 中・西ノ京車坂町7-7・13(A号地) | 11/8 | -0.38mで明黄褐色砂礫を抽出。 遺構、遺物は抽出できず。 | 07K323 | HQ 291 | 1 |
| 典 葉 寮 | 中・西ノ京車坂町7-7・13(B号地) | 11/8 | -0.36mで明黄褐色砂礫を抽出。 遺構、遺物は抽出できず。 | 07K324 | HQ 292 | 1 |
| 豊 泉 院 | 中・東泉通中町47-2、2番 | 5/9 | -0.05mで明黄褐色泥土を抽出。 遺構、遺物は抽出できず。 | 06K520 | HQ 048 | 1 |
| 豊 泉 院 | 中・東泉通中町53番4、53番7 | 6/7・8・11 | -0.15m、近世以降の包含層。平安の瓦を表層。 | 07K013 | HQ 089 | 1 |
| 豊 泉 院 | 中・東泉通中町31番16・17・18 | 5/31、6/1 | -0.25mまで現代盛土。 | 07K049 | HQ 078 | 1 |
| 明 堂 院 | 中・東泉通東町31-25、31-26 | 4/18~20 | -0.2mでよい黄褐色砂泥を抽出。 遺構、遺物は抽出できず。 | 06K711 | HQ 020 | 1 |
| 朝 堂 院 | 上・千本通竹屋町東塚町 地先 | 6/4 | -0.65m以下、黄褐色泥土の地山。 | 07K117 | HQ 083 | 1 |
| 朝 堂 院 | 上・竹屋町通千本東入主税町1178 | 7/6 | -0.45mまで現代盛土。 | 07K052 | HQ 166 | 1 |
| 朝 堂院講堂地 主 水 司 | 中・西ノ京小堀町2-5、50 上・智恵光院通丸太町上る西院町 地先 | 8/28~9/13 5/29・31、 6/1 | -0.9m以下、明黄褐色砂礫の地山。 -0.4mでよい黄褐色砂泥を抽出。 遺構、遺物は抽出できず。 | 07K069 07K110 | HQ 218 HQ 075 | 1 1 |
| 主 水 司 | 上・下立亮通千本東入中勝町486 | 12/11 | -0.2mまで現代盛土。 | 07K380 | HQ 331 | 1 |
| 大 膳 職 | 上・日暮通丸太町上る南伊勢屋町752番 31 | 7/27・30・ 31 | -1.2mで褐色砂泥を抽出。 遺構、遺物は抽出できず。 | 06K721 | HQ 187 | 1 |
| 御 右 馬 寮 | 中・西ノ京車坂町15番地 中・西ノ京右馬寮町 地先 | 4/23 7/18 | -0.45mまで現代盛土。 -0.65mで灰黄褐色泥砂を抽出。 遺構、遺物は抽出できず。 | 07K024 07K207 | HQ 023 HQ 174 | 1 1 |

平安京左京 (HL)

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|---------|--|-----------------------------------|--|--------|--------|----|
| 北辺二坊 八町 | 上・一条通小川東入西之口町 | 6/19・20 | 平安後期の路面を抽出。本報告3ページ。 | 07H097 | HL 127 | 2 |
| 北辺三坊 六町 | 上・中立光通鳥丸西入東町482、482-1 | 7/23~27・30、8/6・7・23 10/9 | No 1: -0.94m、-1.15m。江戸前期の包含層(土師器・埴輪、焼締陶器水差) 2。No 2: -0.18m。江戸前期の包含層(施釉陶器高取鉢)。-0.35mまで現代盛土。 | 06H484 | HL 177 | 3 |
| 一条二坊 三町 | 上・大宮通出水下る家永町780番、780番1、781番、782番、785番の一部 | 5/28~7/17 | 時期不明の石室を抽出。本報告5ページ。 | 07H016 | HL 071 | 2 |
| 一条二坊 九町 | 上・油小路通上長者町下る亀屋町125-2 | 7/31、8/17・20 | No 1: -0.45m、-0.75m。近世以降の包含層 2。 | 07H167 | HL 190 | 3 |
| 一条三坊 七町 | 上・室町通出水上る近衛町33 | 12/4・6・11・12 | No 3: -1.52m。時期不明の包含層(土師器)。No 2: -0.5m。近世以降の包含層。No 3: -0.12m。近世以降の包含層。 | 07H363 | HL 321 | 3 |
| 一条四坊十一町 | 上・京都御苑1番地(京都御所)、2番地(大宮仙洞御所) | 6/26、7/9・19 | No 1: -1.85m以下、灰色砂礫の地山。 | 07H123 | HL 148 | 3 |
| 二条三坊 一町 | 上・西洞院通丸太町上る真川町394番、394-3番、394-4番 | 6/19~7/11 | 金箔軒丸瓦を表面。本報告26ページ。 | 07H022 | HL 124 | 3 |
| 二条三坊 三町 | 中・菰屋通竹屋町下る亀屋町330、334-1、334-3 | 9/12・13・18、10/9・11・12 | No 1: -1.4m。時期不明の包含層(瓦)。No 2: -0.46m。江戸後期の包含層(土師器皿)。-1.8m。江戸前期の包含層(土師器皿)。No 4: -1.7m。室町の包含層(土師器皿)。No 5: -0.44m。室町の包含層(輸入青磁)。No 6: -1.65m。室町の包含層(土師器皿)。No 7: -1.95m。室町の包含層(土師器皿)。 | 07H177 | HL 241 | 3 |
| 二条三坊 五町 | 中・衣櫃通二条上る聖大慈寺町751番地 他 | 6/1~21 | No 1: -0.36m。近世以降の瓦。-1.0m。近世の包含層。 | 07H070 | HL 082 | 3 |
| 二条四坊十四町 | 中・麩屋通真川上る登屋町452番 | 11/22 | -0.26m。近世以降の包含層。-0.1mまで現代盛土。 | 07H370 | HL 311 | 2 |
| 三条二坊 十町 | 中・油小路通御池上る押油小路728-1 | 5/7~9・11 | No 1: -0.36m。近世以降の瓦。-1.0m。近世の包含層。 | 06H488 | HL 037 | 2 |
| 三条二坊十二町 | 中・柳川通神小路下る柳東堀川町74番地 | 5/7~9・11 | No 3: -2.0m。室町の包含層(土師器皿)。-0.78m。近世以降の包含層。-0.85m以下、褐色砂礫の地山。 | 06H566 | HL 038 | 2 |
| 三条二坊十二町 | 中・三条通柳川東入横東町9番、11番 | 8/27~31 | -1.3m。室町の包含層(土師器皿)。 | 07H175 | HL 215 | 2 |
| 三条二坊十三町 | 中・小川通神小路下る西堂町506、506-1、506-2、506-3 | 8/24・27 | -1.6mまで現代盛土。 | 07H166 | HL 209 | 2 |
| 三条三坊 五町 | 中・突狭町 地内 | 11/9・12・14 | -1.12mで暗褐色泥砂を抽出。遺構、遺物は検出できず。 | 06H656 | HL 295 | 3 |
| 三条三坊 六町 | 中・衣櫃通御池下る長柄町158、161-2 | 9/10・12 | -0.27mまで現代盛土。 | 07H295 | HL 235 | 3 |
| 三条三坊 九町 | 中・鳥丸通二条下る秋野町514 | 6/26、7/18~20・23~25・27・30・31、8/1・3 | No 3: -1.0m。近世以降の包含層。No 4: -0.65m。近世以降の包含層。No 7: BM-0.4m。時期不明の石室。石室の埋土から江戸後期の施釉陶器鉢、焼締陶器高取鉢、三巴文軒丸瓦が出土。No 8: -2.6m以下、褐色砂礫の地山。 | 06H733 | HL 145 | 3 |
| 三条三坊 十町 | 中・両替町通御池上る麩池町449番地1 | 5/22~24 | -0.87m。近世以降の包含層。 | 06H592 | HL 068 | 3 |
| 三条四坊 二町 | 中・西之町通押小路下る高田町505番地 | 4/16~20・23~26 | No 1: -0.4m。桃山~江戸前期の包含層(灰釉陶器皿)。No 2: -0.56m~1.45m。近世の包含層 2。No 4: -1.17m。時期不明の包含層(土師器)。No 5: -1.6m。近世以降の包含層。No 6: -1.7m。近世の土坑。No 7: -1.55m。近世以降の包含層。 | 06H626 | HL 015 | 3 |
| 三条四坊 三町 | 中・東洞院通御池下る聖應町436-2番、438番 | 9/11~10/15 | -1.6m。近世以降の包含層。 | 07H172 | HL 238 | 3 |
| 三条四坊 九町 | 中・柳馬場通二条下る等待寺町21-1 | 5/10・11 | No 1: -0.25m。近世以降の包含層。-1.3m。江戸後期の包含層(施釉陶器鉢)。No 2: -0.7m。近世以降の包含層。 | 06H674 | HL 049 | 3 |
| 四条一坊 一町 | 中・壬生朱雀町1番地2 | 6/28 | -1.09mまで現代盛土。試掘調査済地点。 | 07H072 | HL 154 | 4 |

| 道 筋 名 | 所 在 地 | 調査日 | 調 査 概 要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|---------|---------------------------------|-------------------------------------|--|--------|--------|----|
| 四条一坊 八町 | 中・壬生馬場町2-6 | 6/18~ 7/20 | No 2 : -0.6m, 近世以降の埋地状堆積。 No 3 : -1.05m, 時期不明の埋地状堆積 (土師器)。No 4 : -0.9m, 近世以降の埋地状堆積。 -1.15m以下, 緑灰色硬土の地山。 | 07H115 | HL 113 | 4 |
| 四条一坊 九町 | 中・三条通神楽苑西入今新在家西町 22, 23-1 | 8/31, 9/3・11・ 12・13・ 15・17 | No 1 : -1.58m, 室町の包含層 (地輪陶器遺棄層)。-1.96m以下, 暗灰色砂礫の地山。表層で平安時代中期の須恵器類と時期不明の井戸弁2本。No 3 : -1.2m以下, 明黄褐色砂礫の地山。 | 07H160 | HL 225 | 4 |
| 四条一坊 十町 | 中・田幡町107 | 7/31, 9/4 | -0.3mまで現代盛土。 | 07H138 | HL 191 | 4 |
| 四条一坊十一町 | 中・壬生坊城町57番地の1 京都市立洛中小学校 | 7/23・24・ 30 | No 1 : -1.42m, 江戸中期の包含層 (地輪陶器灯明皿, 近世磁器類)。 No 2 : -4.3m以下, 灰色硬土の地山。 | 07H196 | HL 178 | 4 |
| 四条一坊十四町 | 中・大宮通錦薬師下る四坊大宮町164 | 8/31, 9/3~6 | No 1 : -0.7m, 時期不明の包含層 (土師器)。 No 2 : -0.23m, 平安末期~鎌倉の包含層 (輸入白磁類)。-0.66m以下, 黄褐色砂礫の地山。 No 3 : -0.2m, 近世の包含層。-0.7m以下, 明黄褐色砂礫の地山。 | 07H212 | HL 225 | 4 |
| 四条二坊 七町 | 中・岩上町753-2, 758-3, 761 | 8/13 | -0.5mまで現代盛土。 | 07H062 | HL 201 | 4 |
| 四条二坊 九町 | 中・三条通池小路下る三条池小路町 172番2 | 6/19~ 7/19 | 平安後期の土坑を検出。本欄番27ページ。 | 07H118 | HL 126 | 4 |
| 四条二坊十六町 | 中・三条通池小路東入嵐屋町53番地3 地 | 6/11・13・ 15・18 | No 1 : -1.32m, 室町の包含層 (土師器皿)。 -1.45m, 平安中期の包含層 (土師器皿)。 | 06H570 | HL 094 | 4 |
| 四条二坊十六町 | 中・三条通池小路東入嵐屋町40番 | 6/29, 7/20・ 23~26 | No 1 : -0.45m・-1.0m・-1.3m, 近世以降の包含層 3。No 3 : -0.52m, 江戸後期の落込 (土師器, 染付) No 4 : -0.55m, 近世以降の包含層。 -0.73m, 江戸初期の包含層 (土師器皿・鉢)。 | 06H573 | HL 156 | 4 |
| 四条三坊 三町 | 中・新町通錦小路上る百足屋町 374-1・2・3・4 | 6/11 | -1.0m, 室町の包含層 (土師器皿, 丸瓦)。 -1.3m, 鎌倉の包含層 (土師器皿, 白磁類)。 | 07H054 | HL 095 | 5 |
| 四条三坊 四町 | 中・四条通西側上る地蔵山町473番地 | 6/28~9/4 | -2.7m, にぶい黄褐色砂礫の埋地状堆積。 | 07H192 | HL 153 | 5 |
| 四条四坊 二町 | 中・泉正寺町331-1・2 | 6/27・28, 7/2・3・ 5・6・9 | No 2 : -1.26m, 時期不明の包含層 (平瓦)。 -1.45mで時期不明の包含層 (須恵器類) を切って時期不明のピット。No 4 : -1.46m, 鎌倉の包含層 (土師器皿, 輸入青磁水注, 輸入白磁)。 | 07H149 | HL 150 | 5 |
| 四条四坊 五町 | 中・柳町通四条上る八百屋町553-2, 553-1の一部 | 6/19 | -0.35mで褐色砂質土を検出。 遺構, 遺物は検出できず。 | 07H134 | HL 128 | 5 |
| 四条四坊 十町 | 中・富小路通六角下る大黒町 (元生祥小学校プール跡地) | 5/7・14・ 15 | -0.45m, 時期不明の包含層。 | 06H380 | HL 036 | 5 |
| 四条四坊十二町 | 下・富町通四条上る立売東町117番地の3 | 5/17 | -0.5m・-0.83m, 近世以降の包含層 2。 | 06H524 | HL 059 | 5 |
| 四条四坊十四町 | 中・懸屋町通錦薬師下る輪屋町486番地 | 5/28 | -0.4mまで現代盛土。 | 07H078 | HL 072 | 5 |
| 五条二坊 二町 | 下・黒門通榎小路下る坂屋町175・176 | 7/2・3・5 | -0.4mまで現代盛土。 | 07H132 | HL 161 | 4 |
| 五条二坊 五町 | 下・岩上通高辻下る吉文字町462, 464, 465 | 4/17~20, 5/15・16・ 18 | No 1 : -0.5m, 時期不明の包含層。-1.1m以下, 褐灰色砂礫の地山。No 2 : -0.6m, 室町前期の包含層 (土師器皿)。 | 06H698 | HL 019 | 4 |
| 五条二坊 七町 | 下・綾小路通堀川西入砂崎寺町 575番地 | 4/18・19・ 20・23・ 24・25・ 26 | No 1 : -2.26m以下, 黄褐色砂礫の地山。 No 2 : -1.25m, 江戸後期の包含層 (土師器)。 No 3 : -0.6m, 室町後期の包含層 (地輪陶器鉢)。 -1.8m以下, オリブ灰色細砂の地山。 No 4 : -0.9m, 時期不明の包含層。 No 5 : -0.85mで時期不明の包含層 (土師器) を切って時期不明の落込。-1.65mで平安後期の埋地状堆積 (土師器皿)。 | 06H599 | HL 021 | 4 |
| 五条二坊 七町 | 下・西堀川通綾小路下る綾堀川町306-1 | 6/18, 8/23 | -0.75m, 近代の包含層 (土師器, 白磁)。 | 07H064 | HL 111 | 4 |
| 五条二坊 十町 | 下・鷹ヶ井通綾小路下る要法寺町 442番 その他一画 | 4/6・9・ 12・16・ 17・18・ 19 | No 1 : -0.75mで平安末期~鎌倉前期の包含層 (土師器, 輸入白磁耳付壺) を切って鎌倉後期~室町前期のピット (土師器皿)。 -1.0m以下, 黄褐色砂礫の地山。 No 2 : -0.8m, 時期不明の落込 (土師器)。 -1.12m以下, オリブ褐色砂礫の地山。 | 06H703 | HL 006 | 4 |

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|---------|------------------------------|-----------------------------|--|--------|--------|----|
| 五条二坊十二町 | 下・榎ヶ井遺高辻下る住吉町502・504・506番 | 9/3~21 | No 3 : -0.55m, 時期不明の包含層。-1.1m以下、褐色細砂の地山。No 5 : -1.05m以下、黄褐色粗砂の地山。No 6 : -1.4m, 時期不明の包含層。 | 07H119 | HL 228 | 4 |
| 五条二坊十四町 | 下・西洞院通仏光寺下る本柳水町788 | 5/8 | BM+0.6m~-+0.05mまで現代産土。 | 06H736 | HL 046 | 4 |
| 五条三坊 五町 | 下・高辻通室町西入繁昌町290番地 | 8/14 | 巡回時、工事終了。 | 07H158 | HL 202 | 5 |
| 五条三坊 三町 | 下・仏光寺通新町東入糸屋町215-1 | 8/7・10・13 | -1.83m, 江戸中期の包含層(土師器鉢・火消し臺)。-1.93m, 鎌倉の包含層(土師器、青磁甕・泉屋碗)。-2.1m, 平安後期の包含層(土師器皿)。-2.27m, 平安前期の落込(土師器甕、緑釉陶器・陶磁器・瓦類)。 | 06H551 | HL 197 | 5 |
| 五条三坊十一町 | 下・仏光寺通室町東入町藤町247番地 | 9/14 | 試掘調査地点。工事箇所内の確認調査。 | 06H699 | HL 242 | 5 |
| 五条四坊 一町 | 下・高倉通四条下る高村木町215 | 5/7~15 | -0.5m, 近世以降の包含層。 | 07H012 | HL 040 | 5 |
| 五条四坊 七町 | 下・綾村木町188-2・3 | 5/29 | -1.15m, 近世の包含層。 | 06H730 | HL 077 | 5 |
| 五条四坊 三町 | 下・高倉通仏光寺下る新開町397 | 6/15~10/16 | No 3 : -1.2m, 近世以降の包含層。-1.4m, 江戸前期の包含層(染付伊万里徳利)。No 6 : -0.78m, 江戸末期以降の包含層(焼締陶器)。No 1 : -0.6m~-1.0m~-1.24m, 近世以降の包含層。No 2 : -2.0m以下、黄褐色砂礫の地山。No 3 : -1.03m, 室町の包含層(土師器皿)。No 4 : -1.7m, 江戸の井戸(土師器皿、施釉陶器、平瓦・井戸神瓦)。No 5 : -1.7m, 室町前期の包含層(土師器皿、瓦類)。 | 07H045 | HL 192 | 5 |
| 五条四坊 九町 | 下・柳馬場通四条下る相之町131番地・132番地 | 7/31, 8/1~3・6 | | | | |
| 五条四坊 九町 | 下・四条通富小路西入立売東町19 | 7/19~23, 8/23, 9/18~21 | No 1 : -1.8m~-2.2m, 平安末~鎌倉の包含層(土師器皿、輸入白磁碗) 2。No 4 : -5.0m以下、褐色砂礫の地山。 | 06H688 | HL 175 | 5 |
| 五条四坊十四町 | 下・寺町通仏光寺下る恵美須之町521 | 6/15・18・19・21・25 | No 1 : -0.65m, 時期不明の包含層(土師器)。No 2 : -0.65m~-1.2m, 時期不明の包含層 2。 | 07H112 | HL 106 | 5 |
| 六条二坊 九町 | 下・堀ヶ井通松原下る榎屋町 | 6/22 | -0.23m, 近世以降の包含層。 | 07H128 | HL 143 | 4 |
| 六条二坊十一町 | 下・堀川通五条下る泉水町~堀川通播磨下る在女牛井町 地先 | 7/3~8/21 | -1.1m以下、黄褐色粘土の地山。 | 07H178 | HL 163 | 4 |
| 六条二坊 十町 | 下・五条通油小路西入北側小泉町82番地 | 5/7~16 | -1.4m以下、黄褐色粗砂の地山。 | 06H590 | HL 039 | 4 |
| 六条二坊十四町 | 下・袖小路通五条下る中会仏町208番地 他2家 | 6/18・21・25 | No 1 : -0.6m, 鎌倉の包含層(土師器皿)。No 2 : -1.5m以下、褐色粗砂の地山。 | 07H100 | HL 112 | 4 |
| 六条二坊十五町 | 下・西洞院通五条上る八幡町521番地1他5家 | 6/11・13・15 | No 1 : -0.55m, 近世の包含層。No 2 : -0.65m, 室町中期の包含層(土師器皿)。No 1 : -0.25m, 近世以降の包含層。No 2 : -1.2mで褐色砂礫の地山を切って鎌倉後期~室町初期の落込(土師器皿、焼締陶器甕、丸瓦)。No 3 : -1.5m, 平安後期の落込(土師器皿、輸入白磁、平瓦、金属製品) 2。-1.7m, 時期不明の包含層(土師器)。No 4 : -1.7m, 平安後期の包含層(土師器鉢、瓦類)。No 5 : -0.53m, 室町後期の包含層(土師器皿、焼締陶器・細小壺)。-0.75m, 室町中期の包含層(土師器皿)。-1.03m, 室町前期の包含層(土師器皿、焼締陶器古瀬戸)。No 6 : -1.3m, 室町前期の落込(土師器皿、焼締陶器甕)。No 7 : -1.75m, 時期不明の包含層(土師器)。 | 06H694 | HL 096 | 4 |
| 六条三坊 七町 | 下・新町通五条上る材木町146 | 5/8・9・11, 6/6・8・12・13・15・18 | | 06H639 | HL 042 | 5 |
| 六条三坊 八町 | 下・松原通新町東入中野之町168-2他 | 6/11~13, 15・18 | No 1 : -1.3m, 近世の包含層。-2.0m, 時期不明の包含層(土師器)。No 3 : -0.85m, 時期不明の包含層(土師器)。-1.1m~-1.45m, 平安後期の包含層(土師器皿、須恵器、輸入青磁甕・煎茶・白磁) 2。No 1 : -1.1m, 近世以降の包含層。-1.4m, 時期不明の包含層。No 3 : -1.1m, 平安後期~鎌倉の包含層(土師器)。 | 06H575 | HL 099 | 5 |
| 六条三坊十二町 | 下・丸鳥通五条下る大阪町384・386-1 | 4/25, 5/21・23・24・29 | | 06H619 | HL 028 | 5 |
| 六条四坊 四町 | 下・間之町通五条下る登野屋町124-1 | 7/25 | -0.6m, 江戸中期以降の包含層(近世焼締陶器)。 | 07H095 | HL 183 | 5 |

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|---------|--|---|---|--------|--------|------|
| 六条四坊 七町 | 下・五条通明町西入堀町357番地、 亀屋町160番2 | 6/25、 7/2・3・ 5・9・13・ 19 | No 1: -0.86m. 時期不明の土坑。-1.38m. 江戸初期の包含層(土師器、施釉陶器美濃天目)。 No 2: -0.4m. 近世以降の瓦層。No 3: -0.58m. 江戸後期の包含層(土師器惣衣蓋・釜・施釉陶器)。 No 4: -2.4m以下。灰黄褐色砂礫の地山。 | 06H706 | HL 147 | 5 |
| 六条四坊十四町 | 下・寺町通五条上る西橋詰町786-2 | 6/8・20 | -1.1mまで現代盛土。 | 06H731 | HL 092 | 5 |
| 六条四坊十六町 | 下・船屋町通松原下る上駒形町505-1 | 4/13・16 | -1.16m. 江戸中期の包含層(土師器皿)。 | 06H690 | HL 013 | 5 |
| 七条一坊 四町 | 下・七条通北側、千本通～大宮通 | 6/13～11/16 | -0.9m以下。黄褐色砂礫の地山。 | 06H686 | HL 103 | 6 |
| 七条一坊 八町 | 下・西新屋敷中之町112番1 | 6/19 | -0.26m. 近世以降の包含層。 | 07H114 | HL 125 | 6 |
| 七条一坊十六町 | 下・大宮通丹波口下る大宮1丁目552、 553、554 | 4/26・27 | -0.82m. 時期不明の包含層。 | 06H726 | HL 030 | 6 |
| 七条三坊 一町 | 下・良町872-1、872-2 | 5/21～24 | -1.25m. 褐色砂礫の肥産状堆積。 | 06H682 | HL 063 | 7 |
| 七条三坊 五町 | 下・鳥丸通七条上る常葉町754 | 5/2・28・ 29・31、 6/1・11・ 13・18、 8/1・2 | No 1: -0.18m・-0.37m. 近世以降の包含層2。 No 2: -0.5m. 近世以降の包含層。No 3: -0.27m. 近世以降の包含層。No 4: -0.34m・ -0.52m. 近世以降の包含層2。-0.52m. 近世 以降の土坑。No 5: -0.28m・-0.5mで近世以降 の包含層2。No 8: -0.65m・-1.08mで近世以 降の包含層2。No 9: -0.5m. 江戸前期の包含 層(土師器皿)。No 10: -0.35m. 近世以降の包 含層。-0.9m. 時期不明の包含層。 | 06H544 | HL 034 | 7 |
| 七条三坊 八町 | 下・貝町869-3、871-4、871-5 | 5/24～ 6/21 | No 2: -1.6m以下。ぶい黄褐色砂礫の地山。 No 3: -1.0m. 室町前期の包含層(土師器皿、 瓦器類、焼締陶器類)。 -1.45m以下。褐色砂礫の地山。 -0.9m. 近世以降の包含層。 | 06H542 | HL 069 | 7 |
| 七条三坊十四町 | 下・不明門通下敷珠屋町上る卓屋町 66-1、69-5 | 5/28・29・ 31 | -0.9m. 近世以降の包含層。 | 06H718 | HL 070 | 7 |
| 七条四坊 三町 | 下・東洞院通下敷珠屋町上る笠屋町 271、282 | 5/11 | -0.8mでぶい黄褐色泥砂を抽出。 遺構、遺物は検出できず。 | 07H060 | HL 052 | 7 |
| 七条四坊 四町 | 下・間之町七条上る壱越町441 | 11/22 | -0.4mまで現代盛土。 | 07H359 | HL 310 | 7 |
| 七条四坊十二町 | 下・土手町通七条上る納屋町420、 421-1、421-2、421-3、421-4、 421-5、423-8、426-1 | 7/24～27・ 30・31、 8/1・3 | No 1: -0.58m. 江戸前期の包含層(土師器皿、 釜、施釉陶器皿・鉢、餐器、京焼杯、伊万里染 付物)。No 3: -0.8m. 江戸前期の包含層(施 釉陶器類)。 No 5: -1.05m以下。黄褐色粗砂の地山。 No 1: -0.4m. 江戸後期の包含層(土師器皿、 染付くわらん茶碗)。-1.3m以下。褐色砂礫 の地山。No 2: -0.37m. 江戸後期の土坑(土師 器惣衣蓋、施釉陶器)。 | 06H707 | HL 182 | 7 |
| 七条四坊十四町 | 下・三ノ宮町通正町下る上三ノ宮町 284番、284番1 | 6/25・ 27～29 | No 1: -0.4m. 江戸後期の包含層(土師器皿、 染付くわらん茶碗)。-1.3m以下。褐色砂礫 の地山。No 2: -0.37m. 江戸後期の土坑(土師 器惣衣蓋、施釉陶器)。 | 07H063 | HL 146 | 7 |
| 八条一坊 一町 | 下・七条通南側、新千本通～大宮通 | 8/13～ 11/27 | No 10: -0.9m. 時期不明の包含層。-0.98m以 下。褐色砂礫の地山。 No 14: -0.35m. 近代の包含層(土師器、施釉陶 器)。-1.0m以下。黄褐色粗砂の地山。 | 06H760 | HL 200 | 6 |
| 八条二坊 四町 | 南・西九条小寺町6-1、7-7・9 | 7/30～8/1 | -0.8mで灰黄褐色泥砂を抽出。 遺構、遺物は検出できず。 | 07H154 | HL 189 | 6 |
| 八条二坊 九町 | 下・油小路通下泉ノ幡下る油小路町 282番地 | 6/15・18・ 21 | No 1: -1.05m. 江戸の包含層(土師器、染付 物・垂・皿、焼締陶器類)。No 2: -1.26m. 鎌 倉の包含層(土師器皿、須恵器蓋、灰輪陶器)。 | 07H028 | HL 084 | 6 |
| 八条二坊 九町 | 下・七条通油小路西入土橋町198-3、 213 | 6/18～7/5 | No 1: -0.5m. 室町の包含層(磁器型土器)。 -1.0m. 時期不明の包含層(土師器皿)。 No 2: -0.5m. 近世以降の包含層。 | 06H684 | HL 110 | 6 |
| 八条三坊 一町 | 下・七条通新町西入夷之町715 | 6/20～ 7/23 | No 1: -2.05m. 近世以降の包含層。 No 2: -2.7m以下。黒色砂礫の地山。 | 06H466 | HL 138 | 7 |
| 八条四坊 九町 | 下・材木町～上之町 地先 | 4/9～20 | -0.62mで黒褐色泥砂を抽出。 遺構、遺物は検出できず。 | 06H676 | HL 007 | 7 |
| 九条一坊 一町 | 南区八条瀬町 地先 | 5/14～9/6 | -0.75m以下。褐色砂礫の地山。 | 07H067 | HL 054 | 6 |
| 九条一坊 三町 | 南・八条内田町 | 6/27・28 | -0.9mまで現代盛土。 | 07H033 | HL 149 | 6・13 |
| 九条一坊十六町 | 南・大宮通八条下る九条町412番37 | 8/30 | -0.2m. 時期不明の包含層(土師器)。 -0.45m. 平安中期の包含層(土師器皿)。 | 07H221 | HL 222 | 6 |

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|---------|----------------------------------|--------------------|--|--------|--------|-----|
| 九条一坊十六町 | 南・大宮通八条下る九条町 412-29の一部 3号地 | 5/10 | -0.1m、平安～鎌倉の包含層（土師器層）。 | 07H006 | HL 050 | 6 |
| 九条一坊十六町 | 南・大宮通八条下る九条町 412-29の一部 1号地 | 4/24～26、 5/2・11 | -0.27m、時期不明の包含層。 | 07H004 | HL 027 | 6 |
| 九条一坊十六町 | 南・大宮通八条下る九条町 412-29の一部 2号地 | 5/11 | -0.3m、時期不明の包含層。 | 07H005 | HL 051 | 6 |
| 九条二坊 一町 | 南・西九条横町56-1 | 11/8・9 | No 1：-0.52mで鎌倉の包含層（土師器層、瓦器層）を切って時期不明の落込（土師器、灰陶陶器層）。No 2：-0.25m、鎌倉の包含層（土師器、瓦器層）。 | 07H331 | HL 293 | 6 |
| 九条二坊十四町 | 南・西洞院通、八条通～東寺通 地内 | 6/12～8/7 | No 4：-1.65m以下、にぶい黄褐色砂礫の地山。 No 6：-0.75m、近世以降の包含層。 No 8：-1.5m以下、にぶい黄褐色粗砂の地山。 -1.0mまで現代盛土。 | 06H687 | HL 100 | 6・7 |
| 九条三坊 二町 | 南・西九条院町24-3 | 8/1 | No 1：-1.4m、近世以降の包含層。No 4：-0.5m、近世以降の包含層。-0.98m以下、褐色砂礫の地山。No 5：-1.85m、近世以降の包含層。No 20：-0.6m以下、にぶい黄褐色砂礫の地山。 | 07H228 | HL 196 | 7 |
| 九条四坊 九町 | 南・西九条東岩本町～東九条南山王町 地先（一般国道24号） | 4/11～9/5 | | 05H619 | HL 010 | 7 |

平安京右京（HR）

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|---------|-------------------------------------|---------------------------|---|--------|--------|----|
| 一条二坊十五町 | 中・西ノ京中保町11番地 | 6/21、 7/2・3・ 5・6・10 | No 3：-1.0mでにぶい黄褐色粘土の地山を切って時期不明の落込。 No 4：-1.25m以下、灰黄褐色砂礫の地山。 | 06H646 | HR 139 | 9 |
| 一条三坊 三町 | 中・西ノ京大炊御門町19-4 | 6/7、 7/11・ 17～19 | No 1：BM-0.11mで灰黄褐色粘土の地山を切って時期不明のビット2。No 2：-0.85m以下、褐色砂礫の地山。06年度発掘調査済地点。 | 06H239 | HR 090 | 8 |
| 一条三坊 四町 | 中・西ノ京南大炊御門町19 | 12/11～14 | No 3：-0.22m、中世の包含層（土師器層）。 No 4：BM-0.07m、平安前期～室町の包含層（土師器層、須恵器層・鉢、緑釉陶器層）。 BM-0.24mでにぶい黄褐色砂礫の地山を切って平安前期の落込（土師器層・鉢）。 No 6：BM+0.03mで平安前期～室町の包含層を切って時期不明の落込（土師器層）。 | 07H358 | HR 330 | 8 |
| 一条三坊 八町 | 北・大將軍西園寺町21-1の一部 | 11/21・22 | -0.48m、時期不明の包含層。 -0.62m以下、黒褐色砂礫の地山。 | 07H364 | HR 307 | 8 |
| 二条二坊 二町 | 中・西ノ京南西町34番1の一部 | 7/25・26 | 平安末期～室町の東西溝及び互回溝構築。 本報告12ページ。 | 07H080 | HR 184 | 9 |
| 二条二坊 八町 | 中・西ノ京上平町12、13、14 | 5/8・9 | -1.03m、褐色砂礫の粗粒状堆積。 | 06H728 | HR 043 | 9 |
| 二条二坊 九町 | 中・西ノ京南円町104番 | 7/13 | -0.23mで暗オレンジ色砂礫を検出。 遺構遺物は検出できず。 | 07H161 | HR 167 | 9 |
| 二条二坊十五町 | 中・西ノ京中御門町40-2、40-3、 40-4、40-5の一部 | 5/14～18、 21 | 平安の東西溝を検出。本報告16ページ。 | 07H021 | HR 056 | 9 |
| 二条三坊 二町 | 中・西ノ京中御門町25 | 10/16 | -0.3mまで現代盛土。 | 07H327 | HR 266 | 8 |
| 二条三坊 二町 | 中・西ノ京中御門町71番地 | 11/20 | -0.4mまで現代盛土。 | 07H306 | HR 304 | 8 |
| 三条一坊 三町 | 中・西ノ京船尾町3-14の一部 | 4/23 | -0.5mまで現代盛土。 | 07H030 | HR 025 | 9 |
| 三条一坊十三町 | 中・西ノ京西月光町30の一部、 32-2の一部 | 11/22 | -0.62mまで現代盛土。 | 07H333 | HR 312 | 9 |
| 三条二坊 二町 | 中・西ノ京網町77 | 8/8・9・ 10・13 | No 2：-0.4mで明黄褐色砂礫の地山を切って室町の土坑（土師器、須恵器層）。 No 4：-0.7m以下、灰黄褐色砂礫の地山。 -1.0m以下、明黄褐色砂礫の地山。 | 07H163 | HR 199 | 9 |
| 三条二坊十一町 | 中・西ノ京下合町 | 6/19～7/10 | | 07H015 | HR 133 | 9 |
| 三条三坊 六町 | 中・西ノ京島原町1 | 6/22 | 試験調査済地点。工事断層の確認調査。 | 06H577 | HR 144 | 8 |
| 三条四坊十三町 | 右・山ノ内西八反田町 | 8/20～24 | -2.14m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。 | 06H752 | HR 205 | 8 |
| 四條二坊 一町 | 中・壬生上大竹町28-2、29 | 8/22・23 | No 1：-0.84m以下、褐色砂礫の地山。No 2：-0.42m、平安の包含層（土師器、須恵器層・鉢、平瓦）。-0.56m以下、黄褐色砂礫の地山。 | 07H220 | HR 208 | 11 |

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|---------|--|------------------|--|--------|--------|----|
| 四条三坊 六町 | 右・西院春日町10・12・13・20 | 6/19・21・25、8/8 | No 1 : -0.88m以下、黄褐色粘土の地山。 No 2 : -0.9m、褐色粘土の埋地状堆積。-1.42m以下、黒灰色砂礫の地山。 | 06H290 | HR 132 | 10 |
| 四条三坊十六町 | 右・山ノ内養老町8-6・16・23 | 7/18~25 | -1.21m以下、オリブ黒色粘土の地山。 | 07H111 | HR 173 | 10 |
| 五条一坊 二町 | 中・壬生高樋町55、55-4 | 6/29~7/5 | -1.46m、暗オリブ灰色砂礫の埋地状堆積。 | 07H162 | HR 157 | 11 |
| 五条一坊 八町 | 中・壬生高樋町28-5の一部 | 7/9 | -0.45m、中堂の包含層（輸入青磁器）。 | 07H071 | HR 168 | 11 |
| 五条三坊 二町 | 右・西院北矢野町29番地、29番の2、30番地 | 11/27 | -0.6m、平安後期の包含層（土師器類）。 | 07H184 | HR 316 | 10 |
| 五条三坊 十町 | 右・鎌小路通、西院久田町 | 11/5~12/10 | BM-0.53mまで現代盛土。試掘調査済地点。 | 07H319 | HR 290 | 10 |
| 五条四坊十五町 | 右・西院東貝川町60-1、61-1 | 12/13 | -1.5mまで現代盛土。 | 07H388 | HR 334 | 10 |
| 五条四坊十五町 | 右・西院東貝川町46番地 | 10/17 | -0.55mまで現代盛土。 | 07H248 | HR 268 | 10 |
| 六条二坊 九町 | 右・西院高田町27-1、28の一部 | 4/5・6 | 平安前期の埋地状堆積を検出。『京都市内遺跡試掘調査報告平成19年度』に掲載。 | 07H011 | HR 002 | 11 |
| 六条三坊十二町 | 右・西京極北庄境町~西院清崎町地先 | 7/19~11/5 | No 3 : -0.75m、平安中期の包含層（土師器類）。 No 4 : -0.56m、平安前期の包含層（土師製甕土器、須恵器類）。 No 5 : -1.04m以下、褐色粘土の地山。 No 6 : -0.56m以下、褐色砂泥の地山。 | 07H206 | HR 176 | 10 |
| 六条三坊十六町 | 右・西院久保田町、西院安塚町 | 4/17~5/7 | -2.65m、時期不明の包含層。-2.9m、時期不明の土坑。-6.89m以下、黒灰色砂礫の地山。 | 06H431 | HR 024 | 10 |
| 七条一坊 五町 | 下・朱雀北ノ口町24番地 他 | 5/31、6/4~6・8 | No 2 : -0.73mで褐色粘土の地山を切って時期不明の露込。 | 06H604 | HR 079 | 13 |
| 七条三坊 五町 | 右・西京極大門町1-1、1-2、2、36-1、36-2、中洲町2-2、2-5 | 4/4・13 | No 3 : -0.57m、時期不明の包含層（土師器）。 | 06H618 | HR 001 | 12 |
| 七条四坊 三町 | 右・西京極宮ノ東町~西京極三反田町 | 9/18~10/5 | -1.15m、黄褐色粘土の埋地状堆積。 -1.9m以下、黒褐色砂礫の地山。 | 07H266 | HR 244 | 12 |
| 八条一坊十六町 | 下・西七条南東野町10-1 | 6/20~9/4 | -1.3m以下、明黄褐色砂礫の地山。 No 1 : -0.4m、桃山の包含層（土師器類）。 | 07H139 | HR 140 | 13 |
| 八条三坊 六町 | 下・七条御所ノ内西町86番2の一部 | 8/6 | No 2 : -1.0m以下、暗オリブ灰色砂礫の地山。 | 07H143 | HR 196 | 12 |
| 八条四坊十五町 | 右・西京極芝ノ下町14番の一部、45番、46番、101番、105番の一部 | 6/19・21・25・28・29 | -0.2mまで現代盛土。 -0.5mまで現代盛土。 | 06H627 | HR 131 | 12 |
| 九条一坊 四町 | 南・唐橋區城門町 地先 | 11/8~12/5 | No 5 : -0.56m、近世以降の包含層。 No 6 : -0.7m、暗褐色砂泥の埋地状堆積。 | 07H352 | HR 294 | 13 |
| 九条三坊 一町 | 南・吉祥院西ノ庄東屋敷町52番地1の一部 | 12/21 | -0.44m、時期不明の包含層（土師器）。 | 07H410 | HR 338 | 12 |
| 九条三坊十四町 | 南・吉祥院宮ノ東町地先~中河原里北町 地先 | 9/11~10/25 | -0.72m、室町の包含層（土師器類、須恵器）。 | 07H190 | HR 239 | 12 |
| 九条三坊十四町 | 南・吉祥院中河原里北町40 | 8/17・20~23 | -1.08m以下、暗褐色砂礫の地山。 No 1 : -0.6m、時期不明の土坑。 No 4 : -0.40m以下、オリブ褐色砂泥の地山。 No 7 : -0.84mで近世以降の包含層。 -0.40m以下、灰オリブ灰色砂泥の地山。 | 07H153 | HR 203 | 12 |
| 九条三坊十四町 | 南・吉祥院中河原里北町40 | 8/17・20~23 | No 1 : -0.75m以下、灰黄褐色砂礫の地山。 No 2 : -0.76mで黄褐色粘土の地山を切って時期不明の土坑。No 3 : -0.94mでオリブ褐色粘土の地山を切って時期不明の土坑。 | | | |

洛北地区 (RH)

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|------------|--------------------------|------------|------------------------------------|--------|--------|------|
| 史跡御土居・朝土居跡 | 北・紫野上柏野町~紫野西土居町地先 | 12/12~21 | No 3 : -0.2mで黄褐色砂礫を検出。遺構、遺物は検出できず。 | 19C080 | RH 332 | 22-2 |
| 引接寺境内 | 上・千本遺寺之内上る西五辻北町433 | 6/21・25・28 | -0.6mでぶい黄褐色砂礫を検出。遺構、遺物は検出できず。 | 07S037 | RH 142 | 22-2 |
| 紫野高院跡 | 上・大宮通西津七々村上る西入社突抜町251番地1 | 5/2 | -0.2mで近世の包含層を切って石組の井戸。 | 06S528 | RH 035 | 22-2 |
| 上京遺跡 | 上・大宮遺寺之内下る花開院町129 | 8/27・28 | -0.3mまで現代盛土。 | 06S725 | RH 213 | 22-2 |
| 上京遺跡 | 上・室町通上立上る西入願風岡町371 | 7/2~6 | -0.9m、オリブ黒色砂泥の埋地状堆積。 | 07S122 | RH 160 | 20-1 |

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|--------------|--|------------------|---|--------|--------|------|
| 上京遺跡 | 上・堀川通今出川下る橋之上町369番1 | 6/18、7/6・11・13 | No 1 ; -0.3m ~ -0.65m、室町末期の包含層(土師器Ⅷ) 2。No 2 ; -0.6m、時期不明の包含層(土師器Ⅷ)。 | 07S136 | RH 114 | 20-1 |
| 上京遺跡 | 上・東堀川通今出川下る東入西今町396番地、東堀川通元智願寺上る村置町406番地 | 5/14・16・17 | -0.6m、近世以降の包含層。-0.85m、時期不明の包含層。 | 06S734 | RH 055 | 20-1 |
| 上京遺跡 | 上・一乗道丸西入広橋殿町400 | 11/19 | -0.15mで黒褐色砂を抽出。試掘調査地点。 | 07H133 | RH 300 | 20-1 |
| 室町殿跡(花の御所) | 上・中御堂子町121-3・4 | 10/25・26 | -0.04m、近世以降の包含層。-0.16m、江戸の包含層。 | 07S255 | RH 279 | 20-1 |
| 室町殿跡(花の御所) | 上・室町通上立売下る嘉楽地町93-5 | 12/5 | -0.15m、近世以降の包含層。 | 07S318 | RH 324 | 20-1 |
| 公家町遺跡 | 上・京都御苑3番地 | 7/17・18・19・20・24 | No 1 ; -0.57m、平安末～鎌倉の包含層(土師器Ⅷ)。No 2 ; -0.2m、江戸中期の包含層(土師器Ⅷ、軒丸瓦、平瓦)。 | 07S159 | RH 171 | 20-1 |
| 相国寺旧境内・上御堂遺跡 | 上・今出川通烏丸東入相国寺門前町地先 | 4/27～5/18 | -0.26m、近世以降の包含層。 | 07S035 | RH 033 | 20-1 |
| 大深町須恵遺跡 | 北・西賀茂大深町8-1、9 | 6/29、9/27 | -0.8m以下、明黄褐色粘土の地山。 | 07S232 | RH 159 | 20-2 |
| 大深町須恵遺跡 | 北・西賀茂大深町25-1、26 | 6/29～8/9 | No 1 ; BM+1.25m以下、明黄褐色砂の地山。No 4 ; BM+0.18m以下、明黄褐色粘土の地山。 | 07S193 | RH 158 | 20-2 |
| 大宮北山ノ前瓦窯跡 | 北・大宮北山ノ前町32-1 | 8/30、9/3 | -0.4mまで現代盛土。 | 07S213 | RH 223 | 20-2 |
| 大徳寺旧境内植物園北遺跡 | 北・紫野大徳寺町 | 7/23～8/23 | -1.1mまで現代盛土。 | 07S031 | RH 179 | 20-3 |
| 植物園北遺跡 | 北・上賀茂山本町47番3 | 11/12 | -0.27mまで現代盛土。 | 07S325 | RH 296 | 22-1 |
| 植物園北遺跡 | 北・上賀茂北大路町32番地の一部、31-1 | 10/2、12/3 | -0.55mまで現代盛土。 | 07S292 | RH 257 | 22-1 |
| 植物園北遺跡 | 北・上賀茂土門町81番1 | 6/19・20・21 | No 1 ; -0.87m、時期不明の盛込。No 2 ; -0.6m、時期不明の盛込。 | 06S381 | RH 137 | 22-1 |
| 植物園北遺跡 | 北・上賀茂呼跡町4番地 | 6/4 | -0.3m、耕作土。 | 07S069 | RH 085 | 22-1 |
| 植物園北遺跡 | 左・下鴨北芝町3-4-5 | 6/19～21、25～28 | No 3 ; -0.6m以下、にがい黄褐色砂礫の地山。No 4 ; -0.66m以下、褐色砂泥の地山。 | 07S026 | RH 129 | 22-1 |
| 植物園北遺跡 | 左・下鴨南芝町14-7 | 6/11 | -0.68mでオリブ黒色砂泥を抽出。遺構、遺物は検出できず。 | 07S046 | RH 093 | 22-1 |
| 植物園北遺跡 | 左・下鴨前萩町19番1、19番9 | 5/8・9 | -0.74m以下、オリブ褐色砂泥の地山。 | 07S023 | RH 044 | 22-1 |
| 植物園北遺跡 | 北・上賀茂飯田町56-6、55-1 | 5/8～11 | No 1 ; -0.6m以下、オリブ褐色砂泥の地山。No 3 ; -0.17m、時期不明の包含層。 | 06S530 | RH 047 | 22-1 |
| 植物園北遺跡 | 北・上賀茂飯田町7-1 | 10/29・30 | -1.34mで暗オリブ色砂泥を抽出。遺構、遺物は検出できず。 | 07S286 | RH 282 | 22-1 |
| 植物園北遺跡・御土居跡 | 北・小山元町、上賀茂飯田町 地内 | 11/19～12/20 | -1.2m、暗褐色砂礫の氾濫状堆積。 | 07S287 | RH 303 | 22-1 |

太秦地区 (UZ)

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|---------|---------------------------|--------------|--|--------|--------|----|
| 草水町遺跡 | 右・太秦京ノ道町20番地の05京都市立常盤野小学校 | 7/27 | -1.07m～-1.18m、平安中期の包含層(土師器Ⅷ)を切って鎌倉及び時期不明の土坑(土師器Ⅷ) 8。 | 07S197 | UZ 188 | 16 |
| 太秦馬場町遺跡 | 右・太秦中筋町28、27-1 | 6/7 | No 1 ; -0.56m、近世の包含層。No 3 ; -0.65m以下、明黄褐色砂泥の地山。 | 07S076 | UZ 091 | 16 |
| 村ノ内町遺跡 | 右・常盤出口町14-26・41 | 10/10、11/7・8 | 弥生中期の遺物と古墳前期の盛込を抽出。本報告28ページ。 | 07S224 | UZ 262 | 16 |
| 村ノ内町遺跡 | 右・常盤出口町14番3の一部 | 7/18 | -0.1mで暗褐色砂泥を抽出。遺構、遺物は検出できず。 | 07S048 | UZ 170 | 16 |
| 上ノ段町遺跡 | 右・太秦西條町9-27 | 11/20・21 | No 1 ; -0.52m、近世以降の包含層。No 2 ; -0.52mで飛鳥の包含層(土師器Ⅷ)。 | 07S355 | UZ 306 | 16 |
| 上ノ段町遺跡 | 右・太秦堀ノ内町1-1の一部、1-6 | 11/27 | -0.85m以下、褐色粘土の地山。-0.54mで褐色砂泥を抽出。遺構、遺物は検出できず。 | 07S385 | UZ 318 | 16 |

| 道 路 名 | 所 在 地 | 調査日 | 調 査 概 要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|----------|---------------------|------------|---|--------|--------|------|
| 朔所ノ内町道跡 | 右・太秦朔所ノ内町22、25-1 | 10/22 | BM-0.51mまで現代盛土。試験調査地点。「京都市内道跡試験調査報告 平成19年度」に掲載。 | 07S202 | UZ 273 | 16 |
| 嵯峨野高田町道跡 | 右・嵯峨野南浦町7、18-2、35-1 | 4/16・17 | -0.45m、時期不明の包含層（土師器）。 | 06S750 | UZ 016 | 16 |
| 菅戸山古墳群 | 右・太秦三尾町1-216、1-362 | 10/1 | -0.5mまで現代盛土。 | 07S261 | UZ 255 | 24-4 |
| 菅戸山古墳群 | 右・太秦三尾町1-232・363 | 9/10 | BM+1.75m～+1.55mまで現代盛土。 | 07S173 | UZ 236 | 24-4 |
| 菅戸山古墳群 | 右・太秦三尾町1-217・355 | 10/29 | -0.25mまで現代盛土。 | 07S300 | UZ 283 | 24-4 |
| 仁和寺院家跡 | 右・宇多野馬場町11-8 | 9/25～10/10 | -2.0m以下、にぶい黄褐色細砂の地山。 | 07S256 | UZ 249 | 24-5 |

北白川地区 (KS)

| 道 路 名 | 所 在 地 | 調査日 | 調 査 概 要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|--------------------------------|--|------------------------|--|--------|--------|------|
| 北白川廃寺 | 左・北白川山田町58番 | 12/14 | BM+0.6m～+0.28mまで現代盛土。 | 07S387 | KS 335 | 17 |
| 北白川廃寺 | 左・北白川山田町59-2 | 10/26～30 | -0.32m以下、黄褐色細砂の地山。 | 07S301 | KS 280 | 17 |
| 吉田上大路町道跡・吉田二本松町道跡・吉田山道跡・吉田神社境内 | 左・吉田上大路町36番地 | 7/24・25 | -0.4mまで現代盛土。 | 07S174 | KS 180 | 17 |
| 吉田上大路町道跡・吉田二本松町道跡 | 左・吉田中大路町1番8 | 4/23 | -0.1mで褐色泥砂を抽出。道標、遺物は抽出できず。 | 06S075 | KS 026 | 17 |
| 吉田上大路町道跡・白河街区跡 | 左・吉田下大路町8、8-1 | 9/3～7・10 | -0.65m以下、黄褐色細砂の地山。 | 07S073 | KS 229 | 17 |
| 白河街区跡 | 左・嵯峨院西町21-70、21-73、21-132 | 5/8、6/19 | 巡回時、工事終了。 | 06S295 | KS 045 | 17 |
| 白河街区跡 | 左・岡崎西福ノ川町地先 | 4/5～12 | -1.0m以下、黄褐色細砂の地山。 | 07S008 | KS 005 | 17 |
| 白河街区跡 | 左・岡崎西福ノ川町22-11 | 4/5・6・11 | -1.12mまで現代盛土。 | 06S735 | KS 004 | 17 |
| 岡崎道跡・白河街区跡 | 左・岡崎北御所町～岡崎南御所町地内 | 8/21～31、9/3～28、10/2～26 | No 6 ; -0.9m以下、にぶい褐色微砂の地山、No10 ; -0.9m、時期不明の包含層（土師器、藤丸陶器、瓦）、No12 ; -1.27m、時期不明の包含層（青磁、土師器）、-1.6m以下、明褐色砂泥の地山。 | 06R546 | KS 207 | 17 |
| 岡崎道跡 | 左・岡崎法勝寺町90-1 | 12/10・18・19 | BM-1.02mで黒褐色砂泥を抽出。道標、遺物は抽出できず。 | 07S315 | KS 328 | 17 |
| 岡崎道跡・法勝寺跡 | 左・岡崎法勝寺町13-2 | 4/5 | BM-0.29mで黒褐色砂泥を抽出。道標・遺物は抽出できず。 | 06R668 | KS 003 | 17 |
| 白河北段跡 | 左・東丸太町16-7地 | 9/3・4 | 平安後期の包含層を抽出。本報告29ページ。 | 07R169 | KS 230 | 17 |
| 一乗寺田町道跡 | 左・一乗寺青城町115番 | 12/17・21 | -0.4mまで現代盛土。 | 07S406 | KS 336 | 24-1 |
| 御土屋跡 | 左・河原町通広小路上る九軒町439-2・4、438-1、北之辺町394-7・16 | 6/18～7/11 | -0.3mで近世以降の包含層。 | 07S084 | KS 115 | 24-6 |

洛東地区 (RT)

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|-------------------|-------------------------------|---------------------------------------|---|--------|--------|------|
| 御土居跡 | 中・河原町御道池下下丸屋町403他5筆 | 10/31、 11/1・2・ 5・7・9 | No 1: -0.4m以下、褐色砂礫の氾濫状堆積。 No 2: -1.0m、時期不明の包含層(土師器)。 -1.2m以下、暗褐色砂礫の氾濫状堆積。 | 07S171 | RT 286 | 25-1 |
| 御土居跡 | 下・河原町通四条下下二丁目福善町335番地 | 5/31~6/5 | -2.15m以下、明黄褐色砂礫の地山。 | 06S657 | RT 080 | 18 |
| 四条道場跡 | 中・新京極通四条上中之町53番1他 | 6/6 | -2.96m以下、明黄褐色粗砂の地山。 | 06S555 | RT 088 | 18 |
| 寺町旧城 | 下・四条通寺町東入る御旅町49 | 10/29~ 11/15 | No 5: -1.35m以下、褐色砂礫の地山。 | 07S096 | RT 281 | 18 |
| 建仁寺境内 | 東・大和大道通四条下下三丁目博多町65他 | 8/30・31、 9/3~7・ 10~13・ 18~21 | No 1: -1.1m、時期不明の包含層(土師器)。 -1.2m・-1.5m、室町の包含層(土師器、焼締陶器信来甕、平瓦) 2。No 2: -0.65m、時期不明の包含層(青白磁、焼締陶器信来)。 -1.5m、室町の包含層(土師器)。 No 3: -1.1m、時期不明の包含層(土師器)。 No 4: -1.0m、時期不明の包含層(土師器)。 No 5: -1.3m・-1.42m・-1.67m・-1.9m、室町の包含層(土師器、焼締陶器信来甕) 4。 No 6: -1.95m・-2.15m、室町の包含層(土師器) 2。No 7: -1.1m、室町の包含層(焼締陶器信来甕)。No 9: -1.1m、近世の包含層(青磁)。 -1.3m、時期不明の包含層(土師器)。 No 10: -1.3m、室町の包含層(土師器)。 -1.7m、室町の包含層(土師器、道具瓦、青磁)。 No 11: -0.75m、室町の包含層(土師器、平瓦)。 | 07S210 | RT 224 | 18 |
| 六波羅政庁跡 | 東・五条通問屋町東入る朱雀町~五条通大和大路西入石垣町西側 | 9/5~10/2 | -1.2mまで現代盛土。 | 07S285 | RT 234 | 18 |
| 六波羅政庁跡 | 東・五条橋東四丁目415 | 9/18~21・ 25、 11/27~30 | No 1: -1.4m、明治以降の包含層(焼締陶器道具)。 No 2: -1.6m、時期不明の層。 No 3: -1.04m、中世の包含層(瓦器)。 -1.38m、時期不明の包含層(土師器、平瓦)。 -1.54m以下、褐色粘土の地山。No 4: -1.16m・ -1.45m、時期不明の包含層(土師器) 2。 No 5: -0.2m、明治の包含層(焼締陶器道具、染付)。 -1.32m以下、明黄褐色砂泥の地山。 | 07S181 | RT 245 | 18 |
| 六波羅政庁跡 | 東・五条橋東五丁目~東大路五条下下常盤町 | 10/15・16 | -1.0m、時期不明の包含層(土師器)。 -1.14m以下、灰白色粘土+浅黄色泥砂の地山。 | 07S304 | RT 264 | 18 |
| 六波羅政庁跡 | 東・正面町322 | 11/14 | -0.25mで黒褐色泥砂を抽出。 遺構、遺物は抽出できず。 | 07S332 | RT 297 | 18 |
| 六波羅政庁跡 | 東・朝町通七条上を下羅崎町260 | 8/24 | -0.6m、鎌倉前期の包含層(土師器)。 | 07S168 | RT 210 | 18 |
| 法住寺院跡・六波羅政庁跡・方広寺跡 | 東・茶屋町527 | 8/27・28 | 近世以降の石垣を抽出。本報告20ページ。 | 07S258 | RT 214 | 18 |
| 法住寺院跡 | 東・今熊野池田町12 | 6/20~25 | No 2: -0.54m以下、黄褐色粗砂の地山。 | 07S065 | RT 141 | 18 |
| 法住寺院跡 | 東・今熊野池田町~泉源寺通東大路 | 4/15・17・ 18 | No 1: -0.6m以下、明黄褐色粘土の地山。 No 2: -0.36m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。 | 07S018 | RT 018 | 18 |
| 法住寺院跡 | 東・本町通三ノ橋上本町十七丁目358番地 | 7/26 | -0.8mでオリブ褐色砂礫を抽出。 遺構、遺物は抽出できず。 | 07S198 | RT 185 | 23-1 |
| 中匠遺跡 | 山・新橋野打越町3 | 7/4 | BM-0.3m、中世の溝状遺構(土師器)。 | 07N182 | RT 165 | 24-2 |
| 中匠遺跡 | 山・東野舞台町97-73 | 9/28 | -0.2mまで現代盛土。 | 07N298 | RT 253 | 24-2 |
| 中匠遺跡 | 山・東野舞台町97-71 | 4/11 | -0.8mで黒褐色砂泥を抽出。 遺構、遺物は抽出できず。 | 06N747 | RT 011 | 24-2 |
| 中匠遺跡 | 山・東野舞台町97-69 (8号地) | 9/19 | -0.8mまで現代盛土。 | 07N291 | RT 246 | 24-2 |
| 中匠遺跡 | 山・東野舞台町97-62 | 8/20 | -0.46mまで現代盛土。 | 07N252 | RT 206 | 24-2 |
| 中匠遺跡 | 山・東野舞台町97-66 (4号地) | 5/16 | -0.6mまで現代盛土。 | 07N053 | RT 058 | 24-2 |
| 中匠遺跡 | 山・東野舞台町97-65 (3号地) | 7/3 | -0.9mまで現代盛土。 | 07N151 | RT 164 | 24-2 |

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|----------|----------------------|-----------------|--|--------|--------|------|
| 中 区 遺 跡 | 山・東野舞台町97-64 | 8/7 | BM-0.42mまで現代盛土。 | 07N247 | RT 198 | 24-2 |
| 中 区 遺 跡 | 山・東野舞台町97-61 | 12/12 | -0.62mまで現代盛土。 | 07N419 | RT 333 | 24-2 |
| 中 区 遺 跡 | 山・東郷野打越町36番1の1部、34番2 | 9/26・27 | BM+0.3m以下、黄褐色砂泥の地山。 | 07N308 | RT 251 | 24-2 |
| 中 区 遺 跡 | 山・勧修寺西金ヶ崎336番地 | 10/17・ 18・23 | -0.82m以下、暗褐色砂礫の地山、78年度発掘調査済地点。 | 07N246 | RT 267 | 24-2 |
| 日ノ岡墳 | 谷・御殿村山町1-88 | 11/26 | -0.30m以下、にぶい黄褐色砂泥の地山。 | 07S348 | RT 308 | 25-2 |
| 須恵器窯跡 | 山・西野広見町5-13 | 11/20 | -0.27mまで現代盛土。 | 07S357 | RT 305 | 25-3 |
| 山科本願寺跡 | 山・東野舞台町6-3他 | 5/28～ 10/31 | No 1 ; BM-1.24mで褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できません。 | 06S464 | RT 073 | 25-3 |
| 山科本願寺南殿跡 | 山・音羽伊勢宿町4の一部 | 11/12 | -0.23mで暗褐色砂泥を検出。遺構、遺物は検出できません。 | 07S338 | RT 298 | 25-4 |

鳥羽地区 (TB)

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|-------------------------|-------------------------|----------------|--|--------|--------|------|
| 久我殿遺跡 | 伏・久我本町3-2 | 4/9 | -0.31m、近代以降の包含層。 | 06S717 | TB 008 | 19 |
| 久我東町遺跡 | 伏・羽東師臨川町192番地の2、192番地の3 | 9/20 | -1.9mまで現代盛土。 | 07S235 | TB 248 | 19 |
| 鳥羽離宮跡・ 鳥羽遺跡・ 竹田城跡 | 伏・竹田向代町川町 | 11/26～ 12/4 | No 1 ; -1.4m、平安後期の湿地状堆積 (瓦跡等)。 No 3 ; -0.9m、鎌倉後期～室町初期の包含層 (土師器皿)。 | 07T345 | TB 315 | 21-1 |
| 鳥羽離宮跡・ 鳥羽遺跡 | 伏・中島鳥羽離宮町71 | 4/25、 6/11 | -1.73m、オリブ灰色粘土の湿地状堆積。 | 07T003 | TB 029 | 21-1 |
| 鳥羽離宮跡・ 鳥羽遺跡 | 伏・中島北ノ口町10番地 | 5/8 | -0.35mまで現代盛土。 | 07T121 | TB 074 | 21-1 |
| 鳥羽離宮跡・ 鳥羽遺跡 | 伏・中島堀端町149 | 10/1 | -0.3mまで現代盛土。 | 07T316 | TB 254 | 21-1 |
| 鳥羽離宮跡・ 鳥羽遺跡 | 伏・中島河原田町 地内 | 11/15～ 12/4 | -2.8mまで現代盛土。 | 07T257 | TB 299 | 21-1 |
| 唐橋遺跡 | 南・吉祥院九条町20 | 6/19～7/19 | -2.1mまで現代盛土。 | 07S148 | TB 136 | 21-2 |
| 石原城跡 | 南・吉祥院石原町61-6・2及び301 | 5/31～ 8/23 | No 1 ; -0.66m、近世以降の包含層。 No 2 ; -0.5m以下、にぶい黄褐色泥土の地山。 | 07S002 | TB 081 | 21-3 |
| 石原城跡 | 南・吉祥院石原町61-16 | 10/24 | -0.3mまで現代盛土。 | 07S343 | TB 276 | 21-3 |
| 石原城跡 | 南・吉祥院石原町61-13 | 10/24 | -0.08mで黄褐色泥砂を検出。遺構、遺物は検出できません。 | 07S344 | TB 277 | 21-3 |
| 深草遺跡 | 伏・深草西浦町3丁目62番 | 4/12 | -0.2mまで現代盛土。 | 06S680 | TB 012 | 25-5 |
| 深草遺跡 | 伏・深草緑森町29-7・8、30-7・8 | 7/17～27 | -0.8m以下、明黄褐色砂泥の地山。 | 07S150 | TB 172 | 25-5 |

伏見・醍醐地区 (FD)

| 道 跡 名 | 所 在 地 | 調 査 日 | 調 査 概 要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|-------------|---------------------------------|-------------------|---|--------|--------|------|
| 新普賢宮前跡・伏見城跡 | 伏・桃山町松平筑前地先～鶴島町地先 | 10/9～24 | -1.15mで明黄褐色砂泥を抽出。遺構、遺物は抽出できず。 | 07F088 | FD 261 | 14 |
| 伏見城跡 | 伏・深草原ノ葦町地先～鶴島町地先 | 9/11～11/22 | -1.1mで近世以降の包含層。-1.4m以下、明黄褐色砂泥の地山。 | 07F086 | FD 240 | 14 |
| 伏見城跡 | 伏・深草大亀谷内藤町8番4の一部 | 7/23 | -0.25mで黄褐色砂泥を抽出。遺構、遺物は抽出できず。 | 07F189 | FD 181 | 14 |
| 伏見城跡 | 伏・桃山町丹下9の一部 9-4の一部 | 5/17 | -1.35mで明黄褐色砂泥を抽出。遺構、遺物は抽出できず。 | 07F102 | FD 061 | 14 |
| 伏見城跡 | 伏・桃山町長岡越中北町～桃山町松平筑前地先 (一般国道24号) | 10/9～31, 11/1 | No.2: -1.06m, 明治の包含層 (平瓦、磁器類)。No.3: -1.87m以下、明黄褐色砂泥の地山。 | 07F087 | FD 260 | 14 |
| 伏見城跡 | 伏・御霊籠町151 | 6/18～27 | -0.15m, 近世以降の包含層。 | 06F759 | FD 116 | 14 |
| 伏見城跡 | 伏・藤原町3丁目307 | 8/28・30 | -0.9mで時期不明の土坑。 | 07F164 | FD 216 | 14 |
| 伏見城跡 | 伏・岡町4丁目291 | 8/28～9/13 | -2.3m以下、褐色粘土の地山。 | 07F170 | FD 217 | 14 |
| 伏見城跡 | 伏・鶴島町8番 | 6/19・25 | -0.4mで炭を含む暗褐色砂泥を抽出。遺構、遺物は抽出できず。 | 07F017 | FD 134 | 14 |
| 伏見城跡 | 伏・鶴島町地先～豊後横町地先 | 10/18～31, 11/1～22 | -0.9m - -1.08m, 近世以降の踏面2。-1.26m, 近世の包含層 (軒平瓦)。 | 07F089 | FD 269 | 14 |
| 伏見城跡 | 伏・深草大亀谷万帖敷町91-5 | 9/3・4 | BM+2.69m以下、明黄褐色粘土の地山。 | 07F225 | FD 231 | 15 |
| 伏見城跡跡地 | 伏・桃山町安養山10番39 | 6/18 | -0.3mまで現代盛土。 | 07F109 | FD 117 | 15 |
| 中山道跡 | 伏・桃山町日向～小栗新中山田町地先 | 10/22・23 | -1.6mまで現代盛土。 | 07S347 | FD 271 | 15 |
| 正覚寺跡跡地 | 伏・深草藤成町6番1 | 7/31, 8/1 | -0.17m以下、灰白色微砂の地山。 | 07S176 | FD 194 | 23-1 |
| 伏見御荷 | 伏・深草藤之内町68他69番 | 4/27, | BM-1.95mで黄褐色岩盤を切って平安の薄込 (黒色土器変)。 | 06S020 | FD 032 | 23-1 |
| 大社境内 | | 5/22 | | | | |
| 深草坊町遺跡 | 伏・深草真宗院山町27-5 | 5/17・18 | -0.2m, 近世の包含層 (土師器) 。-0.5m, 古墳後期の包含層 (土師器) 。 | 07S082 | FD 060 | 25-6 |
| 深草坊町遺跡 | 伏・深草僧坊町54-3 | 10/22～24 | -0.2m, 時期不明の包含層 (平瓦) 。 | 07S106 | FD 275 | 25-6 |
| 醍醐古墳群 | 伏・醍醐内ヶ井戸15-5 | 5/29・31 | -0.15mまで現代盛土。 | 06S637 | FD 076 | 25-7 |
| 醍醐古墳群 | 伏・醍醐内ヶ井戸23-2 他 | 7/2～8/6 | -0.6m以下、明黄褐色砂泥の地山。 | 07S144 | FD 162 | 25-7 |
| 向島越跡 | 伏・向島御外町40番2 | 6/4・5 | -0.75mまで現代盛土。 | 07S108 | FD 086 | 26-1 |

長岡京地区 (NG)

| 道 跡 名 | 所 在 地 | 調 査 日 | 調 査 概 要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|-----------|-------------------|------------------|-------------------------------|---------|--------|------|
| 左京三条三坊十一町 | 伏・久我西出町 地内 | 5/7～24 | -0.8m, オリーブ褐色粘土の凝地状堆積。 | 06NG691 | NG 041 | 19 |
| 左京三条三坊十二町 | 伏・羽束師美川町～久我西出町 地先 | 5/11～29 | -1.55m, 暗オリーブ灰色粘土の凝地状堆積。 | 07NG082 | NG 053 | 19 |
| 左京三条三坊十二町 | 伏・久我西出町 | 9/25・26・27 | -1.1mで黒褐色砂泥を抽出。遺構、遺物は抽出できず。 | 07NG389 | NG 250 | 19 |
| 左京三条三坊十四町 | 伏・久我西出町 地先 | 9/20・25 | -0.9mまで現代盛土。 | 07NG310 | NG 247 | 19 |
| 左京三条四坊十三町 | 伏・久我森ノ宮町 地内 | 6/11～27 | -1.35mまで現代盛土。 | 06NG685 | NG 097 | 19 |
| 左京七条四坊八町 | 伏・醍醐爪町634-1番地 他 | 9/10・11・13・18・26 | BM-8.4mで暗褐色砂泥を抽出。遺構、遺物は抽出できず。 | 06NG620 | NG 237 | 19 |
| 左京九条三坊十二町 | 伏・納所町574・575番 | 5/15 | BM-0.75mまで現代盛土。 | 07NG055 | NG 057 | 26-2 |

南・桂地区 (MK)

| 遺跡名 | 所在地 | 調査日 | 調査概要 | 受付番号 | 調査No. | 図版 |
|----------------|-----------------------------------|----------------|------------------------------------|--------|--------|------|
| 上久世遺跡 | 南・久世上久世町337番地 | 4/10・12 | 古墳時代の竪穴住居跡を検出。本報告23ページ、 | 06S659 | MK 009 | 23-2 |
| 上久世遺跡 | 南・久世上久世町353番 | 9/4 | BM-0.27mまで現代盛土。 | 07S203 | MK 232 | 23-2 |
| 上久世遺跡 | 南・久世上久世町384番 | 6/12~7/20 | -0.5m以下、にぶい黄褐色粘土の地山。 | 07S050 | MK 102 | 23-2 |
| 中久世遺跡 | 南・久世中久世町2丁目93番、95番 | 10/24 | -0.2mまで現代盛土。 | 07S305 | MK 278 | 23-2 |
| 中久世遺跡 | 南・久世中久世4丁目 | 6/19~ 11/22 | BM-0.58m。耕作土。試掘調査済地点。 | 06S761 | MK 135 | 23-2 |
| 中久世遺跡 | 南・久世中久世町三丁目106・107番地 | 10/18 | -2.7mまで現代盛土。 | 07S293 | MK 270 | 23-2 |
| 中久世遺跡 | 南・久世隈城町97番2(一部)、 97番3(一部)、98番2 | 6/18・19・ 25 | -1.26m以下、黄褐色粘土の地山。 | 07S029 | MK 118 | 23-2 |
| 中久世遺跡・ 大蔵遺跡 | 南・久世大蔵町 他地内 | 4/17 | -1.0mまで現代盛土。 | 06S712 | MK 017 | 23-2 |
| 隈原遺跡 | 西・隈原角田町1-17の一部 | 6/13 | -0.15mまで現代盛土。 | 07S094 | MK 105 | 26-4 |
| 隈原遺跡 | 西・隈原角田町1-17の一部 | 6/13 | -0.2mまで現代盛土。 | 07S093 | MK 104 | 26-4 |
| 上里北ノ町遺跡 | 西・大原野上野町~大原野上里南ノ町 地先 | 6/15 | 巡回時、工事終了。 | 07S125 | MK 108 | 26-5 |
| 福西古墳群 | 西・大枝東長町1-209 | 6/27・28 | -1.67mまで現代盛土。 | 07S131 | MK 151 | 26-6 |
| 福西古墳群 | 西・大枝東長町1-542 | 6/18・27 | -0.9m以下、黄褐色粘土の地山。 | 07S099 | MK 119 | 26-6 |
| 福西古墳群 | 西・大枝東長町1-557 | 8/29 | -0.6m。近世以降の包含層。 | 07S191 | MK 219 | 26-6 |
| 福西古墳群 | 西・大枝東長町1-562 | 8/31 | -0.4mで明褐色砂泥を検出。 遺構、遺物は検出できず。 | 07S249 | MK 227 | 26-6 |
| 福西古墳群 | 西・大枝東長町1-11・566 | 9/27 | BM+0.18mで明褐色砂泥を検出。 遺構、遺物は検出できず。 | 07S311 | MK 252 | 26-6 |
| 福西古墳群 | 西・大枝東長町 地先 | 4/26、5/2 | -0.41mで褐色砂泥を検出。 遺構、遺物は検出できず。 | 07S032 | MK 031 | 26-6 |
| 茨岡遺跡 | 西・大原野南春日町 地内 | 6/11、7/26 | -0.53mまで現代盛土。 | 07S034 | MK 098 | 26-7 |

報告書抄録

| ふりがな | きょうとしなにいせきたちあいちょうさほうこく | | | | | | | |
|----------------------|--|---------------|------|-------------------|--------------------|-------------------------|------|------|
| 書名 | 京都市内遺跡立会調査報告 平成19年度 | | | | | | | |
| 副書名 | | | | | | | | |
| 巻次 | | | | | | | | |
| シリーズ名 | | | | | | | | |
| シリーズ番号 | | | | | | | | |
| 編著者名 | ト田健司・吉本健吾 | | | | | | | |
| 編集機関 | 財団法人 京都市埋蔵文化財研究所 | | | | | | | |
| 所在地 | 〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1 TEL 075-415-0521 | | | | | | | |
| 発行機関 | 京都市文化市民局 | | | | | | | |
| 所在地 | 〒604-0925 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488 TEL 075-222-3108 | | | | | | | |
| 発行年月日 | 西暦2008年3月31日 | | | | | | | |
| 所収遺跡名 | 所在地 | コード | | 北緯 | 東経 | 調査期間 | 調査面積 | 調査原因 |
| | | 市町村 | 遺跡番号 | | | | | |
| 平安京 左京北辺 二坊八町跡 | 京都市上京区一栄通 小川東入西之口町 | 26100 | | 35度 01分 34秒 | 135度 45分 17秒 | 2007/6/19~ 2007/6/20 | | 共同住宅 |
| 平安京 左京一条 二坊九町跡 | 京都市上京区袖小路通 上長者町下る亀屋町 125-2 | 26100 | | 35度 01分 25秒 | 135度 45分 11秒 | 2007/5/28~ 2007/7/17 | | 住宅 |
| 平安京 左京西条 一坊四町跡 | 京都市中京区 壬生御所ノ内町27番1 他2筆 | 26100 | | 35度 00分 13秒 | 135度 44分 39秒 | 2007/2/8~ 2007/2/13 | | 共同住宅 |
| 平安京 左京五条 一坊八町跡 | 京都市中京区壬生黄圃 御所町64番1、64番15、 64番14、64番25 | 26100 | | 35度 00分 11秒 | 135度 44分 40秒 | 2007/3/23~ 2007/3/28 | | 共同住宅 |
| 平安京 右京二条 二坊二町跡 | 京都市中京区 西ノ京南両町34番1の 一部 | 26100 | | 35度 01分 00秒 | 135度 44分 09秒 | 2007/7/25~ 2007/7/26 | | 住宅 |
| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | | 特記事項 | | |
| 平安京 左京北辺 二坊八町跡 | 都城跡 | 平安時代 | 路面 | 土器類 | | | | |
| 平安京 左京一条 二坊九町跡 | 都城跡 | 江戸時代 | 石室 | 土器類 | | | | |
| 平安京 左京西条 一坊四町跡 | 都城跡 | 平安時代 | 護岸遺構 | 土器類 | | | | |
| 平安京 左京五条 一坊八町跡 | 都城跡 | 平安時代 | 溝状遺構 | 土器類・瓦類 | | | | |
| 平安京 右京二条 二坊二町跡 | 都城跡 | 平安時代~ 室町時代 | 瓦組暗渠 | 土器類・瓦類 | | | | |

報告書抄録

| ふりがな | きょうとしなにいせきたちあいちょうさほうこく | | | | | | | |
|---------------------------|--|--------|---------|-------------------|--------------------|-------------------------|------|------------|
| 番 名 | 京都市内遺跡立会調査報告 平成19年度 | | | | | | | |
| 副 書 名 | | | | | | | | |
| 巻 次 | | | | | | | | |
| シリーズ名 | | | | | | | | |
| シリーズ番号 | | | | | | | | |
| 編 著 者 名 | ト田健司・吉本健吾 | | | | | | | |
| 編 集 機 関 | 財団法人 京都市埋蔵文化財研究所 | | | | | | | |
| 所 在 地 | 〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1 TEL.075-415-0521 | | | | | | | |
| 発 行 機 関 | 京都市文化市民局 | | | | | | | |
| 所 在 地 | 〒604-0925 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488 TEL.075-222-3108 | | | | | | | |
| 発 行 年 月 日 | 西暦2008年3月31日 | | | | | | | |
| 所収遺跡名 | 所在地 | コード | | 北緯 | 東経 | 調査期間 | 調査面積 | 調査原因 |
| | | 市町村 | 遺跡番号 | | | | | |
| 平 安 京 右 京 二 条 三 坊 十 五 町 跡 | 京都市中京区西ノ京中 御門東町40-2、40-3、 40-4、40-5の一部 | 26100 | | 35度 01分 00秒 | 135度 43分 48秒 | 2007/5/14～ 2007/5/21 | | 共同住宅 |
| 平 安 京 右 京 八 条 二 坊 十 町 跡 | 京都市下京区 七条御所ノ内北町97 | 26100 | | 34度 59分 12秒 | 135度 43分 58秒 | 2007/2/20～ 2007/2/27 | | 共同住宅 |
| 法住寺殿跡・ 六波羅政庁跡・ 方広寺跡 | 京都市東山区 茶屋町527 | 26100 | 546・540 | 34度 59分 24秒 | 135度 46分 23秒 | 2007/8/27～ 2007/8/28 | | 耐震診断 調査 |
| 上久世遺跡 | 京都市南区 久世上久世町337番地 | 26100 | 763 | 34度 57分 52秒 | 135度 42分 42秒 | 2007/4/10～ 2007/4/12 | | 共同住宅 |
| 平 安 京 左 京 二 条 三 坊 三 町 跡 | 京都市中京区釜座通 竹屋町下る亀屋町330、 334-1、334-3 | 26100 | | 35度 00分 56秒 | 135度 45分 20秒 | 2007/6/19～ 2007/7/11 | | 共同住宅 |
| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 | | | |
| 平 安 京 右 京 二 条 三 坊 十 五 町 跡 | 都城跡 | 平安時代 | 溝 | 土器類・瓦類 | | | | |
| 平 安 京 右 京 八 条 二 坊 十 町 跡 | 都城跡 | 平安時代 | 溝状遺構 | 土器類 | | | | |
| 法住寺殿跡・ 六波羅政庁跡・ 方広寺跡 | 都城跡 | 江戸時代以降 | 石垣 | 土器類 | | | | |
| 上久世遺跡 | 集落跡 | 古墳時代 | 竪穴住居 | 土器類 | | | | |
| 平 安 京 左 京 二 条 三 坊 三 町 跡 | 都城跡 | 桃山時代 | | 瓦類 | | | | |

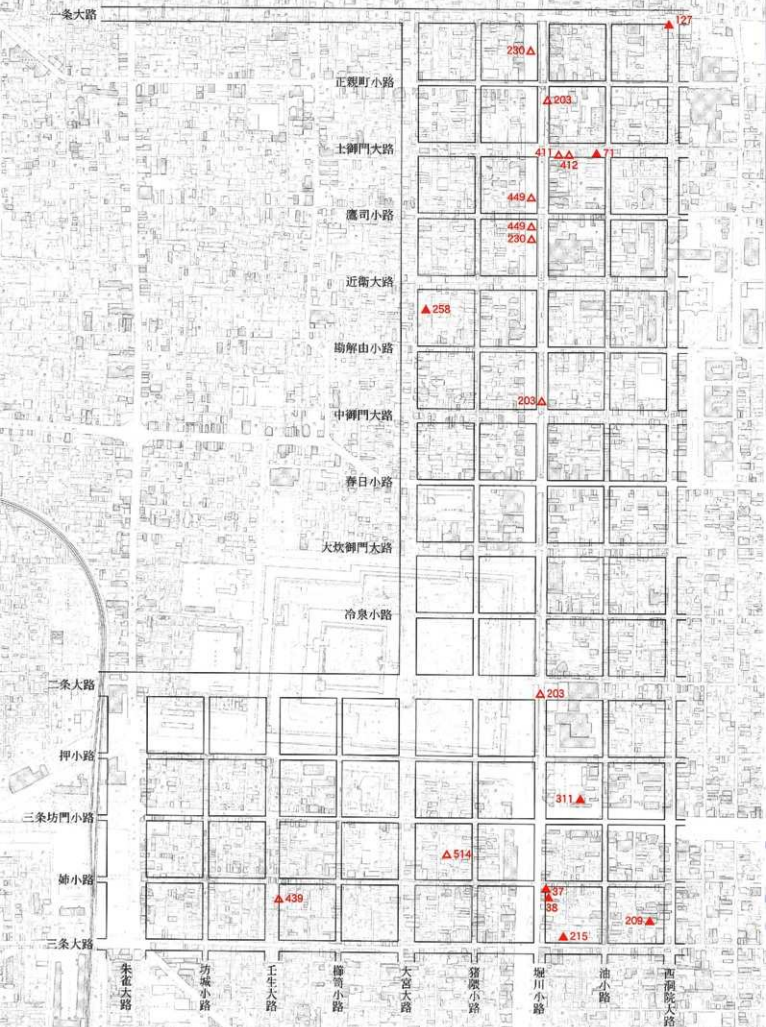
報告書抄録

| ふりがな | きょうとしなにいせきたちあいちようさほうこく | | | | | | | |
|----------------------|--|-------|-------|-------------------|--------------------|--------------------------|------|------------|
| 書名 | 京都市内遺跡立会調査報告 平成19年度 | | | | | | | |
| 副書名 | | | | | | | | |
| 巻次 | | | | | | | | |
| シリーズ名 | | | | | | | | |
| シリーズ番号 | | | | | | | | |
| 編著者名 | ト田健司・吉本健吾 | | | | | | | |
| 編集機関 | 財団法人 京都市埋蔵文化財研究所 | | | | | | | |
| 所在地 | 〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入元伊在町265-1 TEL.075-415-0621 | | | | | | | |
| 発行機関 | 京都市文化市民局 | | | | | | | |
| 所在地 | 〒604-0926 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488 TEL.075-222-3108 | | | | | | | |
| 発行年月日 | 西暦2008年3月31日 | | | | | | | |
| 所収遺跡名 | 所在地 | コード | | 北緯 | 東経 | 調査期間 | 調査面積 | 調査原因 |
| | | 市町村 | 遺跡番号 | | | | | |
| 平安京 左京四条 二坊九町跡 | 京都市中京区 二条通御小路下名 三条御小路町172番2 | 26100 | | 35度 00分 28秒 | 135度 45分 12秒 | 2007/6/19~ 2007/7/19 | | 住宅 |
| 村ノ内町遺跡 | 京都市右京区 常盤出口町14-26・41 | 26100 | 907 | 35度 01分 12秒 | 135度 42分 39秒 | 2007/10/10~ 2007/11/8 | | 児童福祉 施設 |
| 白河北殿跡 | 京都市左京区 東丸太町16-7他 | 26100 | 417-8 | 35度 01分 03秒 | 135度 46分 29秒 | 2007/9/3~ 2007/9/4 | | 共同住宅 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | | 特記事項 | | |
| 平安京 左京四条 二坊九町跡 | 都城跡 | 平安時代 | 土塼 | 土器類 | | | | |
| 村ノ内町遺跡 | 集落跡 | 弥生時代 | 包含層 | 土器類 | | | | |
| 白河北殿跡 | 都城跡 | 平安時代 | 包含層 | 瓦類 | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

圖 版

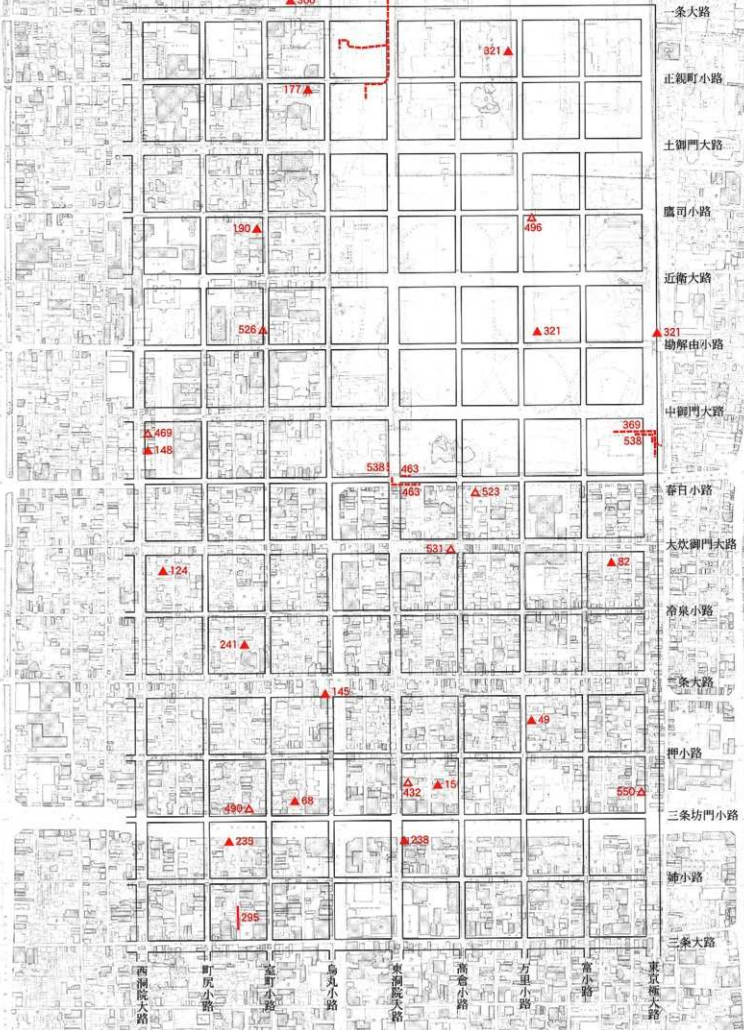
凡 例

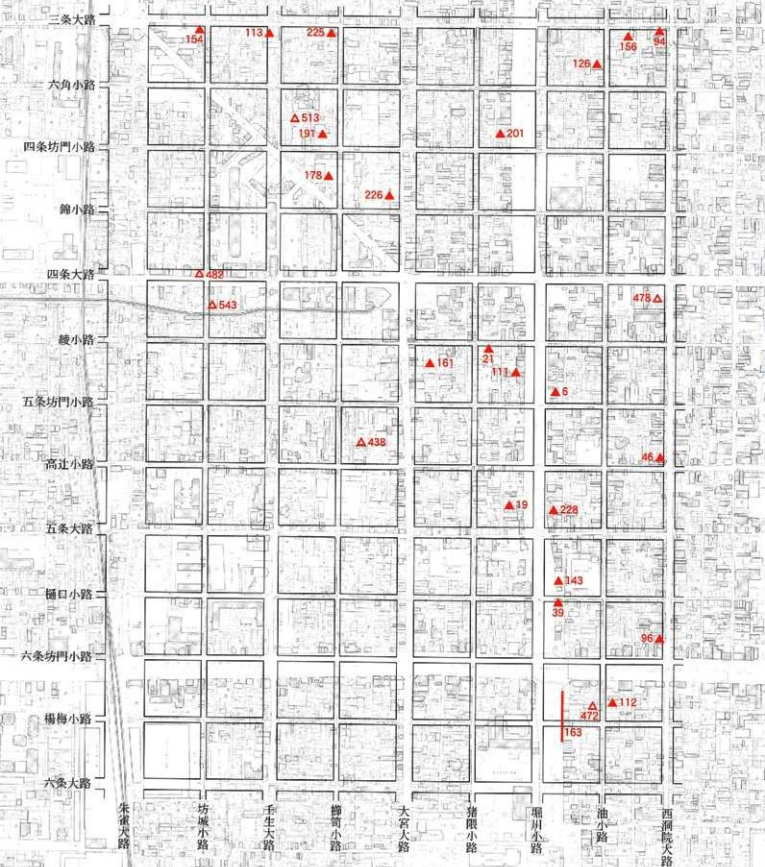
- △ ----- 2007年1～3月期（平成18年度）立会調査地点
- ▲ ————— 2007年4～12月期（平成19年度）立会調査地点

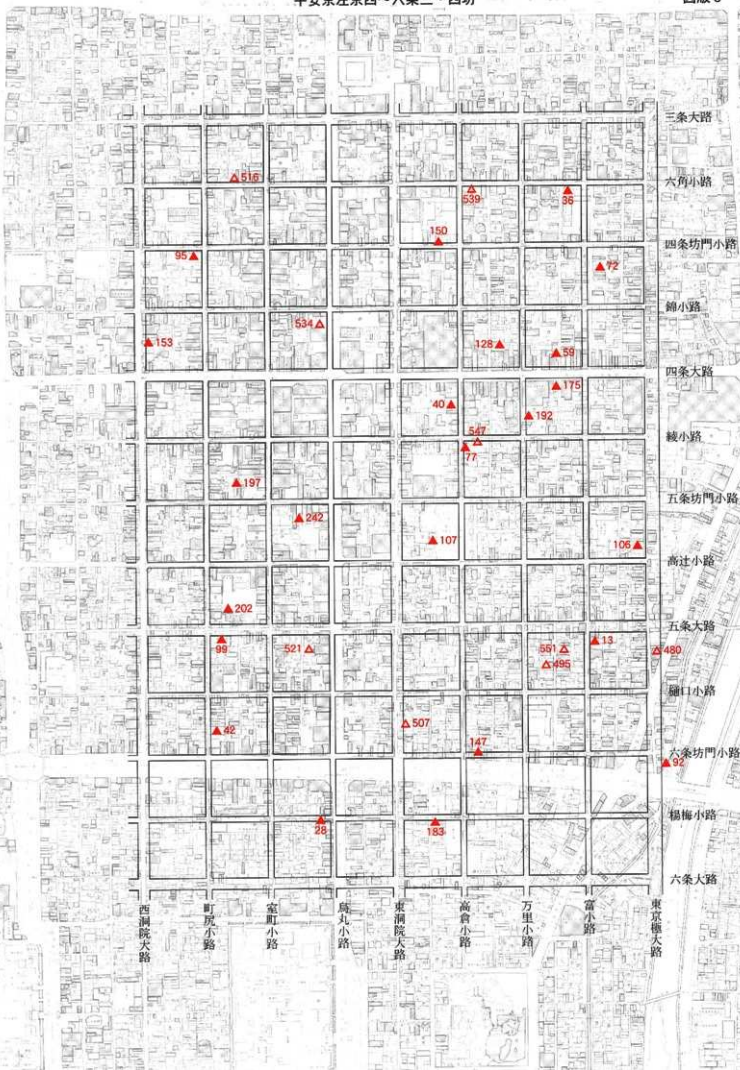


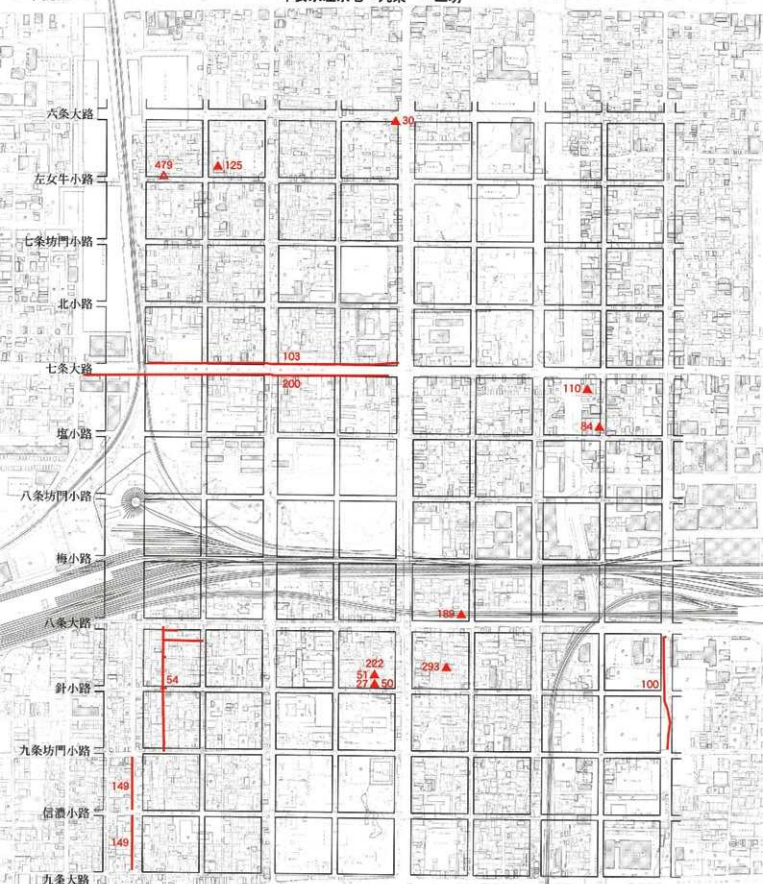
369 ▲496 ▲321
 平安京左京北辺～三条三・四坊
 ▲300

図版 3



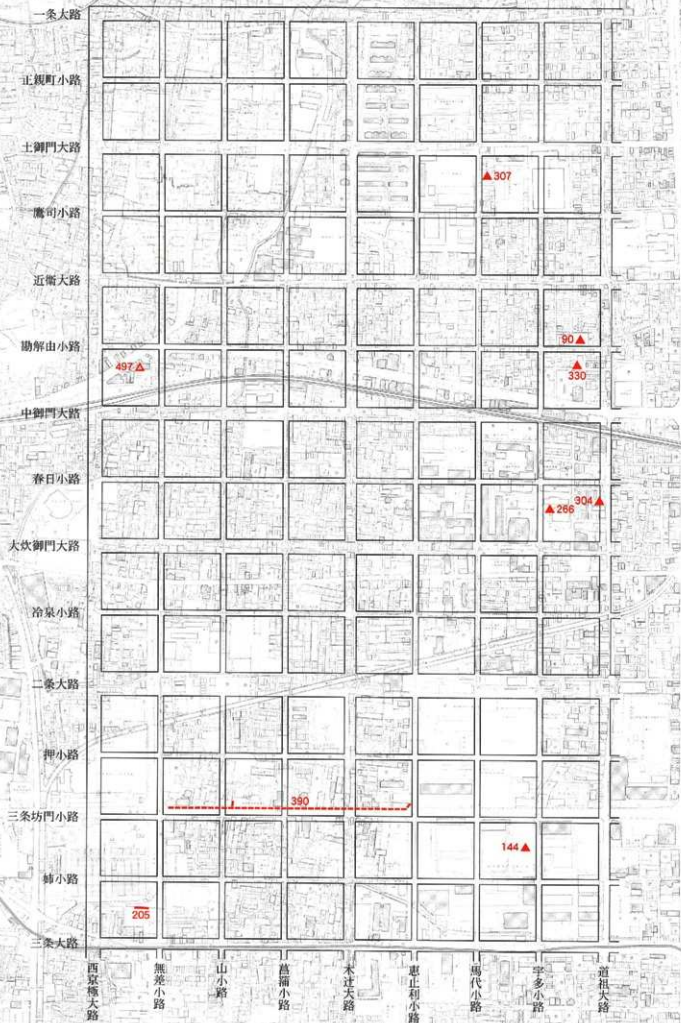


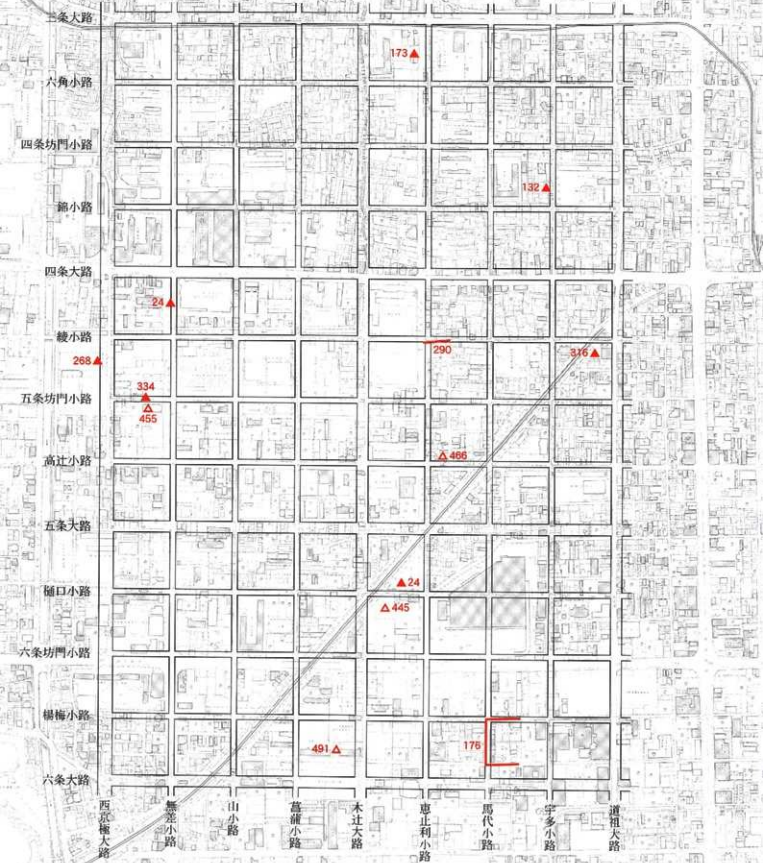


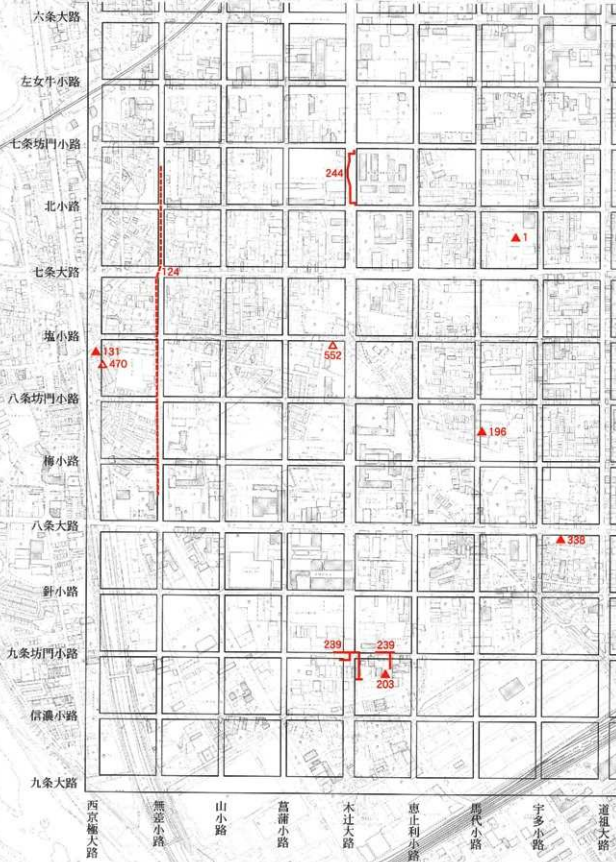


朱雀大路 坊城小路 壬生大路 櫻岡小路 大宮大路 猪隈小路 堀川小路 油小路 西洞院大路











六条大路

左女牛小路

七条坊門小路

北小路

七条大路

塩小路

八条坊門小路

梅小路

八条大路

針小路

九条坊門小路

信濃小路

九条大路

149

149

294

道祖大路

野寺小路

西堀川小路

西鞠負小路

西大宮大路

西欄荷小路

皇嘉門大路

西坊城小路

朱雀大路

△488

△477

▲140

▲79

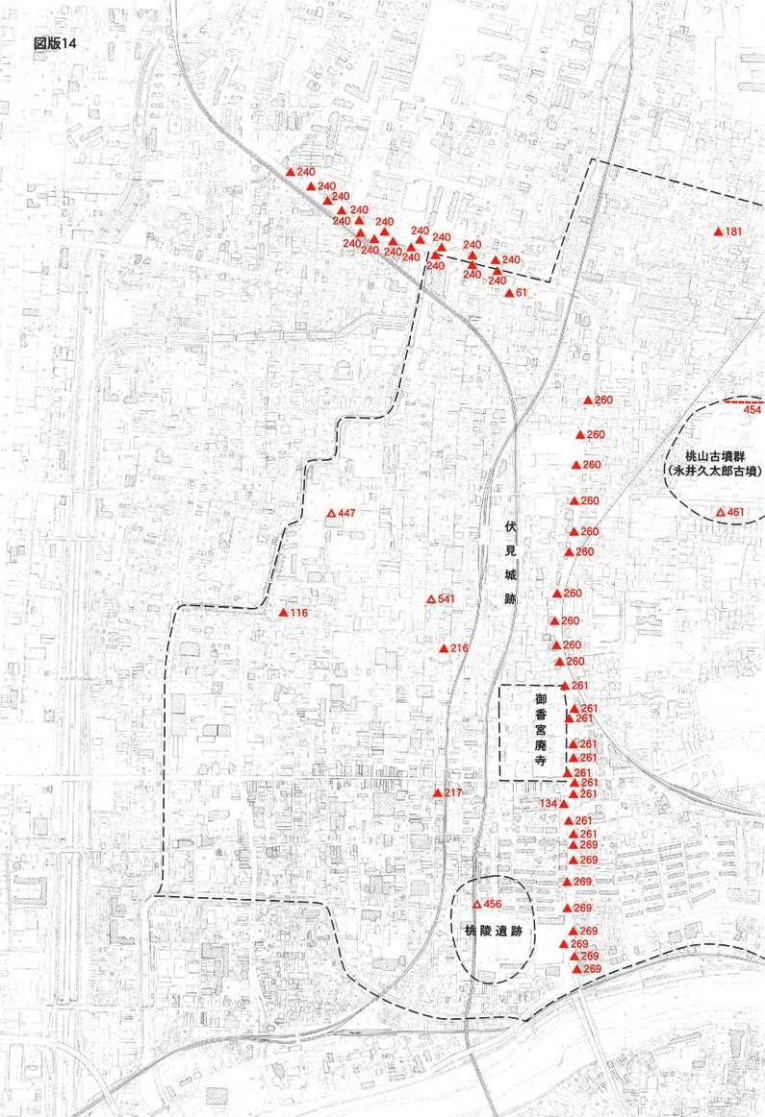
▲494

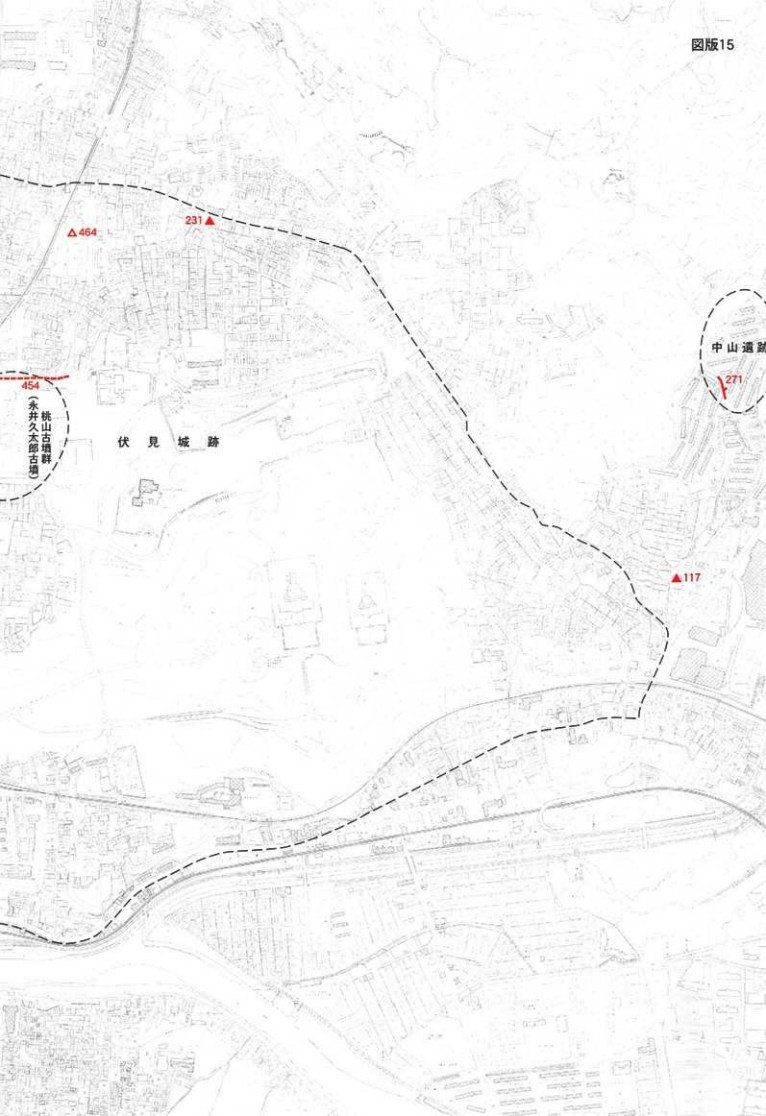
▲483

▲492

▲537

294





△464

231▲

454

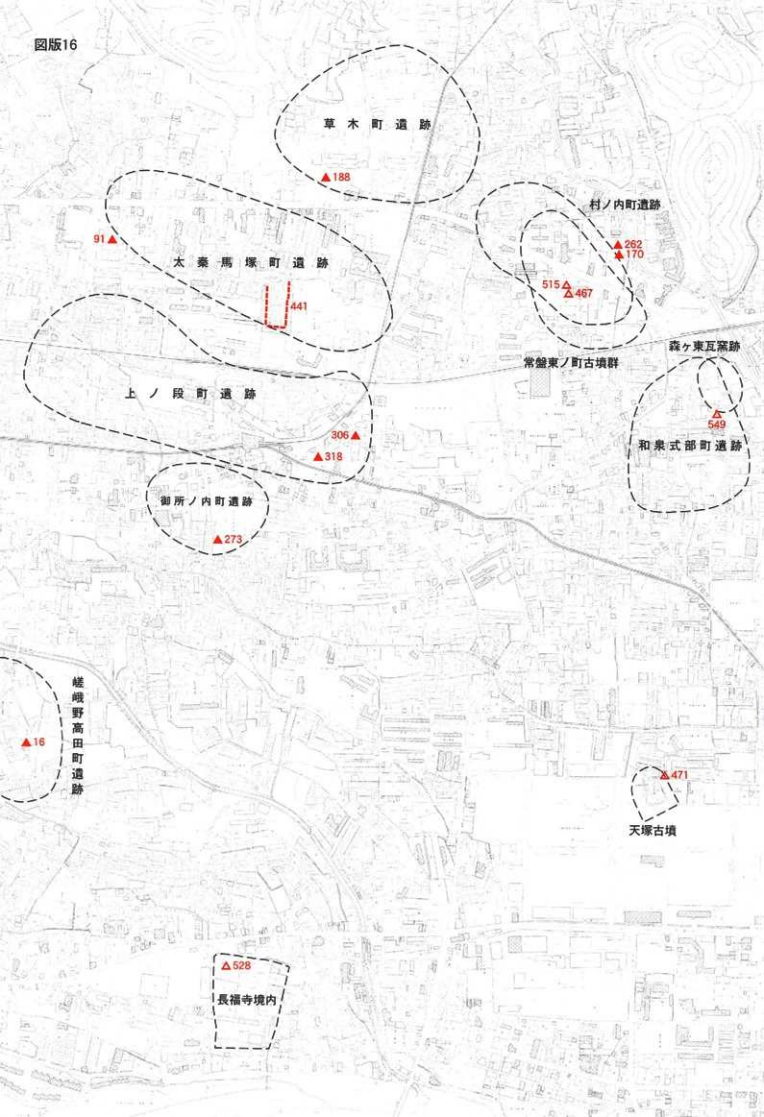
(永井久太郎古墳
桃山古墳群)

伏見城跡

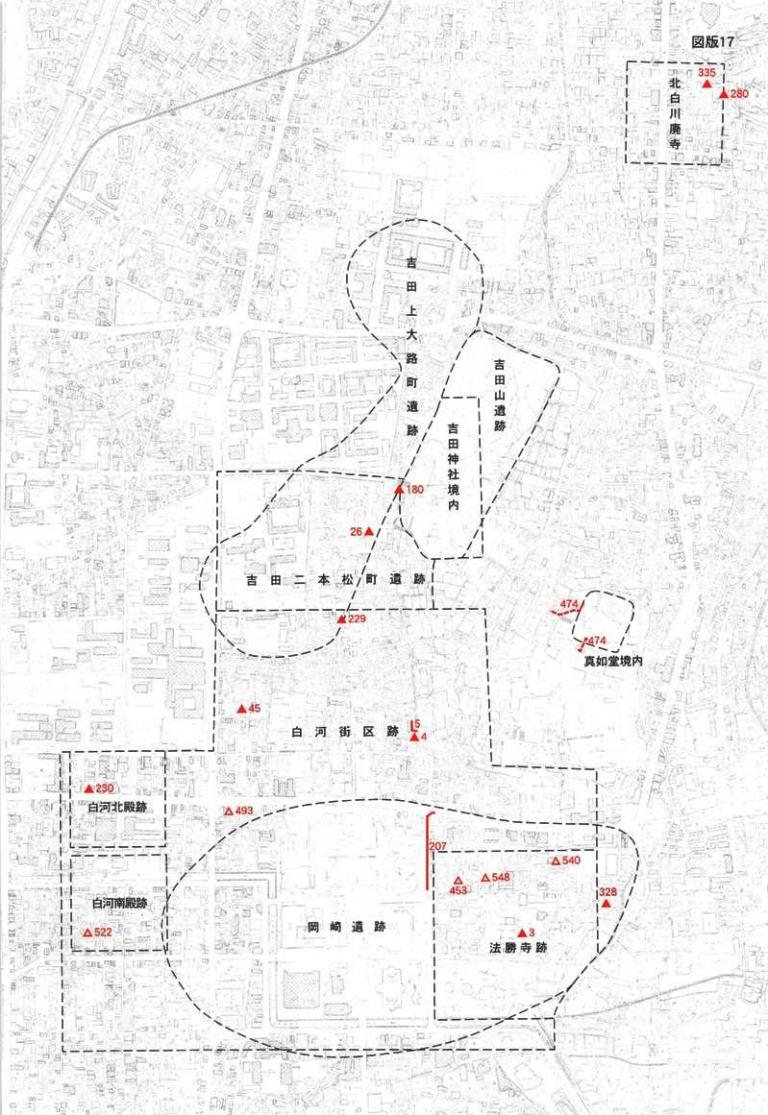
中山遺跡

271

▲117



北白川
廣寺
▲335
▲280



四條通場跡

寺町旧域

御土居跡

建仁寺境内

清水寺境内

六波羅政庁跡

方広寺跡

法住寺殿跡

法性寺跡

▲88

▲281

▲80

▲224

234

▲245

▲508

▲503

264

▲297

▲210

▲214

▲532

▲532

▲214

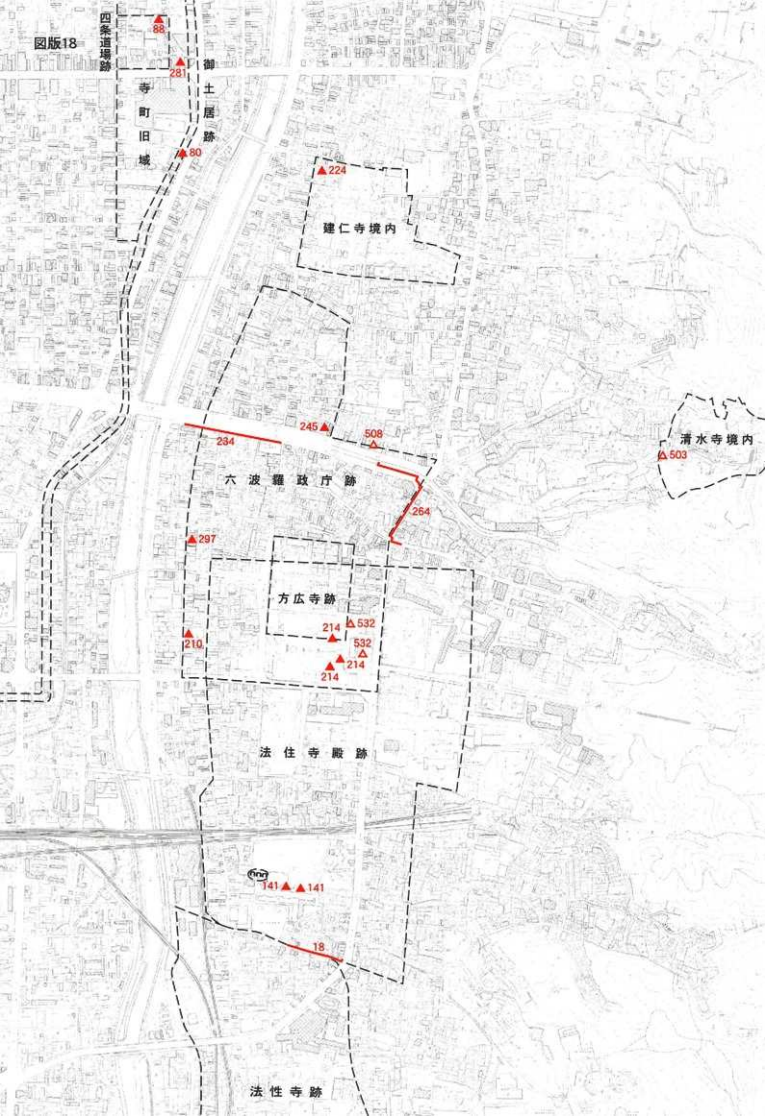
▲214

141

▲141

▲141

18



久我殿遺跡

▲8

53
41
250
247

97

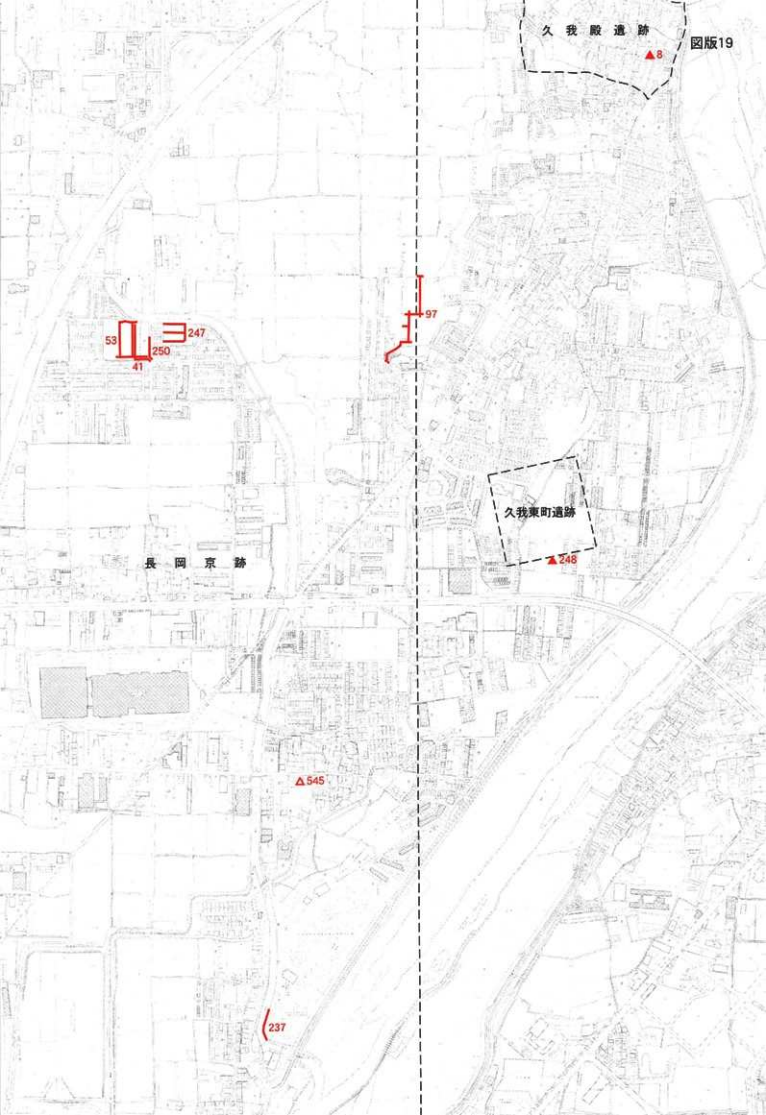
久我東町遺跡

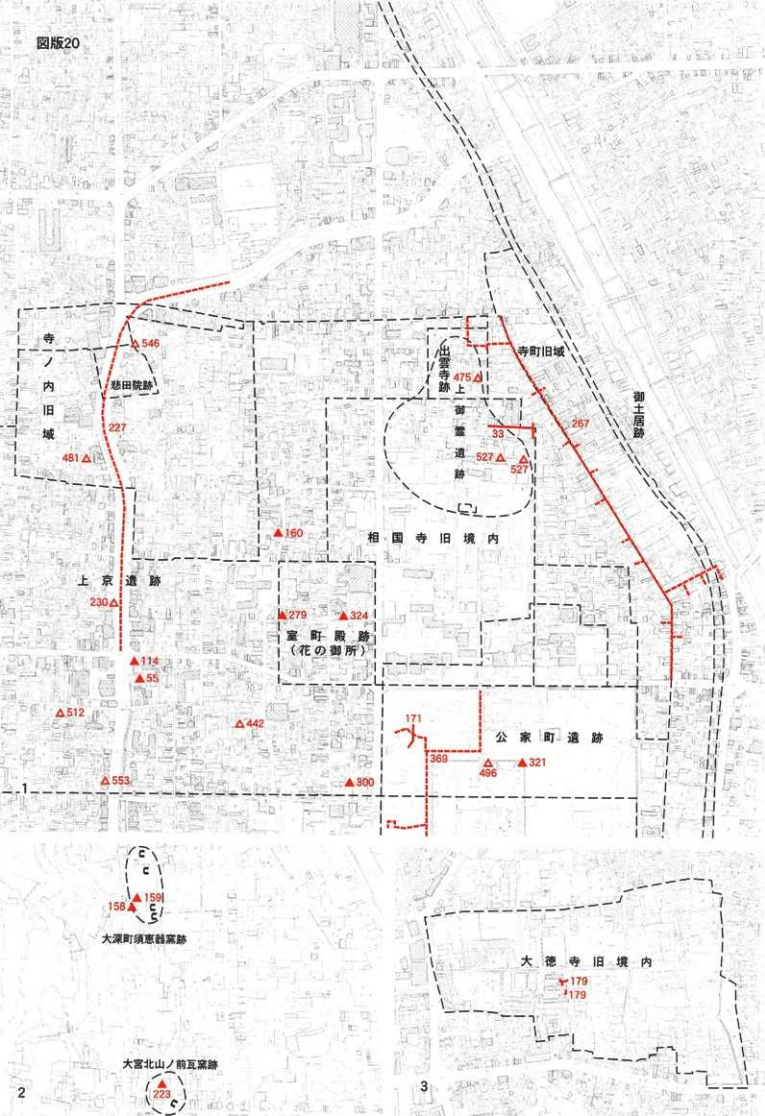
▲248

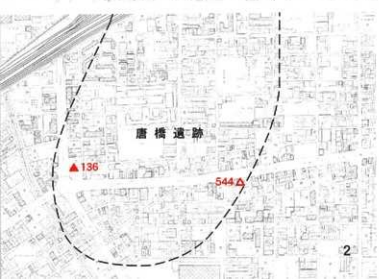
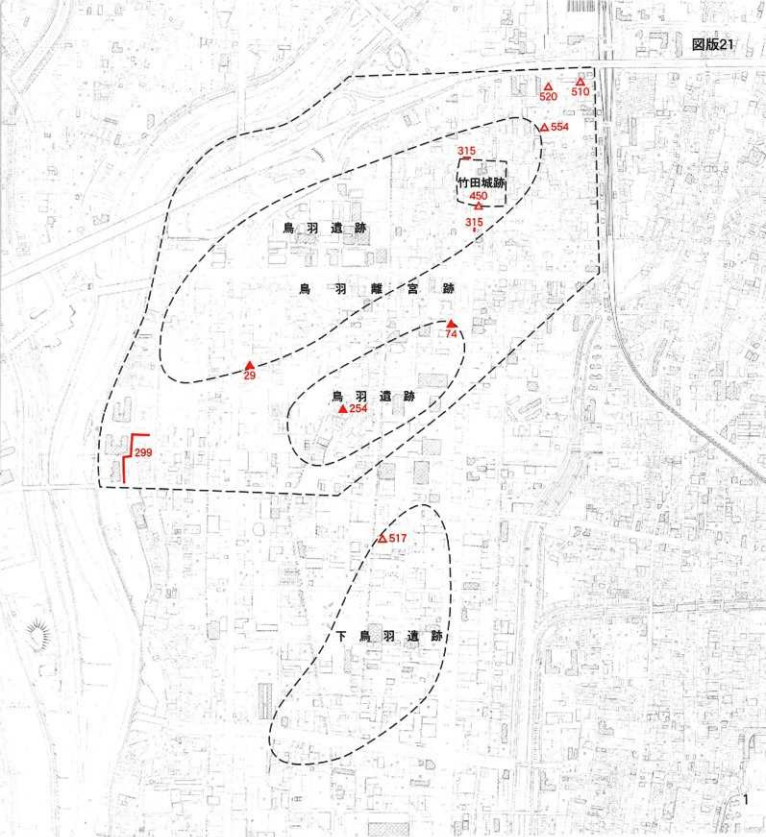
長岡京跡

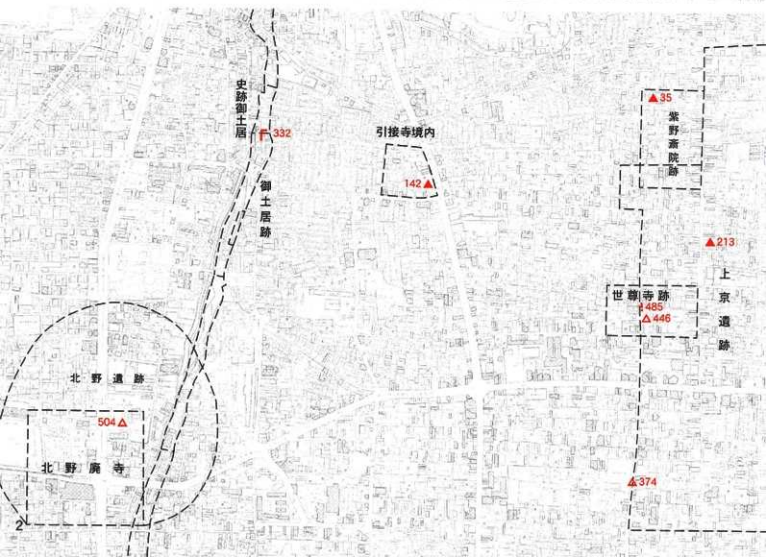
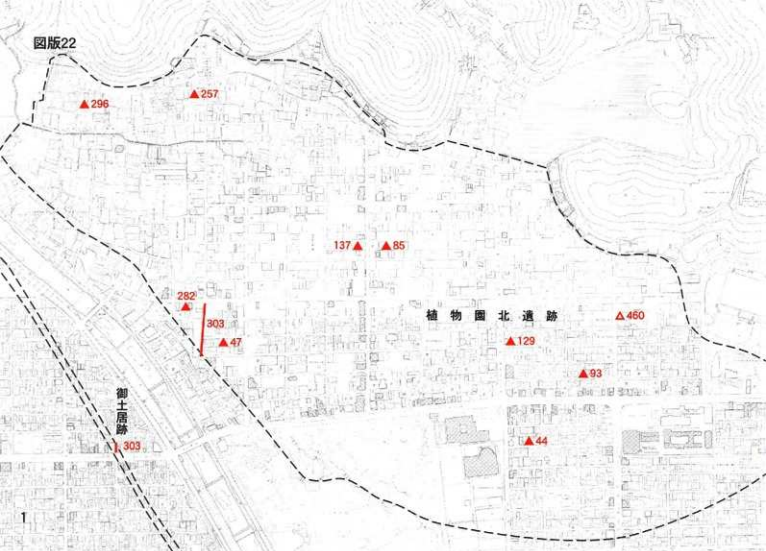
▲545

237



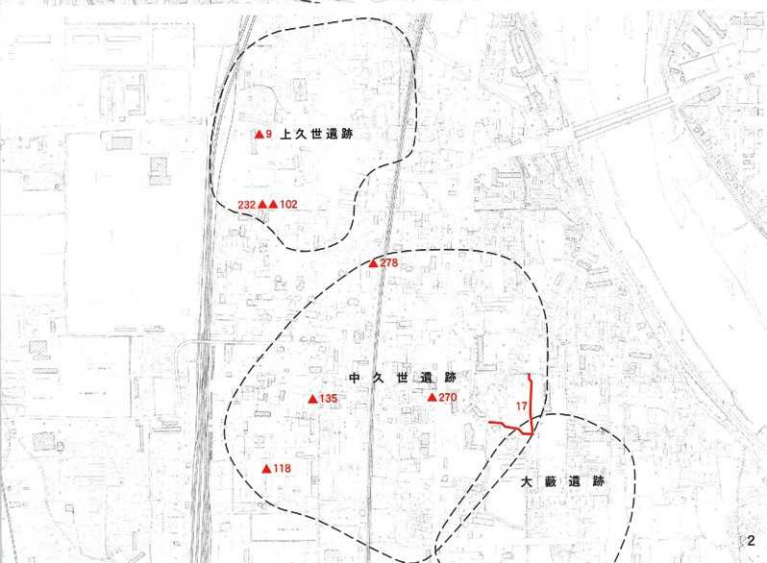


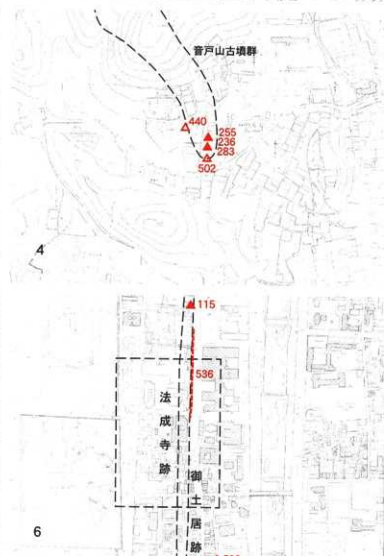
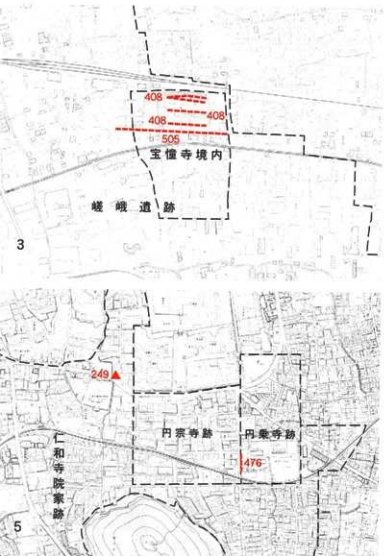
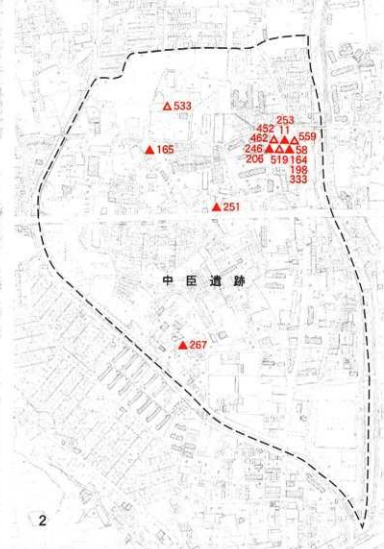
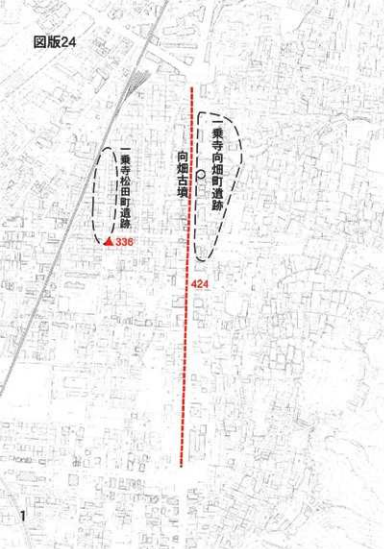


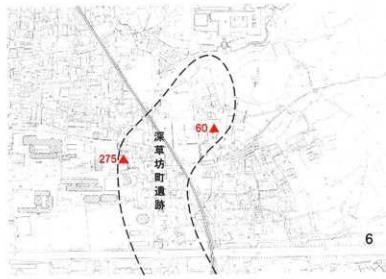


1

2









1



2



3



4



5



6



7



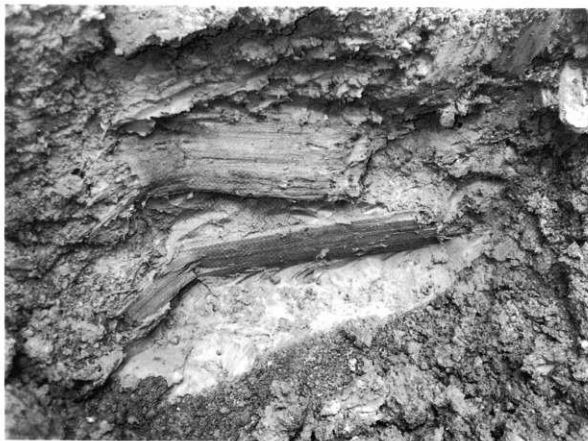
8



平安京左京一条二坊九町 (07HL71) 石室全景 (北から)



平安京左京一条二坊九町 (07HL71) 南壁断面 (北から)



平安京左京四条一坊四町 (06HL482) 木組遺構、横板 (西から)



平安京左京四条一坊四町 (06HL482) 木組遺構、横板を外した後の杭 (西から)



平安京左京五条一坊八町 (06HL543) 溝状遺構、A-B間断面 (西から)



平安京左京五条一坊八町 (06HL543) 溝状遺構、C-D間断面 (南西から)



平安京右京二条二坊二町 (07HR184) 東西溝A-A断面及び瓦組暗渠 (東から)



平安京右京二条二坊二町 (07HR184) 東西溝及び瓦組暗渠 (南から)



平安京右京二条二坊十五町 (07HR56) No.1 地点東西溝断面 (西から)



平安京右京二条二坊十五町 (07HR56) No.2 地点東西溝断面 (東から)

遺
構



1 法住寺殿跡・六波羅政庁跡・方広寺跡 (07RT214) 石垣 (西から)



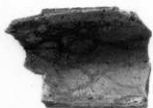
2 上久世遺跡 (07MK9) No1地点竪穴住居跡 (北から)



上久世遺跡 (07MK9) No 2 地点竪穴住居跡 (北から)



上久世遺跡 (07MK9) No 3 地点ピット群 (北から)



10



13



11



14



12



15



21



33



24



34

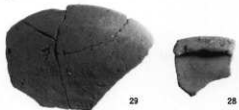


25



27

26



29

28



32



31

21 法住寺殿跡・六波羅政庁跡・方広寺跡 (07RT214)、24 上久世遺跡 (07MK9)、25 平安京左京二条三坊三町 (07HL124)、26~29・31・32 平安京左京四条二坊九町 (07HL126)、33 村ノ内町遺跡 (07UZ262)、34 白河北殿跡 (07KS230)

京都市内遺跡立会調査報告

平成19年度

発行日 2008年3月31日
発行 京都市文化市民局
住所 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
編集 (財)京都市埋蔵文化財研究所
住所 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1
〒602-8435 Ⅸ 075-415-0521
<http://www.kyoto-arc.or.jp/>
印刷 三星商事印刷株式会社